

can-am

RYKER®シリーズ

オペレーターズ ガイド

安全性、車両および
メンテナンスに関する
情報が記載されています

NOVA

▲ 警告

この車両の特殊性について理解してください。

このオペレーターズガイドを読み、安全講習ビデオをご覧ください：

<https://can-am.brp.com/spyder/owners/safety/safety-information.html>

トレーニングコース（用意されている場合）を受講し、運転の練習を行って習熟してください。

地域によって免許の要件が異なります。各地域の法令をご確認ください。

このガイドをフロントストレージコンパートメントに保管してください。

219 002 148_JA

本書は説明書原本の
翻訳版です

⚠ 警告

このオペレーターズガイド、安全講習ビデオおよび製品に貼付されている警告ラベルに記載の安全注意事項や指示を無視すると、死亡事故や負傷の原因となる場合があります。

米国カリフォルニア州規制「PROPOSITION 65」に基づく警告

⚠ **警告**：この車両の運転、整備、および操作を行うことで、米国カリフォルニア州政府が規制する、発がん性や先天性障害または生殖毒性を引き起こすことが知られている化学製品にさらされる可能性があります。そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。詳細は、www.p65warnings.ca.gov/products/passenger-vehicleをご覧ください。



カナダでは、Bombardier Recreational Products Inc.が本製品を販売しています。
米国内の製品代理店はBRP US Inc.です。

以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc.またはその関連会社に帰属します：

ACE™	Can-Am®
Rally™	Rotax®
Ryker®	XPS™

オペレーターズガイド2021

Ryker 600

Ryker 900

Ryker 900 Rally Edition

まえがき

Deutsch	Dieses Handbuch ist möglicherweise in Ihrer Landessprache verfügbar. Bitte wenden Sie sich an Ihren Händler oder besuchen Sie: www.operatorsguides.brp.com
English	This guide may be available in your language. Check with your dealer or go to: www.operatorsguides.brp.com
Español	Es posible que este manual esté disponible en su idioma. Consulte a su distribuidor o visite: www.operatorsguides.brp.com
Français	Ce guide peut être disponible dans votre langue. Vérifier avec votre concessionnaire ou aller à: www.operatorsguides.brp.com
Italiano	Questa guida potrebbe essere disponibile nella propria lingua. Contattare il concessionario o consultare: www.operatorsguides.brp.com
中文	本手册可能有您的语种的翻译版本。请向经销商问询，或者登录 www.operatorsguides.brp.com 查询。
日本語	このガイドは、言語によって翻訳版が用意されています。ディーラーに問い合わせるか、次のアドレスでご確認ください： www.operatorsguides.brp.com
Nederlands	Deze handleiding kan beschikbaar zijn in uw taal. Vraag het aan uw dealer of ga naar: www.operatorsguides.brp.com
Norsk	Denne boken kan finnes tilgjengelig på ditt eget språk. Kontakt din forhandler eller gå til: www.operatorsguides.brp.com
Português	Este manual pode estar disponível em seu idioma. Fale com sua concessionária ou visite o site: www.operatorsguides.brp.com
Русский	Воспользуйтесь руководством на вашем языке. Узнайте о его наличии у дилера или на странице по адресу www.operatorsguides.brp.com
Suomi	Käyttöohjekirja voi olla saatavissa omalla kielelläsi. Tarkista jälleenmyyjältä tai käy osoitteessa: www.operatorsguides.brp.com
Svenska	Denna bok kan finnas tillgänglig på ditt språk. Kontakta din återförsäljare eller gå till: www.operatorsguides.brp.com

Can-Am® Ryker™ モデルをご購入いただき、ありがとうございます。購入いただいた製品のサポートは、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) の保証サービス、お客様が必要とされる部品、サービスおよびアクセサリを取り揃えている認定ディーラーネットワークが行っています。

各ディーラーとも、お客様が満足されるように努めています。ディーラーは、準備や点検を行うためのトレーニングを受けており、お客様がこの新しい車両を所有される前の最終調整も行っています。

詳しいサービス情報をご希望の場合は、最寄りのディーラーまでお問い合わせください。

納品時には、お客様に保証範囲をお知らせいたします。また、新しい車両がご満足いただけるものであることを保証するために、お客様に納入前チェックリストにご署名いただいています。

乗車前に確認すべきこと

運転者、同乗者および他の人々の安全を確保するため、この車両に乗る前に次のセクションをお読みください。

- 一般的な注意
- 車両についての情報
- 安全にご使用いただくために
- 走行前の点検

経験豊かなモーターサイクル運転経験者であっても、車両の特殊性に特にご注意ください。

安全上の警告

本ガイドに記載されている安全に関する安全上の警告の種類、特徴および本ガイドでどのように使用されているかを以下に説明します。

安全警告記号△は、人が負傷する恐れがあることを示しています。

警告

指示に従わなかった場合、重傷や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

 **注意** この指示に従わない場合、軽症またはほどほどの負傷を負う恐れがあることを示しています。

注意 指示に従わなかった場合は、車両の構成部品などに重大な損傷が生じる恐れがあることを示します。

このオペレーターズガイドについて

本オペレーターズガイドは右車線走行である米国で作成されました。本書の説明は、居住地域の管轄および法律に従いながらお読みください。

本オペレーターズガイドに記載されている「モーターサイクル」という用語は通常、二輪のバイクを意味します。

本オペレーターズガイドは車両内に保管し、メンテナンス、道路脇での修理、および同乗者に指示する際に参照してください。

オペレーターズガイドの閲覧やコピーを希望する場合は、次のウェブサイトへアクセスしてください。

www.operatorsguides.brp.com

本書に記載されている情報は、発行時点で正確なものです。ただし、BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を持っています。

その後の変更により、製造された製品と本ガイドに記載の説明または仕様との間に差異が生じる場合があります。BRPは何らの義務を負うことなく、いかなるときでも製品の仕様、設計、機能、型式、装置などを変更したり、製造を終了する権利を留保します。

車両を売却するときは、このオペレーターズガイドを必ず車両内に入れておいてください。

「その他の情報源」を参照してください

本オペレーターズガイドの他にも、車両の安全カードを読み、安全講習ビデオを以下のサイトでご覧ください：

<https://can-am.brp.com/spyder/owners/safety/safety-information.html>または、以下のQRコードを使用してください。



可能であれば、3輪バイクの特別トレーニングコースを受講してください。

今後提供されるトレーニングコースのスケジュールに関しては、下記のサイトを参照してください。

www.can-am.brp.com

お住まいの地域で3輪バイクの特別トレーニングコースが提供されていない場合は、バイクのトレーニングコースの受講を推奨します。

必要とされる技術の多くは似ており、路上の危険管理に関して得られる情報も3輪バイクによく当てはまるものです。

謝辞

このオペレーターズガイドには、Motorcycle Safety Foundation (MSF、二輪車安全基金)の道路上のモーターサイクルの安全性に関する資料を引用しています。同基金に対して感謝申し上げます。

MSFは、あらゆるモーターサイクルメーカーから支持されている、国際的に認知された非営利財団です。MSFは、地域や団体にモーターサイクルの安全に関するトレーニングやツールを提供したり、パートナーシップ関係を結んでいます。詳細は下記のサイトを参照してください。

www.msf-usa.org

**このページは
意図的に空白になっています**

目次

まえがき.....	1
乗車前に確認すべきこと.....	2
安全上の警告.....	2
このオペレーターズガイドについて.....	2
「その他の情報源」を参照してください.....	2
謝辞.....	3
一般的な注意.....	9
一酸化炭素中毒の防止.....	9
ガソリンによる火事や危険などの防止.....	9
高温部分による火傷の防止.....	9
アクセサリおよび改造.....	9

車両についての情報

基本操作部.....	12
1) ハンドルバー.....	13
2) スロットル.....	13
3) ブレーキペダル.....	13
4) パーキングレバー.....	13
5) シフトレバー.....	14
二次コントロール.....	16
1) ラジオ周波数デジタル暗号化セキュリティシステム (RF D.E.S.S.).....	16
2) エンジンスタートボタン.....	17
3) エンジンストップスイッチ.....	17
4) ヘッドライトスイッチ.....	17
5) 方向指示灯ボタン.....	18
6) クラクションボタン.....	18
7) ハザード警告点滅ボタン.....	18
4.5インチデジタルディスプレイ.....	19
多機能ディスプレイ.....	19
警告ランプおよびインジケータ.....	21
設定.....	22
装備.....	24
操作コンポーネントの調整.....	24
同乗者席.....	26
ライト.....	26
ミラー.....	28
グローブボックス.....	29
サービスカバー.....	30
基本手順.....	32
エンジンの始動および停止.....	32
傾斜地での発進.....	33
ヒルホールドコントロール.....	33
車両を手動で押す方法.....	33
後進走行.....	34
慣らし運転中の運転.....	34
燃料.....	35
サスペンションの調整.....	37

安全にご使用いただくために

他の車両との違いについて	40
安定性.....	40
道路状態に対する反応.....	40
走行モード.....	40
ブレーキペダル.....	40
パーキング位置.....	41
ステアリング.....	41
幅.....	41
リバース.....	41
運転免許証および国や地域の法律.....	42
駆動支援技術	43
車両スタビリティシステム (VSS)	43
道路上のリスクの把握	45
車両の種類.....	45
ドライバーの技術および判断力.....	45
ライダーの状態.....	45
車両の状態.....	46
道路状況および天候.....	46
走行時の衣類・装備類	47
ヘルメット.....	47
走行時のその他の衣類・装備類.....	47
必要とされる運転技術および実践演習	50
練習場の選択.....	50
運転の準備.....	50
運転の姿勢.....	51
練習の実施.....	51
高度運転技術の取得.....	56
道路上の注意事項	57
練習の下準備.....	57
安全運転.....	57
視認性を高める.....	58
車線の位置.....	59
一般的な運転状況.....	59
道路状況および危険性.....	61
道路上での緊急事態.....	62
タイヤの故障.....	62
同乗者または積荷を乗せた運転	63
重量制限.....	63
超過重量で運転する場合.....	63
同乗者を乗せた運転.....	63
荷物を乗せる場所.....	64
トレーラーの牽引.....	64
自己テスト	65
質問.....	65
解答.....	68
車両の安全情報	70
ハングタグ.....	70
安全カード.....	71
警告ラベル.....	72

安全面での欠陥の報告.....	76
走行前の点検	
走行前のチェックリスト.....	80
車両始動前の点検内容.....	80
車両始動後の点検内容.....	81
メンテナンス	
メンテナンスのスケジュール.....	84
過酷な粉塵環境.....	84
メンテナンスのスケジュール.....	85
メンテナンスの手順.....	87
タイヤ.....	87
ホイール.....	88
エンジンオイル.....	92
エンジンエアフィルター.....	96
CVTエアフィルター.....	96
CVTドライブベルト.....	97
エンジンクーラント.....	97
ファイナルドライブ.....	98
ギヤボックス.....	99
ブレーキ.....	102
バッテリー.....	104
車載診断 (OBD) コネクターの位置.....	105
排気システム.....	105
ヘッドライト.....	105
ラジエータ.....	109
ステアリングシステム.....	111
車両のお手入れ.....	112
洗車.....	112
車両の保護.....	112
保管、シーズン前の準備.....	113
保管.....	113
シーズン前の準備.....	113
道路脇での修理	
診断ガイドライン.....	116
多機能ゲージのメッセージ.....	118
以下の状況に対する解決策.....	120
RF D.E.S.S.キーの紛失.....	120
タイヤのパンク.....	120
バッテリー上がり.....	120
ヒューズの交換.....	122
ヒューズの位置.....	122
ヒューズボックス項目詳細.....	122
ヒューズの交換.....	122
バルブの交換.....	124
ハイ/ロービームヘッドライトバルブ (北米内).....	124
ハイビームヘッドライトバルブ (北米外).....	125
ロービームヘッドライトプロジェクター (北米外).....	126

車両の移送.....	127
車両を手作業で載せるには.....	127
ウィンチを使用して車両を載せるには.....	127

技術情報

車両の識別.....	130
車両識別番号.....	130
エンジン識別番号.....	130
車両コンプライアンスラベル.....	132
EPAコンプライアンスラベル（北米向けモデル）.....	132
コンプライアンスラベル（オーストラリアモデル）.....	132
騒音エミッションコントロールシステム規制.....	133
無線周波数デジタルコード化されたセキュリティシステム（無線周波数 D.E.S.S.キー）.....	134
EAC適合宣言書.....	135
仕様.....	136

保証

BRP限定保証-カナダおよび米国、2021 CAN-AM® RYKER RYKER®シ リーズシリーズ.....	146
BRP国際限定保証：2021 CAN-AM® RYKER RYKER®シリーズシリーズ	153
欧州経済地域、独立国家共同体の加盟国およびトルコ向けBRP限定保 証：2021 CAN-AM® RYKER RYKER®シリーズシリーズ.....	157
メンテナンス記録.....	161

顧客情報

個人情報.....	166
お客様窓口.....	167
アジア.....	167
ヨーロッパ.....	167
北米.....	167
オセアニア.....	168
南米.....	168
住所と所有者の変更.....	169

一般的な注意

一酸化炭素中毒の防止

どのエンジンの排気ガスにも、致命的なガスである一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸うと、頭痛、めまい、眠気、吐き気、錯乱を招き、場合によっては死に至ることがあります。

一酸化炭素は、エンジンの排気ガスを見たりその匂いを感じないとしても、存在する恐れがある、無色、無臭、無味のガスです。一酸化炭素は極めて早く致死濃度に達することがあり、急速にその影響を受けて、自身を守ることができなくなります。また、閉じた場所や換気が悪い場所では、一酸化炭素の致死濃度が数時間から数日に長引くことがあります。一酸化炭素中毒の徴候を感じたら、すぐにその場所を離れ新鮮な空気を吸い、医師にご相談ください。

一酸化炭素による重傷や死亡を防ぐには：

- ガレージ、カーポートや納屋などの換気が悪い場所、または部分的に閉じられた場所で車両を絶対に運転しないでください。扇風機を使ったり窓やドアを開けてエンジンの排気ガスを換気しようとしても、一酸化炭素が危険なレベルに早く達する場合があります。
- 窓やドアなどの開口部からエンジンの排気ガスが建物に入る恐れがある場所では、絶対に屋外で車両を運転しないでください。

ガソリンによる火事や危険なものの防止

ガソリンは可燃性が極めて高く、爆発性する可能性が高いものです。燃料の蒸気は拡散し、エンジンから遠く離れた火の粉や炎によって引火することもあります。火事や爆発の危険性を減らすために、以下の指示に従ってください：

- 燃料の補給は、炎、火の粉、火がついているタバコやその他の点火源から離れ、よく換気された屋外で行ってください。
- 絶対に、エンジンを作動させたままで燃料を補給しないでください。

- 絶対に、燃料タンクから溢れさせないでください。温度変化で燃料が膨張する場合がありますため、燃料タンクに若干の余裕を残してください。
- こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。
- 絶対に燃料フィアードアを開けたままで始動したり運転したりしないでください。
- 燃料の保存には、承認された赤いガソリン容器だけを使ってください。
- ガソリン容器を車両に載せて運搬しないでください。

ガソリンは有毒で、傷害や死亡を引き起こす場合があります。

- 絶対に、口でガソリンを吸い上げないでください。
- ガソリンを飲み込んだり、ガソリンが目に入ったり、ガソリンの蒸気を吸い込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けてください。

ガソリンが体にかかった場合は、石鹸と水で洗い、衣服を着替えてください。

高温部分による火傷の防止

排気、オイルおよびクーリングシステム、およびエンジンは運転中に高温になります。多機能ゲージガラスなどの他の部品も、日光にさらされると高温になることがあり、温度が60°Cを超える可能性もあります。火傷を防止するために、運転中や運転直後に触らないでください。

アクセサリおよび改造

承認を受けていない改造や、BRPが認定していないアタッチメントや用品の使用は避けてください。これらの改造はBRPによる試験を受けていないため、交通事故や負傷の危険性を高め、車両の使用が違法となる場合があります。

通常のモーターサイクルとは異なり、車両には車両安定システム (VSS) が搭載されています。これは、通常の車両構成に対して較正が行われています。VSSは、重量配分、ホイールベース、タイヤ、サスペンション、ブレーキまたはステアリングを変更するなど、車両を改造した場合に正常に作動しなくなることがあります。

車両で使用できるBRPアクセサリについては、認定Can-Am On-Roadディーラーにご相談ください。

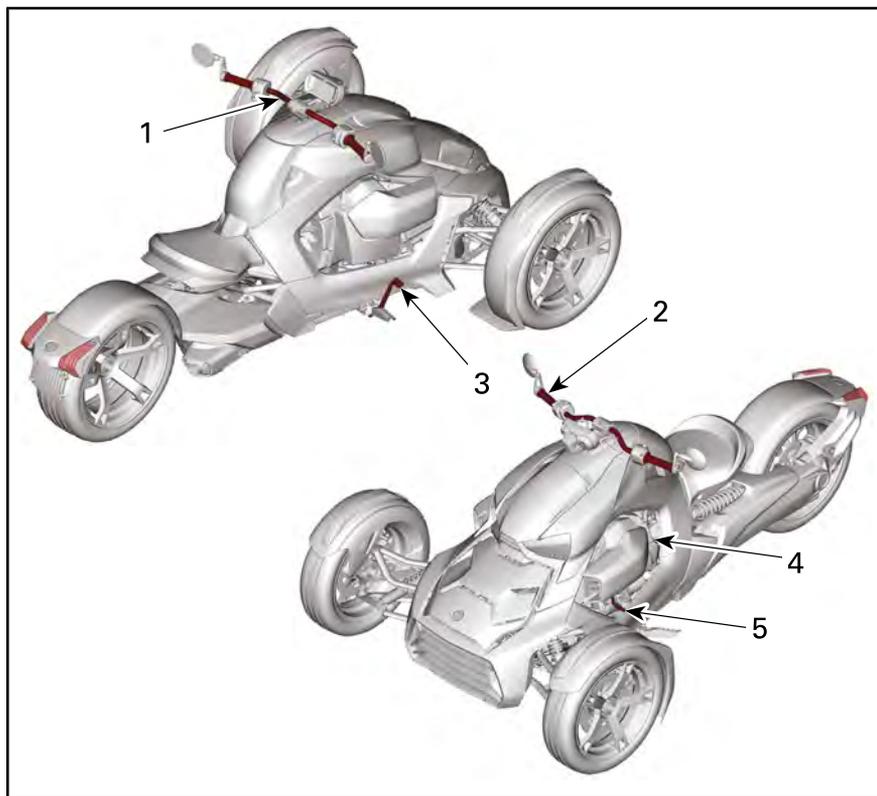
車両についての情報

基本操作部

すべての操作部の位置と操作方法を知り、それらをスムーズかつ上手に使用できるように練習する必要があります。

警告

ハンドルバー、ドライバーのフットペグ、ブレーキペダルは、それぞれのドライバーのニーズに合わせて簡単に調整できます。すべての操作部に完全に手が届き、車両を運転している人が常に簡単に操作できることが重要です。時間を取り、ドライバーに合わせて車両を調整してから運転してください。



1. ハンドルバー
2. スロットル
3. ブレーキペダル
4. パーキングポジションレバー
5. トランスミッションレバー

1) ハンドルバー

両手でハンドルを握ります。行きたい方向にハンドルを切ります。

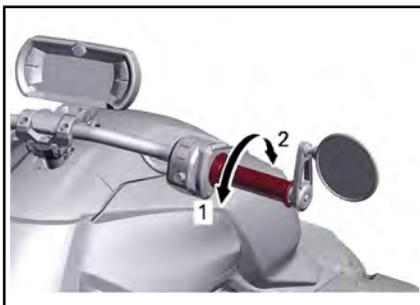
2) スロットル

右側のハンドルグリップをひねってスロットルを操作します。これにより、エンジンに流れる燃料量を調整して車速を制御します。

速度を上げるには、スロットルを手前にひねります（手首を下げる）。

速度を下げるには、スロットルを戻す方向にひねります（手首を上げる）。

スロットルは、手を放すとスプリングによってアイドル位置に完全に戻ります。



1. 速度を上げる
2. 速度を下げる

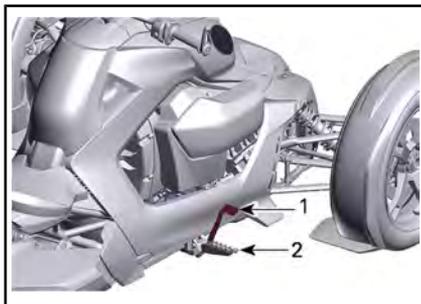
この車両にはETC（Electronic Throttle Control: 電子スロットル制御）が搭載されています。スロットルボディのスロットルプレートは電子的に制御されており、スロットルのツイストグリップ位置に関係なく、必要な時に開けたり閉めたりできます。

加速時は、車両の安定性を維持するために車両安定システム（VSS）がエンジンの加速を抑える場合があります。その後、車両が安定してからスロットルの位置が維持されている場合は、要求に応じてエンジンの回転数が上がります。これにより、「遅れた」加速のように感じられます。

VSSは車両を加速させることができません。VSSが行うのは、滑りやすい路面でのエンジンブレーキの効きを弱めるためにスロットルを若干開けることだけです。これにより、エンジンブレーキを原因とするリアタイヤのスリップを防ぎます。

3) ブレーキペダル

ブレーキペダルは右のフットペグ前部にあります。



1. ブレーキペダル
2. 右フットペグ

足でペダルを踏み、3輪すべてにブレーキをかけます。

減速していることを示す周囲に対する信号として、必ずブレーキをかけてください。

注記 走行中に足がブレーキペダルにもたれないようにしてください。ブレーキペダルにもたれた場合、ブレーキシステムを保護するためにエンジンマネージメントシステムがLIMPHOMEモードを起動させます。

4) パーキングレバー

車両左側にあり、パーキング位置にすると、ギヤボックスを阻止して後輪が回転するのを防止します。

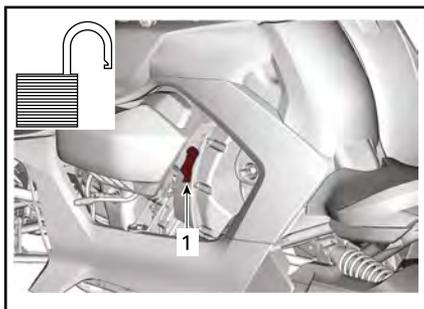


警告

車両が動作していないときは、必ずパーキング（P）位置にしてください。パーキングレバーが掛かっていないと、車両が動く場合があります。

注記 絶対にパーキングレバーを使用して車両を停止させようとしないでください。車両を停止してからパーキングレバーを動かさなければなりません。

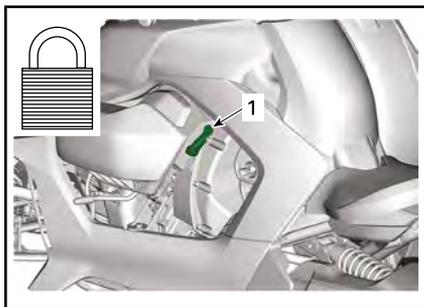
レバーが地面を向いているときは、P位置から解除されています。



1. アンロック位置（解除された状態）のパーキングレバー

レバーを上方向いっぱいまで引いて掛け、P位置に固定します。

車両を前後に揺すり、パーキングポジションレバーがしっかり掛かっていることを確認します。



1. ロック位置（掛かった状態）のパーキングレバー

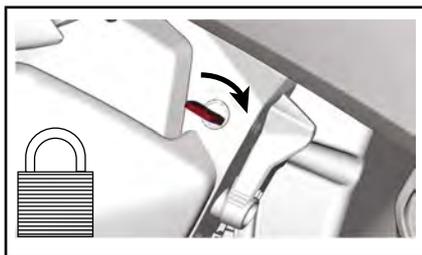
パーキングポジションレバーが完全に掛かっているときは、選択されたギヤの表示部にPが表示されます。

パーキングポジションレバーのロック

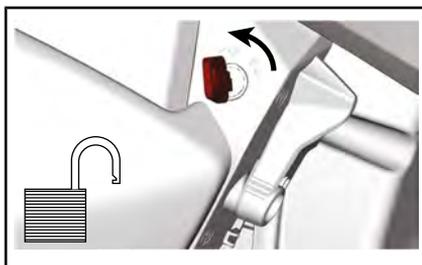
北米以外

パーキングレバーがP位置に掛かっているとき、パーキングポジションレバーをロックすることができます。

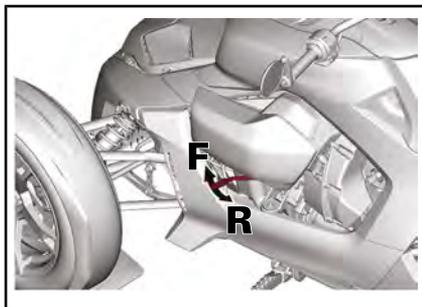
キーを時計方向に回してパーキングポジションレバーをロックします。



パーキングポジションレバーのロックを解除するには、キーを反時計方向に回します。



5) シフトレバー



F = 前進

R = 後進

車両左側の左サービスカバーの下にあるシフトレバーは、ギヤボックスを前進から後進位置に変えるために使用します。

注意 車両が完全に停止していない場合は、シフトレバーを前進から後進に、または後進から前進に絶対に動かさないでください。

前進

通常の走行位置。この位置にすると、車両の前進、および連続したギヤレシオ範囲内での加速が可能になります。

リバース

リバース位置にすると、車両を後進させることができます。

後進時はエンジン回転数が制限されるため、車両の後進速度も制限されます。



下り坂を後進するときは、重力により、設定されている後進速度よりも車両速度が上昇します。

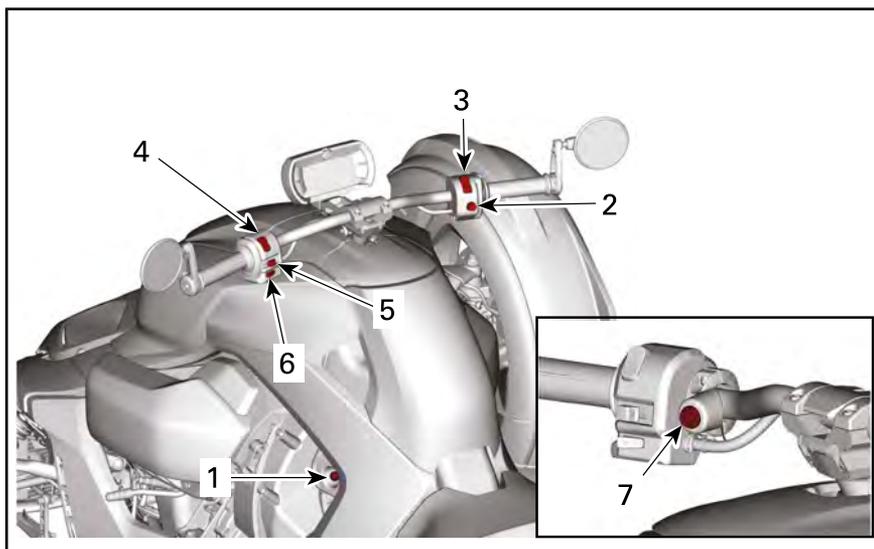
オーストラリアを除くすべての国

車両後進時は、方向指示灯が点滅します。

オーストラリア

車両後進時は、リアフェンダー上にあるリバースライトが点灯します。

二次コントロール

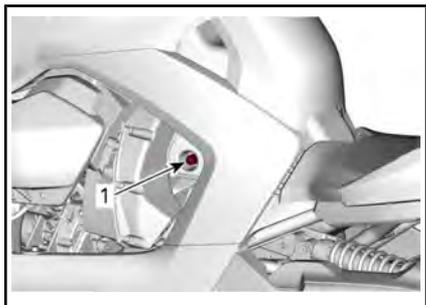


1. RFD.E.S.S.ポスト
2. エンジンスターボタン
3. エンジンストップスイッチ
4. ヘッドライトスイッチ
5. 方向指示ボタン
6. クラクションボタン
7. ハザード警告点滅ボタン (オーストラリアおよびロシア)

1) ラジオ周波数デジタル暗号化セキュリティシステム (RFD.E.S.S.)

RFD.E.S.S.ポスト

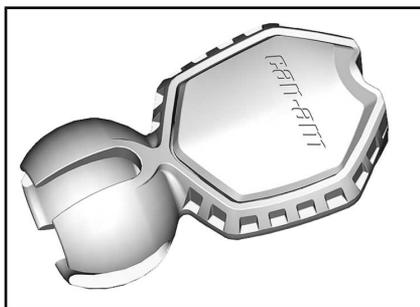
ラジオ周波数デジタル暗号化セキュリティシステム (RFD.E.S.S.) のポストは、車両左側のシートと左側サービスカバーの間にあります。



1. RFD.E.S.S.ポスト

RFD.E.S.S.キー

車両には2本のRFD.E.S.S.キーが付属しています。



各キーには、エンジンを起動させるためにあらかじめプログラムされ、無線周波数を通じてイモビライザーシステムによって読み取られる電子回路が含まれています。

これらのキーには電池が含まれていません。

Learning Key

Can-Am On-Roadラーニングキーは、車両の速度を制限して、初めて操縦する人や経験の浅いオペレーターが、不安を感じたりコントロールを失ったりせずに車両の操縦方法を学べるようにします。

認定Can-Am On-Roadディーラーは、車両のD.E.S.S.を、最多8個の異なるキーを受け付けるように設定できます。

2) エンジンスタートボタン

エンジンスタートボタンは、右側多機能スイッチの下側にあります。



3) エンジンストップスイッチ

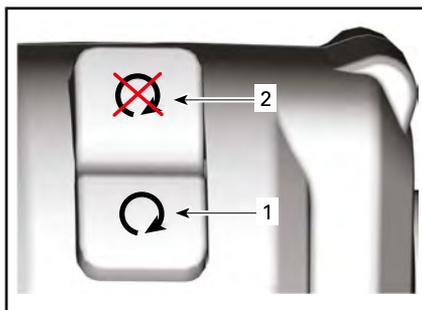
エンジンストップスイッチは、右側多機能スイッチの上側にあります。



エンジンを始動するには、エンジンストップスイッチを作動位置にします。

エンジンを停止するには、エンジンストップスイッチを停止位置にします。

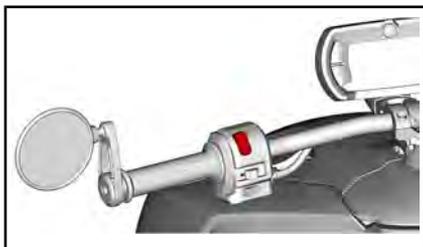
注：エンジンは、エンジンストップスイッチを使用した場合のみ停止させることができます。RF D.E.S.S.キーをポストから取り外してもエンジンは停止しません。キーはエンジンを始動させるときにのみ必要です。



1. 作動位置
2. 停止位置

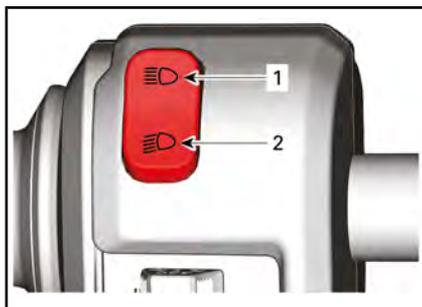
4) ヘッドライトスイッチ

ヘッドライトスイッチは、左側多機能スイッチの上側にあります。



このスイッチは、ヘッドライトのローまたはハイビームを選択するのに使用します。

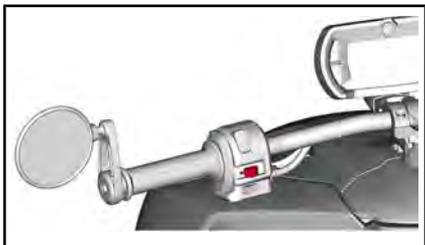
このスイッチを上下に作動させて、ハイビームかロービームを選択します。



1. ハイビーム位置
2. ロービーム位置

5) 方向指示灯ボタン

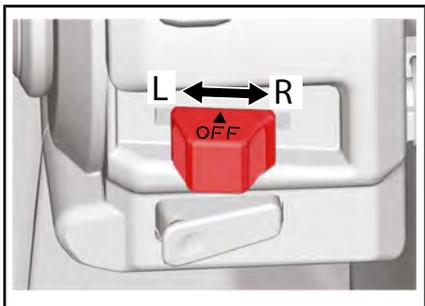
方向指示灯ボタンは、左側多機能スイッチの中程にあります。



方向指示灯は通常のカーブを曲がった後は自動的にOFFになりますが、浅い曲がりや車線変更の後には手でOFFにする必要がある場合があります。

方向指示灯をOFFにするには、ボタンを中に押し入れます。

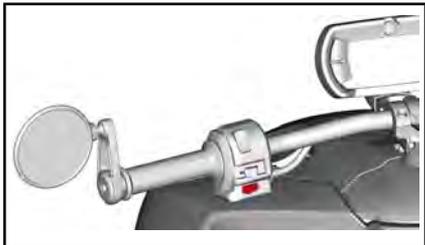
車両の走行中、方向指示灯は30秒後に自動的にOFFになります。



L = 左側方向指示灯
R = 右側方向指示灯

6) クラクションボタン

クラクションボタンは、左側多機能スイッチの下側にあります。



ボタンを押してクラクションを鳴らします。

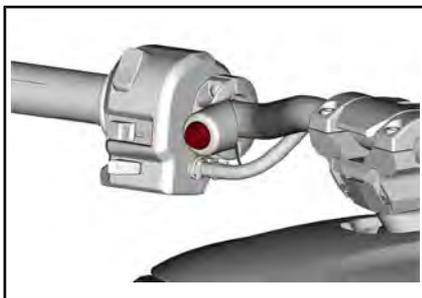


7) ハザード警告点滅ボタン

オーストラリアおよびロシアモデル

ハザード警告点滅ボタンは、左側多機能スイッチの右側にあります。

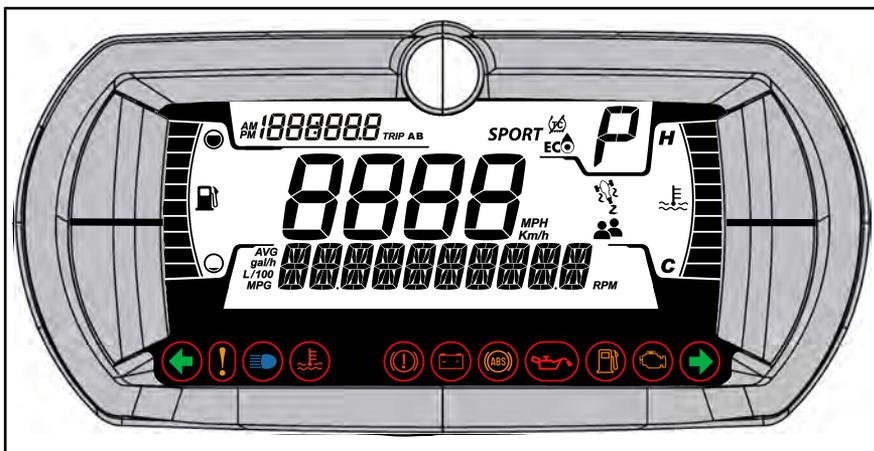
ボタンを押してハザード警告点滅灯を作動させたり停止したりします。



ハザード警告点滅灯は、エンジンが作動していないときにも作動させることが可能です。点滅灯を長時間使用すると、バッテリーを消耗させることになります。

4.5インチデジタルディスプレイ

多機能ディスプレイ



警告

多機能ゲージを見ていて気が取られると、車両の運転時に気が散り、周囲を見回すことができなくなる可能性があります。常に道路状況に注意を払い、進路が開けており、障害物がないことを確認してください。さらに、運転時、道路状況の確認を維持するために、多機能ゲージに目をやることは一瞬のみにしてください。

多機能ゲージには、デジタルゲージ（温度およびタコメーター）、表示灯、アイコンおよび重要な情報（速度、回転数など）を表示するためのデジタル画面があります。

下側の表示



下記の項目を表示させることができます。

- 回転数
- AVG - 平均燃料消費量
- 走行可能距離
- 設定
- メッセージ

左側の表示



左側の表示には以下のものが含まれます：

- 燃料レベルインジケーター

注：この情報は参考用として使用してください。燃料タンクの構成が原因で、レベル低下を示す前に、燃料レベルインジケーターが長時間満杯であることを示す場合があります。目的地に到着するのに十分なガソリンがあるか

どうかを判断するには、「走行可能距離」の情報の方がより正確です。

右側の表示



右側の表示には以下のものが含まれます：

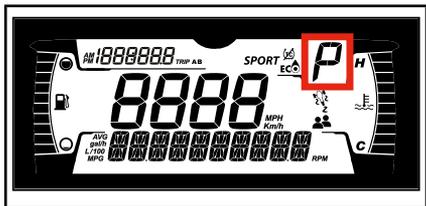
- エンジン温度
- VSSアイコン
- 同乗者アイコン

中央の表示



車両速度をkm/hまたはmph単位で表示します。

選択されたギヤの表示



この表示は、ギヤボックスのギヤ位置を示します。

- F (前進)
- R (後進)

また、パーキングポジションレバーがロック位置になっているときはPが表示されます。

トリップ表示



この表示はトリップ情報を示します。

- 積算距離計オドメーター
- トリップA
- トリップB
- 時計

モード表示

900 ACEエンジンを装備しているモデルだけで利用可能



モード表示では、下記の中から選択された走行モードが表示されます。

- ECO
- スポーツ
- ラリー (ラリーエディションのみ)

Ryker 900 Rally™エディションモデルの場合、舗装されていない道路で車両を使用するときは、ラリーモードにする必要があります。

モードが選択されると、下側の表示にメッセージが現れます。同時に、選択したモードを確認するために、1つまたは複数のアイコンが点灯します。

規格モードのときは、情報が表示されません。

走行モード	アイコン
規格	アイコンなし
ECO	

走行モード	アイコン
スポーツ	SPORT および  および 
ラリー (ラリー エディ ションの み)	 および 

警告ランプおよびインジケータ

下記のインジケータランプは、深刻な状況になる恐れのある車両の状態を警告します。車両始動時は、機能していることを確認するためのランプがいくつか点灯します。車両始動後もランプが点灯し続けている場合、詳細については、各システムの警告ランプのセクションを参照してください。

注：一部の警告インジケータが多機能ゲージのディスプレイに表示されて、インジケータランプと同じように機能しますが、車両始動時には表示されません。

表示灯 - 下側のバー



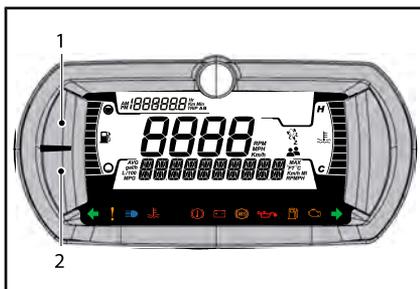
ライト	説明
	緑色 - 右左折時の方向指示灯が点灯。 ハザード警告点滅灯 (装備されている場合) - 前後のすべての方向指示灯が点滅。
	オレンジ色 - 車両機能異常
	青色 - ハイビームが選択された状態。

ライト	説明
	赤色 - エンジン温度が高過ぎる。
	赤 - パーキングポジションレバーが掛かっている、またはブレーキシステムの不具合。
	赤色 - 走行中に点灯する場合は、不具合を示しています。 不要な電気装置の電源を切り、電気系統と充電システムを点検してください。
	オレンジ色 - ABSシステムの不具合。
	RED - エンジン動作中または走行中に点灯する場合は、不具合を示しています。 安全のためできるだけ早く車両を停止して、エンジンを止めてください。エンジンオイルレベルを点検します。 レベルが正常でも、できるだけ早く潤滑システムを点検してください。
	オレンジ色 - 燃料レベルが低いまたは燃料タンクが空になりかけているときに点灯します。 できるだけ早く給油してください。
	オレンジ色 点灯 ：車両排出ガス制御システムの不具合。 点滅 ：エンジンの機能が制限され、応急帰還モードになります。直ちに車両の整備を行ってください。

アイコンおよびインジケーター - 多機能ディスプレイ

アイコン	
	燃料インジケーター
	温度インジケーター
	同乗者アイコン-左側の同乗者用フットペグが開いていると、このアイコンが点灯します。
	VSSアイコン 点灯：VSSが作動している、または不具合がある 点滅：VSSが介入している
	トラクションコントロールが部分的に停止していることを示します。 システムによりエンジンの出力はすべて発揮されますが、走行安定性が低下します。 そのため、十分注意しながら走行する必要があります。
	ECOモードが選択されていることを示します。
	スポーツモードが選択されていることを示します。

設定



1. 上側ボタン
2. 下側ボタン

ディスプレイの輝度

ディスプレイの輝度は、工場の初期設定として中程度のレベルに設定されています。輝度は、認定Can-Am On-Roadディーラーで変更できます。

言語の設定

ディスプレイの言語は、工場の初期設定として英語に設定されています。利用できる言語については認定Can-Am On-Roadディーラーに問い合わせて、好みの設定に変更してください。

メニューボタン

上側ボタン

上側ボタンを押すと下記の情報を表示できます。

- オドメーター - 累計走行距離
- トリップA
- トリップB
- 時計

下側ボタン

下側ボタンを押すと下記の情報を表示できます。

- 回転数
- 燃料統計値 (平均)
- 走行可能距離または時間 (kmまたはマイル)
- 設定
 - ・ メンテナンスのリセット
 - ・ 故障コード
 - ・ 単位
 - ・ 統計のリセット
 - ・ 時計の設定
 - ・ 終了

下側ボタンは、走行モードを選択するために使用できます。

値の選択、リセットまたは変更

上部メニュー

表示する情報が選択されるまで上側ボタンを押します。

トリップAまたはBをリセットするには

トリップAまたはBを選択します。

値がリセットされるまで上側ボタンを押し続けます。

下部メニュー

特定の情報を選択するには

希望する情報名が表示されるまで、下側ボタンを押します。

情報を選択して表示するには2～3秒待ちます（設定を除く）。

設定メニューにするには、下側ボタンを2～3秒押したままにします。

注：10秒以内に何も選択されない場合、クラスターは設定メニューを終了します。

値 (AVG) をリセットするには

リセットする値を選択します。

値がリセットされるまで下側ボタンを押し続けます。

値 (クロック) を変更するには

下側ボタンを押して変更する情報を選択します。

選択されたら、下側ボタンを押したままにして変更モードに入ります。

新しい値が表示されるまで下側ボタンを押します。

変更を受け入れる場合は2～3秒待ちます。

走行モードの選択または変更方法 900 ACEを装備しているモデルだけで利用可能

下側の表示のメッセージが変わるまで下側ボタンを押したままにします。

下側ボタンを押して、利用できるすべての走行モードをスクロールします。

新しい情報を選択して表示するには2～3秒待ちます。

標準モードに戻すにはECO OFFを選択します。

装備

操作用コンポーネントの調整

警告

ハンドルバー、ドライバーのフットペグ、ブレーキペダルは、それぞれのドライバーのニーズに合わせて簡単に調整できます。すべての操作部に完全に手が届き、車両を運転している人が常に簡単に操作できることが重要です。時間を取り、ハンドルバーに合わせて車両を調整してから運転してください。

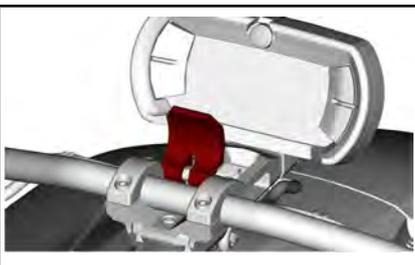
たとえば、ブレーキペダルにすぐに足が届いて使用でき、その機能の作動範囲全体で操作ができなければなりません。

ハンドルバー

警告

操作用コンポーネントの調整を行う前に、エンジンが停止してエンジンストップスイッチが停止位置になっていることを確認します。

車両に座り、エンジンが停止した状態で、ロックングレバーを持ち上げてハンドルバーのロックを解除します。

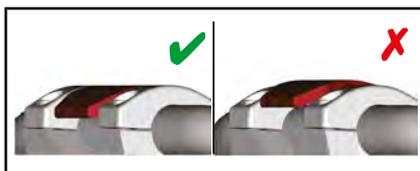


ハンドルバーを前後に動かして快適な位置に調整します。

調整したら、ロックングレバーを元の位置に戻してハンドルバーを所定位置でロックします。

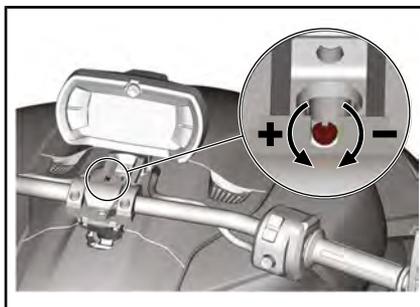
警告

ロックングレバーが完全に元の位置に戻っていることを確認してください。ハンドルバーの固定クランプを同じようになっている必要があります。



ロックングレバーの固定強度の調整

ロックングレバースクリューを反時計方向に回すと固定強度が上昇し、時計方向に回すと低下します。



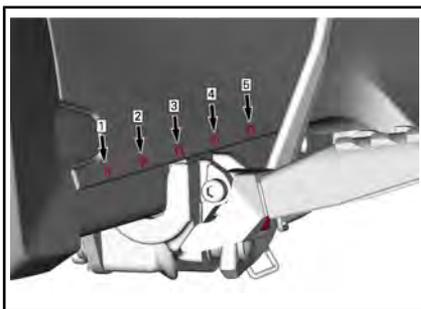
ドライバーのフットペグとブレーキペダル

警告

右側のフットペグを移動させたときは、ブレーキペダルの位置も必ず再調整してください。

警告

また、フットペグの位置は両側とも同じ位置にするよう推奨します。ロッカーパネル上にある基準マークを調整時の補助として使用してください。



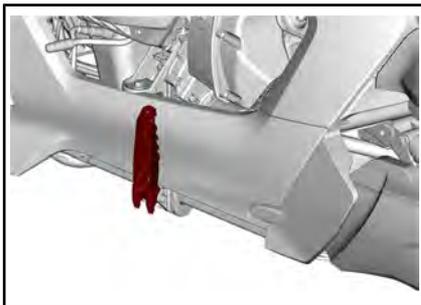
BRPは、フットペグとブレーキペダルの調整後に、車両上で走行位置に設定されている運転席が最も適切かつ快適な位置であるかどうかを確認するよう推奨しています。また、ドライバーは、ブレーキペダルが作動範囲全体で作動することを確認しなければなりません。

左側フットペグ

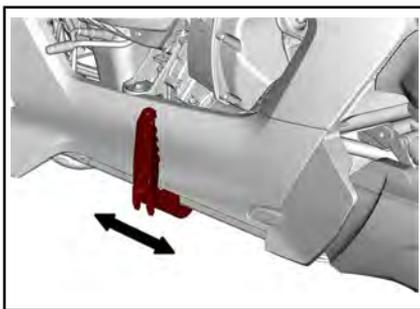
警告

エンジンが停止してエンジンストップスイッチが停止位置になっていることを確認してから、操作用コンポーネントを調整してください。

1. エンジンが停止している状態で、フットペグを完全に上げます。



2. フットペグを前後にずらして希望の位置にします。



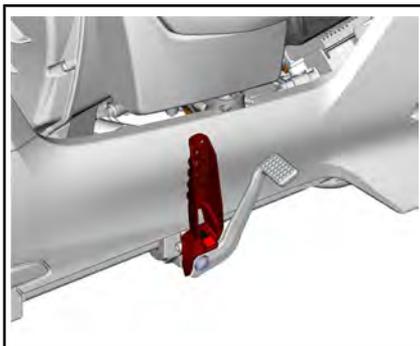
3. その走行位置でフットペグを下ろします。

右側フットペグとブレーキペダル

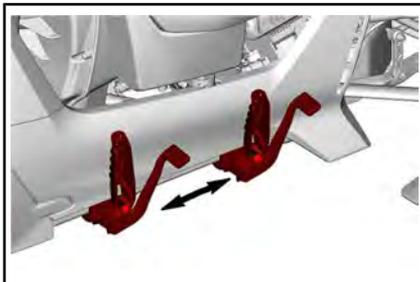
警告

エンジンが停止してエンジンストップスイッチが停止位置になっていることを確認してから、操作用コンポーネントを調整してください。

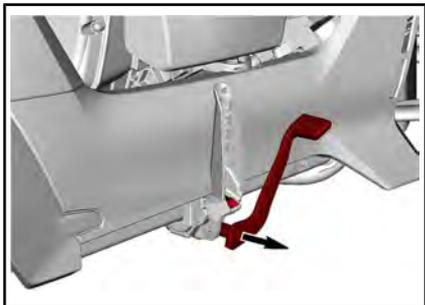
1. フットペグを完全に上げます。



2. フットペグとブレーキペダルを前後にずらして希望の位置にします。



- ブレーキペダルを引いて機能的な位置にします。



- フットペグを下げ、ドライバーがブレーキペダルを作動範囲全体にわたって踏み込めることを確認します。

警告

ドライバーが容易にブレーキペダルを踏み込めて作動範囲の端まで達することを必ず確認してから、最終的な位置を確定してください。

- ブレーキペダルの調整が完全に行われるまで、手順3と4を繰り返します。

同乗者席

この車両は、ドライバー専用車両として工場で製造されたものあり、同乗者は乗ることができません。しかし、BRP製のシートキットを追加することでこれを変更することができます。

BRPの同乗者席キットは、1人の同乗者を確実に乗せることができるように設計されたものであり、安全運転に必要な一部の安全機能が含まれています。

まず最も重要な機能は、2つの折りたたみ式フットペグです。左フットペグには、VSSの較正状態を変更する磁気スイッチが内蔵されています。

- 同乗者を乗せるときの重量が重いほど、そしてその重量分布がばらつくほど、車両の挙動に影響を与えます。

- 重心が変わり、車両の挙動が変わります。そのため、新しい状況を反映するために、VSSの較正状態を修正する必要があります。同乗者とともに乗るためにVSSの較正機能を作動させるには、フットペグを下ろすだけでかまいません。
- また、同乗者が乗らないときは、VSSが正しい較正状態となるようフットペグを折りたたんでおくよう推奨します。

VSSが同乗者モードになっていることを示すために、クラスターゲージには同乗者アイコンが表示されます。

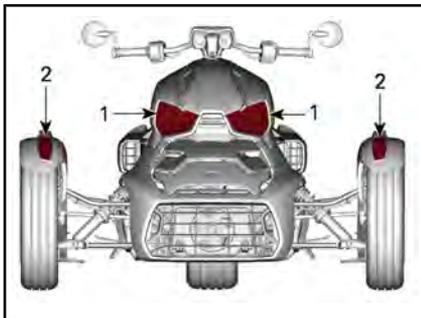
警告

フットペグが下がっていない場合や取り付けられていない場合は、絶対に同乗者を乗せないでください。状況によっては操作不能になる場合があります。

もう1つの安全機能は、一体型の同乗者用グリップです。ハンドグリップの使用方法の詳細は、同乗者を乗せた運転のセクションを参照してください。

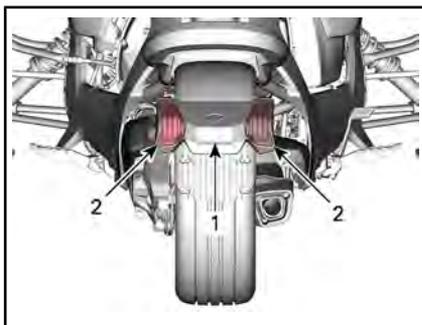
ライト

カナダおよび米国モデル



水上バイク前側

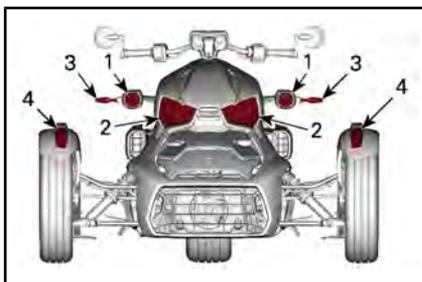
- ヘッドライト-ハイおよびロービーム
- 方向指示灯/ポジションライト



車両後部

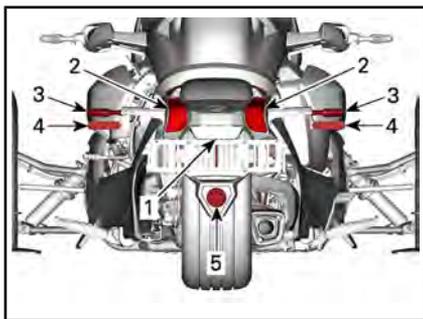
1. ナンバープレートライト
2. ブレーキライト/方向指示灯/テールライト

オーストラリアモデル



水上バイク前側

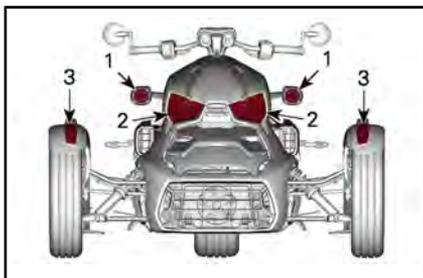
1. ヘッドライト - ロービーム
2. ヘッドライト - ハイビーム
3. 方向指示灯/ハザード警告灯
4. ポジションライト



車両後部

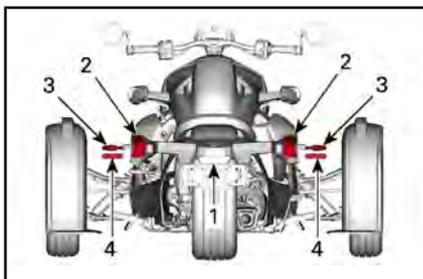
1. ナンバープレートライト
2. ブレーキライト
3. 方向指示灯/テールライト/ハザード警告灯
4. 赤色リフレクター
5. リバースライト

日本向けモデル



水上バイク前側

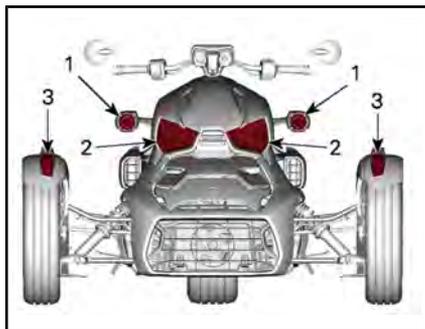
1. ヘッドライト - ロービーム
2. ヘッドライト - ハイビーム
3. 方向指示灯/ポジションライト



車両後部

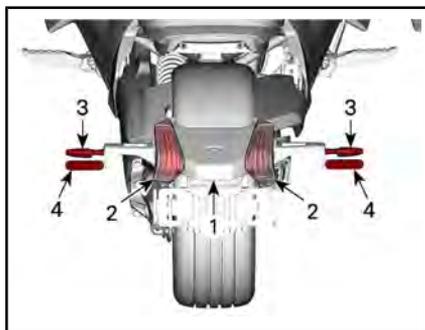
1. ナンバープレートライト
2. ブレーキライト
3. 方向指示灯/テールライト
4. 赤色リフレクター

ロシアモデル



水上バイク前側

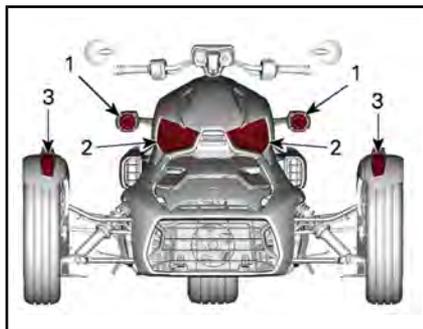
1. ヘッドライト-ロービーム
2. ヘッドライト-ハイビーム
3. 方向指示灯/ポジションライト/ハザード警告灯



車両後部

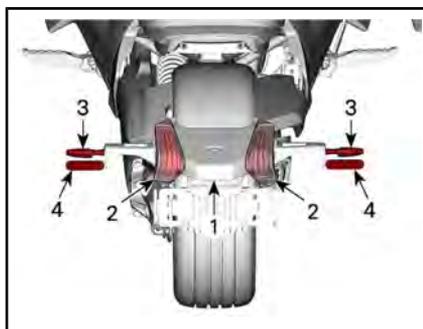
1. ナンバープレートライト
2. ブレーキライト
3. 方向指示灯/テールライト/ハザード警告灯
4. 赤色リフレクター

その他のすべての国



水上バイク前側

1. ヘッドライト-ロービーム
2. ヘッドライト-ハイビーム
3. 方向指示灯/ポジションライト



車両後部

1. ナンバープレートライト
2. ブレーキライト
3. 方向指示灯/テールライト
4. 赤色リフレクター

ミラー

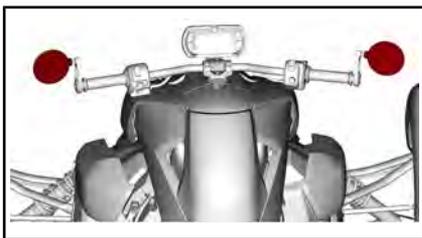
どのミラーも、軽く回すことでドライバーの好みの位置に調整することができます。

注記 ミラーアームを回そうとしないでください。ミラーアームは垂直方向（上向き）を維持しなければなりません。



警告

車両が動いている間にミラーを調整しないでください。



ミラーサポートの位置の修正

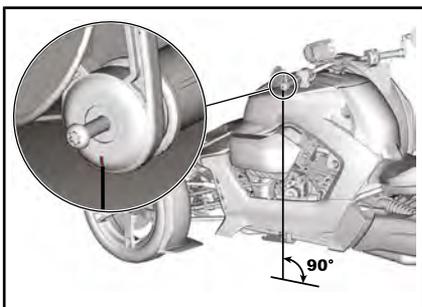
車両使用中にサポートが緩んだり下がったりする場合があります。下記の手順に従って位置を修正し、サポートを正しく固定してください。

1. ミラーサポートねじを10mm～13mm程度緩めます。

注記 部品を紛失しないよう、ねじを完全には取り外さないでください。



- A. 10mm～13mm
2. ねじを叩いて内側に押し込み、サポートリテーナーメカニズムを解除します。
 3. サポートをハンドルバーに対してしっかり押します。
 4. サポート上のマークが地面に対して垂直になるようにします。



5. サポートを保持してねじを締め付けます。

締め付けトルク

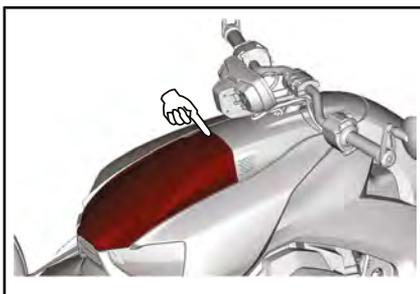
ミラーサポートねじ	5 N·m ± 0.5 N·m
-----------	-----------------

6. ミラーを調整します。

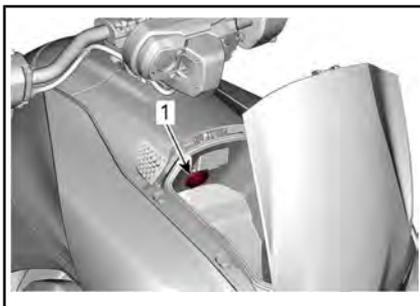
グローブボックス

このモデルには、小物を運んだりオペレーターズガイドを保管するグローブボックスが装備されています。

開くには、グローブボックスカバーの後部を押します。



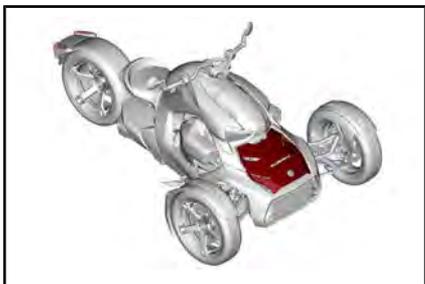
グローブボックス内には、USBコネクタが2つ設置されています。それぞれのUSBコネクタは、5Vにて最大で2.1 Aで充電を行うことができます。



1. 2つのUSBコネクタ

サービスカバー

フロントサービスカバー

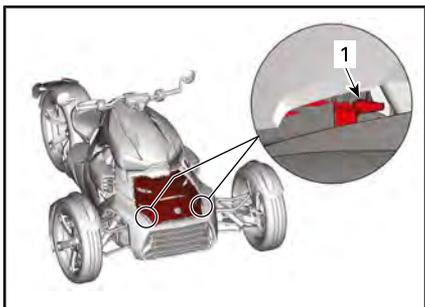


下記のものにアクセスするには、フロントサービスカバーを取り外す必要があります。

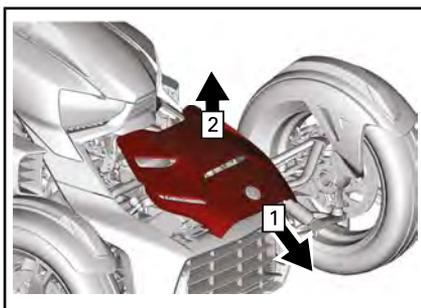
- バッテリー
- ヒューズボックス
- クーラントリザーバー
- 診断コネクタ
- エンジンオイルフィルター

フロントサービスカバーの取り外し

1. サービスカバー両側の、フロント側方部にある開口部に指を入れて固定タブを引き上げ、カバーのロックを解除します。



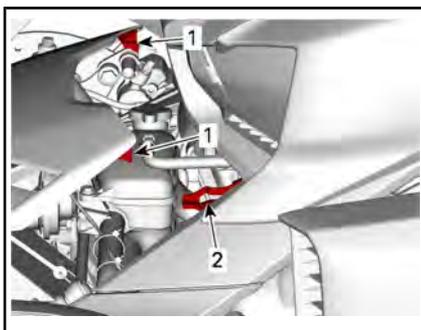
1. ロッキングタブ
2. タブを持ったまま、カバーを前方にスライドさせます。
3. サービスカバーを車両から取り外してください。



1. 前方にずらす
2. 持ち上げる

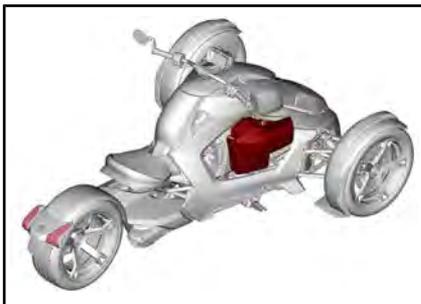
フロントサービスカバーの取り付け

1. フロントサービスカバーをスライドさせて元に戻します。
2. サービスカバーのリヤタブを車両サポートスロットに挿入します。



1. フロントサービスカバーのリヤタブ
左側車両サポート
3. サービスカバー前側を固定します。
4. カバーを引き、カバーが正しく留められていることを確認します。

右サービスカバー

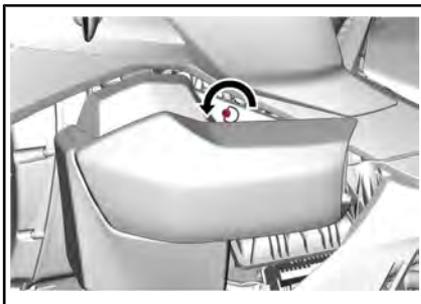


右サービスカバーからは下記のものに手が届きます。

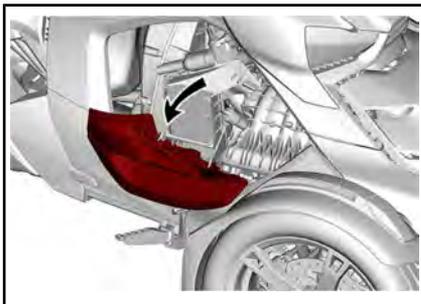
- 安全カード
- CVTエアフィルター
- エンジンオイルゲージ
- 給油用じょうご

右サービスカバーを開ける

1. クォーターターンスクリューを反時計方向に回します。



2. サービスカバーを傾けます。



右サービスカバーを閉じる

カバーを閉じて、クォーターターンスクリューで固定します。

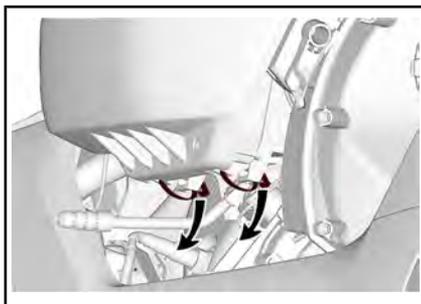
左サービスカバー



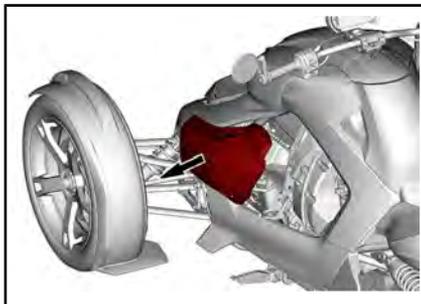
エンジンエアフィルターの整備を行うには、左サービスカバーを取り外す必要があります。

左サービスカバーの取り外し

1. 左サービスカバーの下にあって同力バーを所定位置に固定している、両側のクリップを解除します。



2. 車両からカバーを取り外します。



左サービスカバーの取り付け

取り付けは取り外しと逆の順序で行います。

基本手順

エンジンの始動および停止

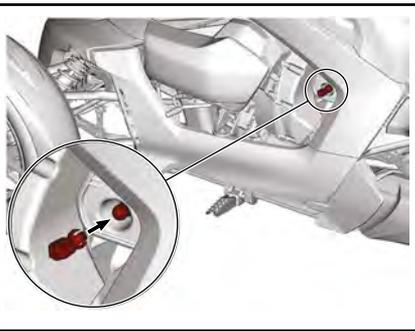
エンジンの始動

重要：始動時は、通常の回転数で作動する前に、エンジンの回転数が若干上がりません。

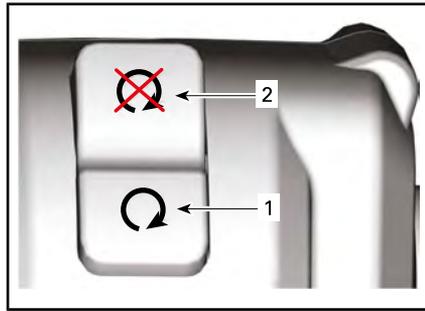


排気ガスには、密閉された場所または換気の悪いエリアで迅速に充満する有毒な一酸化炭素が含まれています。もし吸い込むと、重傷または死を招きかねません。密封されていない場所、または換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。一酸化炭素中毒の回避を参照。

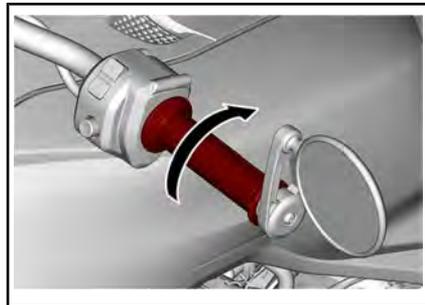
1. 右サービスカバーを開け、必要に応じて安全カードを読みドライバパー、同乗者および車両の準備を行ってから、車両を始動します。
2. RFD.E.S.S.キーをD.E.S.S.ポストに取り付けます。



3. スタートボタンを軽く押して、電気システムを起動します。
4. エンジンストップスイッチを作動位置にします。



1. 作動位置
2. 停止位置
5. スロットルハンドルを軽く戻す（手首を上げる）方向にひねり、始動システムを起動します。プザー音が聞こえます。
 - この操作を行ったら、スロットルハンドルを放します。
 - その後、この操作を再度行わなければ、30秒以内にエンジンを始動することができません。
 - エンジンを停止させるたびに、この操作を行ってエンジンを始動しなければなりません。



6. ブレーキペダルを踏み込んだままにします。
7. スタートボタンを押します。エンジン始動時に押し続ける必要はありません。

注：エンジンが始動しない場合は、スタートボタンを再度押します。

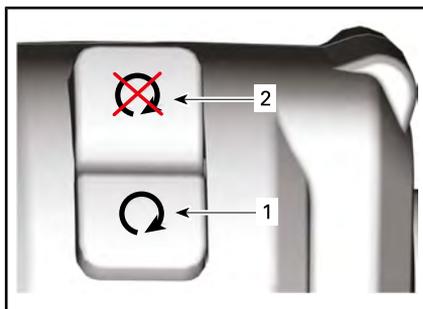
8. 問題がないか表示を確認し、オイルライトが消えているか確認します。

9. パーキングポジションレバーを解除します。多機能ゲージクラスタのインジケータが消えていることを確認します。

重要：車両を操作する前にパーキングポジションレバーが解除されていない場合、トランスミッションの損傷を防止するためにエンジン出力が制限されます。ブザーが鳴って表示灯①が点滅し、パーキングポジションレバーが解除されたことをドライバーに知らせます。

エンジンの停止方法

1. 車両を停止します。
2. エンジンストップスイッチを停止位置にします。



1. 作動位置
2. 停止位置

注：エンジンは、エンジンストップスイッチを使用した場合にのみ停止させることができます。RF D.E.S.S.キーをポストから取り外してもエンジンは停止しません。キーはエンジンを始動させるときにのみ必要です。

3. RF D.E.S.S.キーを取り外します。
4. パーキングポジションレバーを掛けてロックします。

表示灯①が点灯し、ディスプレイにはPが表示されます。

5. 車両を前後に揺すり、パーキングポジションレバーがしっかり掛かっていることを確認します。

警告

必ずパーキングポジションレバーを掛けてください。パーキングポジションレバーがロックされていないと車両が動く場合があります。車両が停止しているときはクラッチが常時解除されているため、トランスミッションで車両を所定位置に維持することはできません。

6. 車両から降ります。

自動エンジン停止

この車両には、エンジンが作動温度に達してから3分後にエンジンが停止する機能が装備されています。

ブザー音とともに停止メッセージがディスプレイに表示され、間もなく停止することが警告されます。

下記状態のいずれかが発生しないとエンジンは停止します。

- ブレーキがかけられる。
- スロットルハンドルを作動させる。

傾斜地での発進

車両が傾斜地に駐車されており、パーキングポジションレバーを解除するのが困難な場合、FまたはR位置（傾斜地の上側へ向かう方向）を選択し、パーキングポジションレバーを解除しながら軽くスロットルハンドルを回します。

ヒルホールドコントロール

5%を超える傾斜では、ブレーキペダルを放しても車両は動きません。この機能は、わずかな時間だけ車両が前後に動くのを防止するものです。

スロットルを動かすとブレーキは自動的に解除されます。

これは、（信号で止まっているときや車道走行時、または駐車時など）傾斜地で再発進しなければならないときの優れた機能です。

この機能は、車両が大きく後退しそうな傾斜地において、FまたはR位置を選択して傾斜地を登ろうとするときに自動的に作動します。

車両を手動で押す方法

注意 斜面で車両を手動で動かすのは避けましょう。斜面で車両を手動

で動かさなければならぬ場合、車両が転がり始めてしまったシナリオを想定してブレーキペダルの身近（車両の右側）で歩いてください。

エンジンを始動せずに車両を近い距離だけ動かす場合：

1. 車両に乗ったまま、ブレーキペダルを踏み続けます。
2. パーキングポジションレバーを解除します。
3. 車両の右側から降り、足はブレーキペダルを踏んだままにします。
4. 必要に応じてブレーキを使いながら車両を前に押します。

注意 ブレーキペダルがいつでも踏めるように、右側からしか押さないこと。熱いエキゾーストパイプには近づかないこと。

車両を後方に引っ張る場合、前輪で足を踏んでしまわないように気を付けてください。

5. 車両に座り、上述の規定された手順のとおりパーキングブレーキをかけます。

後進走行

後進時の安全運転については、安全にご使用いただくためにのセクションを参照してください。

ギヤを後進にする

1. 車両を停止して、エンジンをアイドリングさせます。
2. 足はブレーキペダルを踏んだままにします。
3. もう一方の足または左手で、シフトレバーを後方に引いてリバースに入れます。

リバースに入ったことを示すブザーが二度鳴ります。

リバースでの運転

あなたの後ろのエリアに何も無いことを確認し、後ろを向いたままリバースします。低速で後進してください。後進で長距離を走らないでください。

リバースからシフトアウトする方法

1. 車両を停止して、エンジンを作動させたままにします。

2. 足はブレーキペダルを踏んだままにします。
3. もう一方の足または左手で、シフトレバーを前方に押ししてリバースを解除します。

慣らし運転中の運転

車両には300 km の慣らし期間が必要です。

慣らし期間が過ぎた後は、メンテナンススケジュールのサブセクションのとおり点検を行ってください。

エンジン

慣らし期間中は：

- スロットル全開での加速は避けてください。
- 一定の回転数を維持しないでください。
- 加速を維持し続けるのは避けてください。
- 巡航速度での長時間の運転は避けてください。
- のろのろ運転の際に冷却ファンが常に作動している場合、路肩に寄せてエンジンをシャットオフしてエンジンを冷ますか、速度を上げて風でエンジンを冷ましてください。

ただし、短時間の全力加速やスピードの変化は適切な慣らしに役立ちます。

ブレーキとタイヤ

慣らし期間中は急ブレーキをかけないでください。



警告

新しいブレーキおよびタイヤは、慣らし運転が完了しないと最大効率で作動しません。ブレーキ、ステアリングおよびVSSの効率が下がる場合があります。そのため、十分注意してください。ブレーキとタイヤを慣らすには、頻繁にブレーキとステアリング操作を行いながら約300 km 走行させる必要があります。ブレーキとステアリング操作をそれほど行わない場合、ブレーキとタイヤの慣らし時間を多めに取ってください。

ドライブベルト

新品のドライブベルトは、50 km の慣らし期間を必要とします。

この期間中：

- 激しい加速や減速は避けてください。
- 高速での巡航は避けてください。

燃料

燃料に関する要件

注記 必ず新しいガソリンを使用してください。ガソリンは酸化します。酸化すると、オクタン、揮発性化合物の喪失、およびガム質やワニスの蓄積が起こり、燃料システムを損傷することがあります。

アルコール燃料の混合は、国および地域によって異なります。このエンジンは、推奨された燃料で動作するように設計されています。ただし、下記事項に注意してください。

- 国の規制によって定められた割合を超えるアルコールを含んだ燃料の使用は、推奨されていません。使用した場合、燃料システムコンポーネントに次のような問題が発生することがあります。
 - 始動および操作時の困難。
 - ゴムまたはプラスチック部品の劣化。
 - 金属部品の腐食。
 - エンジンの内部部品の損傷。
- ガソリンのアルコール含有量が国の規制を超えていると疑われる場合は、燃料漏れまたはその他の燃料システムの異常がないか頻りに点検してください。
- アルコールを混ぜた燃料は水分を引き寄せて保持するため、燃料の相分離が生じ、エンジン性能の問題やエンジンの損傷を引き起こす可能性があります。

推奨燃料

AKI (RON+MON)/2でのオクタン価が87、またはRONでのオクタン価が92以上の通常の無鉛ガソリンを使用してください。

最適な性能を得るには、AKI (RON+MON)/2でのオクタン価が91、またはRONでのオクタン価が95以上のプレミアム無鉛ガソリンを使用してください。

注記 他の燃料を試さないでください。不適切な燃料を使用すると、エンジンまたは燃料システムの損傷を引き起こす場合があります。

注記 E85のラベルがある燃料ポンプからの燃料は絶対に使用しないでください。

米国

E15のラベルの燃料の使用は、U.S.EPA (米国環境保護庁) の規制により禁止されています。

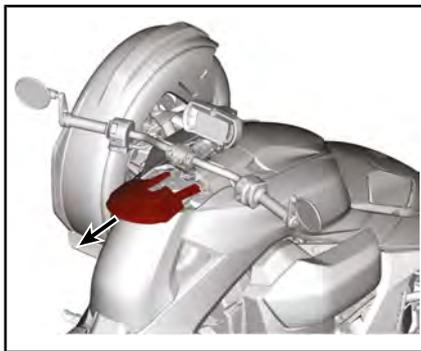
燃料補給の手順

警告

ガソリンは可燃性が極めて高く、爆発性する可能性が高いものです。火または爆発のリスクを下げるために燃料補給の手順に従ってください。ガソリンにより火事や他の危険の回避を参照してください。

車両に燃料補給するには：

1. 燃料の補給は、炎、火の粉、煙草を吸っている人やその他の発火源から十分離れ、よく換気された屋外の水平面に停車して行ってください。
2. エンジンを停止します。
3. 燃料フィラードアを後方にずらします。



4. 燃料リザーバーキャップを反時計回りにゆっくり回して、キャップを外します。

警告

差圧が感じられた（燃料タンクキャップを緩めるときに笛のような音が聞こえた）場合、作業を続ける前に車両を点検または修理してください。

5. 給油ノズルをフィルターネックに差し込みます。
6. タンクから空気を逃がして燃料が逆流しないように、燃料をゆっくり注ぎます。燃料をこぼさないように注意してください。
7. 燃料がフィルターネックの根元のところまで達したら、給油を止めます。**入れ過ぎないでください。**

警告

車両を温かい場所に停車する前に、絶対に燃料タンクに補充しないでください。温度上昇につれて、燃料が膨張し流出する可能性があります。

8. フューエルリザーバーキャップを時計回りに回して、完全に締め付けます。

警告

車両からこぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

9. 燃料キャップを所定位置にねじ込みます。
10. 燃料フィラードアをしっかり前方に押し閉じます。
11. こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。燃料が体にかかった場合は、石鹸と水で洗い、衣服を着替えてください。

携帯用燃料容器を使用した給油手順

警告

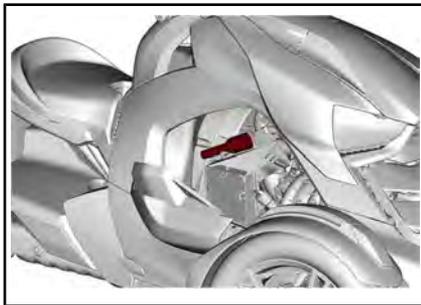
携帯用燃料容器のノズルまたは市販のじょうごを、キャップレス燃料フィルターネックに直接差し込まないでください。直接差し込むと、キャップレス燃料フィルターネックが損傷して気密性が低下します。キャップレス燃料フィルターネックが損傷すると、燃料が燃料タンク上に流れたり、燃料タンクに入らずにエンジン上に流れたりして、火災の原因になることがあります。

注記 他のものでキャップレス燃料フィルターネックをこじって開けようとしたり、押し開けようとししないでください。直接差し込むと、キャップレス

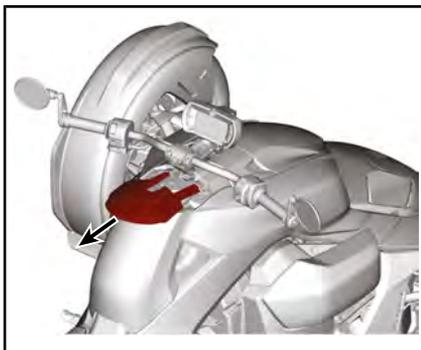
燃料フィルターネックが損傷して気密性が低下します。

携帯用燃料容器から車両の燃料タンクに充填するときは、車両に付属しているじょうごを必ず使用してください。

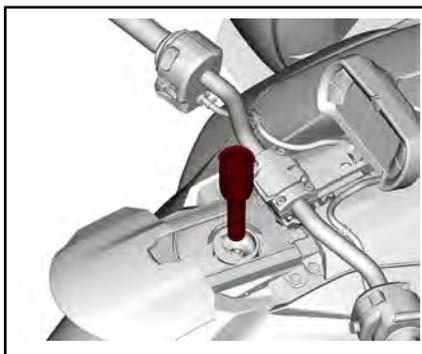
1. エンジンを停止し、パーキングポジションレバーをロック位置にします。
2. 右サービスカバーを傾けてプラスチック製のじょうごを取り出します。



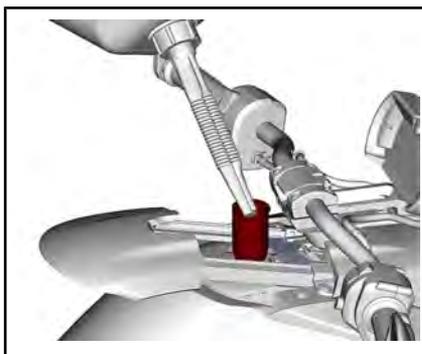
3. 燃料フィラードアを後方にずらします。



4. 燃料リザーバーキャップを反時計回りにゆっくり回して、キャップを外します。
5. 燃料フィルターネックにじょうごを慎重に差し込みます。



6. 車両に給油します。



7. 完了したら、じょうごを取り外して清掃し、サポート上に戻します。
8. 燃料キャップを所定位置にねじ込みます。
9. サービスカバーを閉じてロックします。
10. 燃料フィラードアをしっかりと前方に押しつけて閉じます。

サスペンションの調整

サスペンションの調整と荷重は、車両のハンドリング性能や快適性に影響を与えます。

サスペンション調整の選択は、運転者の体重、好み、走行速度およびフィードの状態により変化します。

フロントサスペンション



警告

サスペンションの調整は、車両のハンドリング性能に影響を与える可能性があります。必ず時間をかけて、サスペンションの調整をした後の車両の挙動に慣れてください。



警告

左右のショックアブソーバーは、必ず同じ位置に設定する必要があります。絶対に一方だけを調整しないでください。調整が均等でないとステアリング制御機能や安定性が損なわれ、事故につながる可能性があります。

スプリングプリロード調整

Ryker 600およびRyker 900

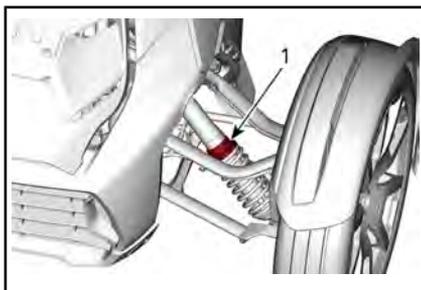
フロントショックアブソーバーに調整機能はありません。

Ryker 900ラリーエディション

乗り心地を固めにしたり粗い条件の場合は、スプリングを短くします。

乗り心地を柔らかめにしたりスムーズな条件の場合は、スプリングを長くします。

調整リングを回して調整します。



1. 調整リング

リアサスペンション

スプリングプリロード調整

下記の情報を参考にして車両のリアサスペンションを調整してください。

Ryker 600およびRyker 900

重量	カム位置
最大100 kg - ドライバーだけが乗った場合 (工場設定)	1
100 kg 未満 - ドライバーと荷物を含む	3
同乗者が乗る場合	5

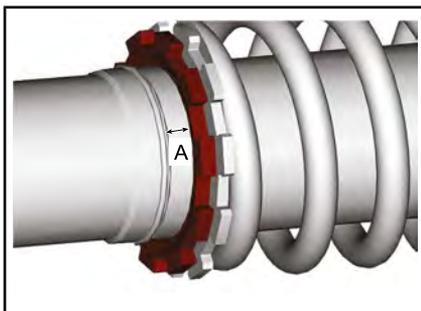
同乗者が頻繁に乗る場合は、同乗者を乗せるための専用デザインのリアスプリングの購入が適しているかどうかを判断するため、Can-Am On-Roadディーラーにご相談ください。



カム位置

Ryker 900ラリーエディション

重量	調整リングの距離 (A)
ドライバーと荷物を載せたとき (工場設定)	6 mm
時々同乗者が乗る場合	11 mm
頻繁にまたは常に同乗者が乗る場合	16 mm



圧縮減衰の調整

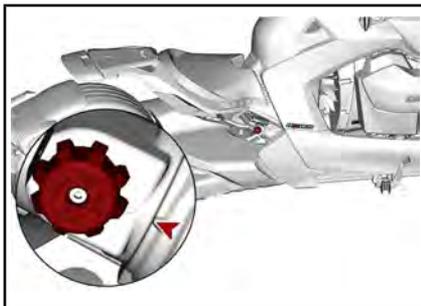
Ryker 900ラリーエディション

高速圧縮減衰機能は、高サスペンション速度（速い圧縮ストローク、ほとんどは高速で乗車しているとき）に対するショックアブソーバーの応答の仕方を制御します。

リザーバー上にある調整ノブを回して調整します。

重量	ノブ位置*	
	スムーズな路面	粗い路面
ドライバーだけが乗る場合 (工場設定)	1	2
同乗者が乗る場合	2	4

*個人の好みに合わせて±1クリックさせてください



安全にご使用いただくために

他の車両との違いについて

このセクションは、この車両の特徴や動作特性をよく理解していただくためのものです。

安定性

この3輪トライクの「Y」構造は、バイクよりも優れた低速安定性をもたらします。

しかし、自動車などの車輪が4つある車両ほどは安定していません。電気車両安定システム (VSS) などの駆動支援技術は操作中の安定性を保つ補助をしますが、極端な運転 (高速度で急ターンなど)、車両への過積載、または凹凸のある路面や物に当たることが原因で車両がコントロールを失い、転倒したり横揺れする可能性があります。さらに、急なターン、加速、ブレーキまたはインパクトにより、運転手または同乗者が転げ落ちてしまう恐れがあります。

道路状態に対する反応

この車両の路上挙動は、道路で見られる他の車両とは異なる場合があります。下記の推奨事項に従ってください。

- オフロード、氷または雪の中で走行しないでください。
- 水たまりや水が流れている場所での運転は避けてください。車両は車より簡単にハイドロプレーンします。水たまりがある道路で運転しなければならぬ場合は、減速してください。
- 砂利、泥および砂で覆われた道路では速度を落としてください。
- 温度が 5°C 未満のときに運転すると接地性が低下します。

詳細な説明は、道路上の注意事項を参照してください。

走行モード

ECOモード

ECO (燃料節約モード) の設定は、最適なクルーズ設定を保つためにスロットルの応答性を制限してスロットル開度を最適にすることで、燃料消費を削減します。

スポーツモード

スポーツモードが有効である場合、VSS は後輪の回転を顕著に増加させ、車両スリップ角を大きくします。その結果

カウンターステアが必要になります。さらに、スポーツモードが有効である場合、トラクションコントロールが低下します。つまり、低摩擦面でも後輪のスリップを制御できません。スポーツモードは、乾燥しているまたは濡れているアスファルト路面上で最も効果的です。このモードが有効である場合、ドライバーは、通常のドライビング時より慎重になる必要があります。

このモードは、VSSの故障が発生しておらず、ドライバーだけが乗車している (同乗者がいないとき) ときのみ、作動させることができます。

警告

スポーツモードを使用する前に、車両の基本的な操作法と車両の扱い方に習熟する必要があります。スポーツモードを使用する場合、必ず車両の周囲と車両の扱いに注意を払ってください。

ラリーモード

ラリーモードは、緩い砂利道やその他の未舗装の道路での走行特性を改善するために設計されたものです。VSSの介入も、緩い路面に適應します。このモードは、未舗装路を走行するときだけ使用してください。このモードが有効である場合、ドライバーは、通常のドライビング時より慎重になる必要があります。

このモードは、VSSの故障が発生しておらず、ドライバーだけが乗車している (同乗者がいないとき) ときのみ、作動させることができます。

警告

ラリーモードを使用する前に、車両の基本的な操作法とVSSを装備した車両の扱い方をよく理解しておく必要があります。ラリーモードを使用する場合、必ず車両の周囲と車両の扱いに注意してください。

ブレーキペダル

ペダル一つで三つの車輪すべてにブレーキをかけることができます。手動ブレーキがなく、前輪および後輪に別々にブレーキをかける方法はありません。

この車両では、ブレーキ操作と操舵を同時に行うことができます。バイクよりも優れており、急停車が可能です。後続車両は急停車や急な反応ができない場合があるため、後続車両に注意してください。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

車両には車両安定システム (VSS) の一環としてアンチロックブレーキシステム (ABS) が搭載されています。

このシステムは、ブレーキをロックしないようにすることで、非常ブレーキ時のステアリング制御機能を維持するのに役立ちます。

パーキング位置

パーキングポジションレバーは、作動させたときにドライブシャフトをロックする機械的な装置です。

注記 絶対にパーキングポジションレバーを動かして車両を減速したり停止したりしないでください。ドライブシャフトとギヤボックスが損傷します。

また、パーキングポジションレバーがロック位置になっているときは、選択されたギヤの表示部にPが表示されます。

ステアリング

ダイレクトステアリング

曲がるときは、ハンドルバーを曲がる方向に切ります。

バイクの運転経験者は、バイクと同じようにカウンターステアを切らないよう注意してください。バイクとは異なり、この3輪トライクは曲がっているときに傾きません。曲がり方について学び直す必要があります。習熟するまでさまざまな速度で曲がる練習を行ってください。

ターン時の遠心力

バイクとは異なり、この車両は曲がっているときに傾きません。曲がっているときは、遠心力によって体が車両の外側に引っ張られていく感じを受けます。

バランスを保つには、運転手および同乗者は両手でしっかりつかまり、両足

をフットレストにしっかり乗せておく必要があります。

急ターン時は、上体を前に傾けて、重心をカーブの内側に置こうとすると曲がりやすくなります。

幅

この車両は通常のモーターサークルよりも幅が広いので、下記のことを守ってください。

- 必ず前輪を走行車線内に維持してください。カーブを曲がるときや追い越し時は、前輪の位置に特に注意してください。
- レーンを共用したり複数のレーンを同時に使用したりしないこと。モーターサイクル同士でも、グループでの走行は単縦列で行ってください。
- 障害物を避けるためにより長く脱線する必要のあることを考慮してください。

注：前輪が障害物をクリアしても、後輪がその障害物をクリアするとは限りません。

リバース

リバース位置が選択されると、選択されたギヤの表示部にリバースアイコン[®]が表示されます。

この車両は、自動車のように後進することができます。しかし、次のような大きな違いがあります。

- 必要であれば、視認性を改善するために同乗者に一旦降りてもらいます。
- 前部は後部より幅広いことを忘れてください。後進の際に障害物に近づきすぎると、前輪が当たってしまうことがあります。
- 低速で後進してください。後進で長距離を走らないでください。
- 可能であれば、駐車スペースから後進しなくてもよいように駐車してください。

注意 後進時は必ず両足をフットペグに置いてください。後進中は絶対に足を地面に着けないでください。

運転免許証および国や地域の法律

この車両の運転に必要な運転免許書の要件は国や地域によって異なります。国や地域の法律によっては、普通自動車の運転免許証、自動二輪の運転免許証、または3輪車専用の許可証などが必要になることがあります。

車両を公道で運転する前に、必要な免許証について国や地域の関連機関にお問い合わせください。

駆動支援技術

車両スタビリティシステム (VSS)

この車両には車両安定システム (VSS) が搭載されています。

このシステムは車両の方向をコントロールし、特定の状況において転倒や横転の危険を減らします。

VSSIは下記のもので構成されています。

- **アンチロックブレーキングシステム (ABS)** : 非常ブレーキ時にブレーキをロックしないようにすることで、ステアリング制御機能を維持するのに役立ちます。
- **電子制動力配分コントロール (EBD)** システム: 3つの車輪のすべてのブレーキにおけるバランスを自動的に調整します。ABSによって、EBDは方向制御を補助し、その時点での牽引力によってブレーキ力を最大限に活かします。
- **トラクションコントロールシステム (TCS)** : 後輪のスリップ防止を補助します。TCSIは、ハンドルバーを切った場合 (直線から外れて走行する)、またはトラクションコントロールもしくは車両の安定性のためにエンジントルクを下げなければならぬ場合にのみ、後輪のスピンを制限します。スポーツモードまたはラリーモードが選択されているときは、より多くのスリップが発生します。
- **スタビリティコントロールシステム (SCS)** は後輪の動力を制限し、個々の車輪にブレーキをかけるように設計されており、車両のコントロールを失ったり、転倒を防ぎます。

制限

VSSIはすべての状況においてコントロールを維持することはできません。

駆動伝達が悪い道路面

道路面でのタイヤのグリップは最大制動効率を制限します。ABSおよびEBDを利用しても、トラクションの低い路面で運転したり、タイヤの推奨圧力を維持していなかったり、トレッドの状態が悪くなっていれば、停止距離は長くなります。

道路面でタイヤが駆動伝達を失ってしまうと、VSSを用いても車両のコントロールを失いかねません。

舗装路面の一部でも氷、雪または泥に覆われている場合、VSSを用いても車両のコントロールを維持できる駆動伝達はありません。雪、氷または泥がある道路では運転しないでください。

注: 5°C未満の温度では、車両のタイヤのグリップが低下し始めます。

他のオンロード車両と同様に、この車両は水上ではハイドロプレーンします (水に覆われた道路面で駆動伝達を失ってしまふ)。道路上の大きな水たまりや水の流れなど、水たまりに向かって早く走行しすぎると、車両は駆動伝達を失いスピニングアウトしてしまい、VSSを用いてもコントロールを維持することはできません。大きな水溜りや水流を避け、大雨の場合は速度を落すか路肩に停車してください。水溜りの上を走行する必要がある場合、水溜りに到達する前にできるだけ速度を避けまふ。

Ryker 600およびRyker 900

泥、砂、砂利または水に覆われている舗装では駆動伝達が悪いため、速度を落します。この車両はオフロード用ではありません。車両は必ず適切な道路で使用してください。車両をその他の地面で使用しないでください。

Ryker 900ラリーエディション

このモデルは、転がりやすいさまざまな面で使用できるように特別に設計されたものです。トラクションの低い路面で使用できたとしても、この車両はオフロード車両ではありません。

滑りやすい路面を走行するときは、車両のシステムが必ずしも危険な走行条件を補うことができるとは限らないことに注意してください。常識な運転を心がけてください。

これらの条件で走行するときは、必ずラリーモードを選択してください。4.5インチデジタルディスプレイのセクションの設定を参照してください。

タイヤ

車両のVSSIは、特定のサイズ、材料およびトレッドパターンのタイヤに対して最適な性能を発揮するために較正されています。BRPによって認定されていないタイヤと交換してしまうと、VSSの効果が少なくなってしまうます。

認定Can-Am On-Roadディーラーのみで販売されているBRPの推奨タイヤだけを使用してください。

特に緩いまたは濡れた表面では、駆動伝達を維持するために適切なタイヤの空気圧およびトレッドの管理が重要です。タイヤ圧が低すぎるとハイドロプレーンや過度のタイヤ熱の蓄積が起こることがあり、タイヤ圧が高すぎるとVSSの効果が減少してしまいます。

急ターン

VSSはステアリング入力を制御または制限しません。急ターンを制御することはできません。ハンドルを大きく、急速に回すと車両がコントロールを失い、スピン、転倒または転がってしまう可能性があります。

スピードの出しすぎ

VSSは、SCSがカーブを曲がる時に介入する場合を除き、車両速度を制御することはありません。VSSには、速すぎる速度でカーブに入ることを防止する機能はありません。特定の状況において走行速度が速すぎると、VSSを用いてもコントロールを失うことがあります。

過積載

絶対に規定値を超えて積載しないでください。

Ryker 600およびRyker 900

重量制限	
車両積載重量制限 (ドライバー、同乗者、荷物および追加されたアクセサリを含む)	204 kg
グローブボックスコンパートメント	2 kg
* 認められた同乗者用シートキットを取り付けずに同乗者を乗せることはできません。	

Ryker 900ラリーエディション

重量制限	
車両積載重量制限 (ドライバー、同乗者、荷物および追加されたアクセサリを含む)	199 kg

重量制限	
グローブボックスコンパートメント	2 kg
* 認められた同乗者用シートキットを取り付けずに同乗者を乗せることはできません。	

道路上のリスクの把握

この3輪トライクを運転する前に、安全講習ビデオを見て、安全カードと製品上のすべての警告ラベルをお読みください。

衝突による負傷や死亡事故のリスクを考慮し、こうしたリスクを軽減する方法を考え、リスクを選択取るうとしていないかどうかを確認してください。

リスクにはいくつかの要因があります。特定の要因はある程度コントロールすることは可能ですが、他の車両の運転の仕方などの要因は自分の力ではどうすることもできません。

以下はリスクに影響を及ぼすいくつかの要因の一覧です。

車両の種類

車両には様々な種類があり、大きさ、視認性、操縦性、および保護機能が異なります。

この車両は小型で操作しやすいものです。操縦性により、交通事故が避けやすくなります。しかし、小型車両は他のドライバーからは見づらく、他のドライバーから衝突される可能性が増加します。ある状況では、Rykerはバイクよりも衝突に巻き込まれる可能性が低くなっています。例えば、低速度の走行中に転倒する可能性はより低くなっています。しかし、他の状況においては、衝突する可能性が高くなります。例えば、車両の幅が広いため、バイクとは異なり幅の狭い道を通ることはできません。

乗用車やトラックでは、車両の構造によって衝突事故やその他の道路上の危険から身が守られます。さらに、同乗者はシートベルトを着用することでさらに身を守ることができます。この車両は乗用車の運転よりもリスクが高く、負傷するリスクはバイクを運転するときのリスクと同じであることを念頭に置いてください。

バイクの走行と同じく、ヘルメットや保護具を着用することで負傷するリスクを減らすことができます。

ドライバーの技術および判断力

各ドライバーは道路上のリスクに対応するように気を配ることが重要です。良い技術を取得したドライバーは車両をより効率よくコントロールすることができます。この車両を運転するとき

は、バイク、乗用車、ATV、スノーモビルなどの車両の運転経験に頼らないでください。この車両の特殊性について理解してください。このオペレーターズガイドを読み、安全講習ビデオを以下のサイトでご覧ください：

<https://can-am-brp.com/spyder/owners/safety/safety-information.html>

可能であればトレーニングコースを受講してください。コントロールに慣れ、実践練習を正確にこなせるようになってから実際の道路で運転してください。



公共の場で運転し始めたばかりのドライバーは、より簡単な道路状況（交通量が少ない、低速度、好天、同乗者が乗っていない状態）に始めは挑戦し、技術が磨かれていく毎に徐々により難しいチャレンジに挑戦してください。自分の運転レベルでは難しすぎる状態、または乗り越えられないようなリスクがある状態を避けるように先読みして運転してください。

熟練したドライバーでさえ衝突することはあります。例えば、極端な操縦や技を披露したりすると衝突のリスクが上がります。賢いドライバーは安全性を高めてリスクを最小限に抑えるために適切な判断を下します。道路上の注意事項に記載の安全運転に関する記述を参照してください。

ライダーの状態

ドライバーは酔っていない、警戒態勢であり、体が運転できる状態である必要があります。薬物やアルコールを摂取した場合は、絶対にこの車両を使用しないでください。酔っている、疲れている、または正常に機能できない場合、衝突のリスクが高まります。

薬物、疲労、投薬、体調不良、眠気および感情的になることはすべて安全運転の阻害要因です。バイクの運転と同じく、この車両の運転は簡単ではありません。乗用車を操縦するよりも、体調や精神の状態が重要になります。一

一番安全な心構えは、集中力を保ち、完全に酔いがさめた状態でしか絶対に運転しないことです。血中アルコール濃度が法定上限を超えなくても、アルコール摂取により判断力と運転力が低下します。

車両を運転するには、すべてのコントロールが操作でき、ハンドルを完全に切ったり、乗り降りしたり、周囲を注意深く監視できる体調であることが必要です。

同乗者も高い集中力をもち、酔いが完全に醒め、姿勢を維持し、カーブ、でこぼこの道路、加速および停止の際にしっかりと掴まったり対応できる体調であることが必要です。

車両の状態

車両をよい状態に保ってください。

使用前の点検および定期的メンテナンスを行ってください。車両を始動した時に多機能ゲージクラスターに表示されるメッセージに注目し、運転する前に問題に対処してください。

多機能ゲージを使用する際は常に最大の注意を払ってください。走行中にディスプレイを長く見つめることは衝突の危険性をかなり高めます。

道路状況および天候

渋滞、視認性が悪い、または駆動伝達の悪い道路面ではリスクが高まります。ご自身の運転レベル、および挑戦したいリスク程度に見合った経路をお選びください。

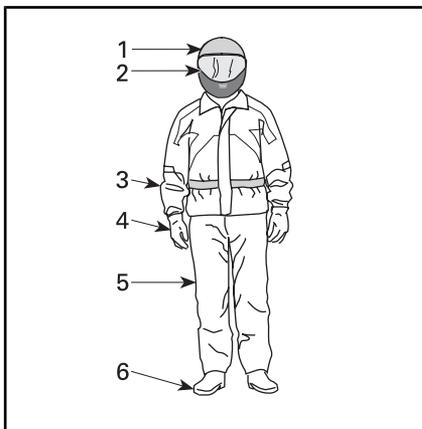
走行時の衣類・装備類

この車両を運転するときには、バイクと同じ保護具が必要になります。低速度ではモーターサイクルより安定感のあるこの車両でも、車両から転がり落ちてしまう場合があります。

このセクションの内容は、Motorcycle Safety Foundation (MSF) によって提供されているバイク運転者のための手引き書に基づいています。

衝突の際にオートバイに乗るためのふさわしい服装をしていると怪我を防いだり、または軽減することができます。さらに状況に合った服装をしていると快適になり、気象要素から身が守られます。

ライダーおよび同乗者に推奨される基本装備には、ブーツ、長いパンツ、ジャケット、およびグローブが含まれ、何よりも適切に目を保護する適切なヘルメットが推奨されます。



走行時の衣類・装備類

1. 使用が認められたヘルメット
2. 保護めがねおよび顔用保護具
3. 長袖のジャケット
4. グローブ
5. 長いパンツ
6. ブーツ

ドライバーおよび同乗者ともに、適切な保護具を着用することで衝突時の負傷の程度を軽減することができます。

ヘルメット

ヘルメットは頭および脳をけがから守ります。ヘルメットはさらに同乗者の顔をドライバーのヘルメットの後部への衝撃から守ります。最高のヘルメットを使ってもけがを100%防止できるわけではありませんが、統計によると、ヘルメットの使用は脳損傷のリスクを大幅に減少します。そのため、走行中は必ず安全運転を心がけて、ヘルメットを着用してください。

ヘルメットの選び方

使用されるヘルメットはお住まいの州、行政区または国の標準を満たす必要があります。

顔を完全に覆ったヘルメットは顔と頭全体を守るため、衝撃に対する最大の保護を提供します。さらに異物、石、虫などから身を守ってくれます。

スリークォーター型ヘルメットまたはオープンフェイスヘルメットもかなりの保護力があります。同じ基本的な材料から製造されていますが、顔を完全に覆ったヘルメットの顔および顎の保護は損なわれます。オープンフェイスヘルメットを着用する場合、取り付け可能なフェイスシールドまたはゴーグルの使用を推奨します。

注：普通の眼鏡またはサングラスは、モーターサイクル運転者には十分な目の保護具ではありません。それらは、割れたり外れたりするため、目を風や空気中の異物から保護しません。

色付きのフェイスシールド、ゴーグルまたは眼鏡は昼間中しか使用しないでください。夜や照明が十分ではない場所で使用しないでください。色を見分ける能力が損なわれる場合は、使用しないでください。

走行時のその他の衣類・装備類

靴

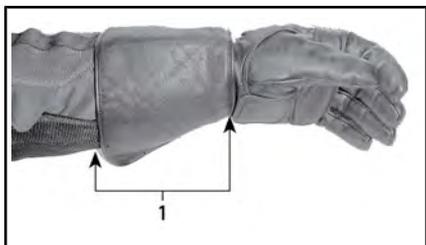
必ずつま先が保護された靴を履いてください。上部な丈の長いブーツは道路から舞い上がる石や熱いエキゾーストパイプによる火傷などの運転中の様々な危険から身を守ってくれます。

ギヤシフトレバー、ブレーキペダルまたはその他の部品に絡まってしまいう長

い靴紐は避けてください。ゴム製の靴底およびローヒールの靴は足をフットレストに固定するのに適しています。

グローブ

頑丈なグローブは手を風、太陽、熱、寒さおよび飛んでくる異物から守ります。手にぴったり合うグローブはハンドルのグリップ感を向上させ、手を疲れにくくさせます。ハードプロテクションなモーターサイクル用グローブは転倒の際に手を保護します。モーターサイクル用グローブの外部の縫い目は手への刺激を抑え、曲がった形状はハンドグリップでの自然なグリップを実現します。グローブが分厚すぎる場合、コントロールしづらくなります。ガントレットは冷たい空気が袖に浸入するのを防ぎ、手首を保護します。



1. グローブ用ガントレット

ジャケット、パンツおよびライディングスーツ

ジャケット、長いパンツまたはカバールールのライディングスーツを着用してください。防風、防水、保温などの機能を備えた保護具は快適さを提供し、疎ましい環境からの影響を低減します。衝突事故の場合、頑丈な素材でできた高質の保護具は損傷を防いだり、軽減します。いくつかのギャには、衝突における損傷のリスクをさらに軽減させるパディングやハードアーマーが仕込まれています。パンツの着用も熱い部品による火傷から身を守ります。

一般にモーターサイクル用の保護具は最適なフィットと保護の組合せを提供します。これらの衣服は運転中の座った姿勢に合ったデザインがされています。袖などの丈が長く、肩の部分の幅がより広くなっています。ライディングスーツはワンピースまたはツーピースのものを選ぶことができます。

革は防風性など耐久性が強く、傷害に対して保護効果を発揮するため、よい選択肢です。合成繊維のその他の耐摩耗性保護具もよい選択肢です。動く部品に絡まってしまいかねないスカーフやゆったりとした、長い衣服は着用しないでください。

フラップやファスナーは風をシャットアウトします。チャック式のジャケットはボタンやスナップ付きのジャケットより防風性が強くなります。ジャケットのジッパーを覆うフラップは防風性を更に強めます。袖口およびウエスト部分がぴったり合うジャケットは、風の浸入を防ぐために推奨されます。より大きい、緩い襟は走行中にはためため、肌を刺激したり目障りになる可能性があります。

涼しい天候では、低体温にならないように気をつけてください。低体温では、体の温度が低くなりすぎると集中力の低下、体の遅い反応、そしてスムーズで適格な筋肉の動きの損失を招きかねません。涼しい天候では、防風ジャケットおよび絶縁的衣服などの適切な保護具が不可欠です。適度な温度でも、走行中に発生する風によってとても寒くなります。

涼しい天候に適切な保護具は停止中だと暑く感じるはずですが、後で脱げるように重ね着してください。防風のアウターを保護具の上に重ね着することで冷たい空気が皮膚に届くのを防ぐことができます。

装備はライダーをより目立たせる効果もあります。明るい色を着るのは賢い選択です。薄暗いジャケットの場合、安価な反射ベストを上から着ることも可能です。常に余分な反射テープの付いた衣服を着るのは良い事故予防策です。

雨具

雨天時に運転する必要がある場合、レインスーツまたは防水ライディングスーツの使用を推奨します。長時間の走行では、雨具を持参するよう推奨します。雨から守られたライダーは、濡れて寒いドライバーより心地よく、より集中して運転することができます。

ワンピースやツーピースから選ぶことができ、特にモーターサイクル用の衣服が最適です。目につきやすいオレンジ色や黄色は良い選択肢です。ウエスト部分、パンツおよび丈がゴム製である物を探してください。丈の高い襟に

ジッパーが付いていて幅広いフラップがその部分を覆い隠すジャケットが最適です。レインスーツをお選びになる場合、防水グローブおよびフットウェアも考慮してください。

雨天の場合、運転しないことが最良の選択肢です。雨天の際に運転する場合、道路上に水が溜まり始めた時は停車する必要があることがあります。

聴覚保護具

走行中に長い間、風およびモーター音に晒されていると永久的な難聴を引き起こす可能性があります。耳栓など、正しく着用された聴覚保護具は難聴の防止に役立ちます。聴覚保護具を使用する場合は、使用する前に地域の法令をお確かめください。

必要とされる運転技術および実践演習

路上でこの車両を運転する前に、運転技術を高め、路上でのリスク管理について計画を立てておく必要があります。

バイクやその他の自動車の運転経験がある場合は、他の車両と比べてこの車両の操作性やパフォーマンスがどのように異なるのかについて特に注目してください。

以下は車両の基本操作を学ぶための実践演習です。次の実践演習に進む前に各練習を上手にこなせるまで行ってください。

このセクションには次の練習が含まれています。

1. エンジンの回転数を上げたり、エンジンストップウォッチの使用
2. 始動、停止および基本的な取り扱い
3. 作動中のエンジンストップ
4. 基本ターン
5. 急停止
6. スラローム
7. 急カーブ
8. リバースでの運転。

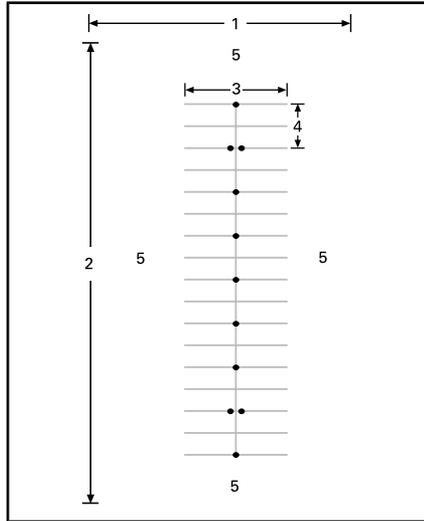
練習場の選択

これらの練習は、交通がない、長さ76 m - 30 m 以上の舗装面で行ってください。障害物（電柱、カーブなど）がない、閉鎖されている地面にマーキングがされている駐車場は練習に最適です。駐車されていた車によって残されたオイルに注意してください学校、教会、コミュニティセンターやショッピングセンターなど、営業時間外の駐車場を探してください。私有地の不法侵入は避けてください。

適切な場所を見つけた後、その土地の所有者から使用許可を得てください。電柱や安全地帯などの障害物がある場合、以下の図に示されている道筋が障害物によって干渉されないように注意してください。

練習を設定する際、駐車場レイアウトを把握してから始めてください。3 m の幅を持つ駐車場スペースがレイアウトに示されていますが、スペースの大きさは場合に応じて異なることがあります。選定した駐車場に線が引かれていない場合、または図の寸法よりはるかに大きいまたは小さい駐車場である場合は、以下の寸法を参照してください。巻き尺、チョーク、または水や砂

が含まれている容器またはパイロンなどを使ってマーキングしてください。



通常の駐車場

1. 30 m 以上
2. 75 m 以上
3. 12 m
4. 6 m
5. 空地

閉鎖された場所でも、万が一、他の車が入ってこないか注意してください。練習を行う前に前方、左右および後方を確認してください。また、子供や動物物に注意してください。

運転の準備

車両のすべての操縦系統の位置および操作方法を把握してください。車両のメンテナンスセクションを参照してください。

ドライバーのニーズに合わせてハンドルバー、フットペグ、ブレーキペダルを調整します。機器のセクションの操作用コンポーネントの調整を参照してください。

走行前点検を行ってください。走行前の点検セクションを参照してください。

エンジンを始動および停止させるには、基本手順のエンジンの始動および停止に記載されている指示に必ず従ってください。

運転の姿勢

よい姿勢を取るとよりスムーズに運転ができます。操縦システムをスムーズに操作するには、両手と両足を必ず適切に配置してください。通常、手首は腕に対して真直ぐにします（これにより、お望みのスロットルの位置をより簡単に適用できます）。腕はリラックスして曲がった状態であるべきです。姿勢を伸ばし、頭と目を上に向けます。両足を操縦システムの近くのペグに配置します。

運転の適切な姿勢を取っていない場合、近距離でも車両を運転しないでください。



運転の姿勢

練習の実施

1) エンジンのふかし、エンジンストップスイッチの使用について

練習の目的

- ねじれスロットルの操作に慣れること。
- エンジンストップスイッチの使用に慣れること。

指示

- 右足をブレーキペダル上に載せ、パーキングポジションレバーがロックされている状態から始めます。
- エンジンストップスイッチを使って車両のすべての電源を止めます。手をハンドグリップに乗せたまま右手の親指でスイッチを押します。

練習のヒント

- エンジンストップスイッチを見ないまま押す練習をしましょう。

2) 始動、停止および基本的な取り扱い

練習の目的

- スロットルのコントロールおよび車両の動かし方を学ぶこと。
- 低速での減速およびブレーキに慣れること。

指示

これらの練習を行う際にコントロールを失っていると感じた場合、加速を止めるためにスロットルを閉じ、必要に応じてブレーキをかけて減速してください。さらにエンジンストップスイッチを使って電源を完全に切ることもできます。

2a) スロットルを開けた直前に放す指示

最初は、スロットルを少しの間使用し、放して惰行運転します。

- エンジンを始動し、パーキングポジションレバーブレーキを解除します。
- ブレーキペダルを踏んだ状態で、シフトレバーを押して前進位置が選択されていることを確認します。
- ブレーキを放します。
- 車両が少しずつ前進し始めるまでスロットルをゆっくり開けます。動き始めた直後、スロットルを話して惰行運転し、ブレーキを踏んで停車します。直線コースの終点にたどり着くまで繰り返します。
- 直線コースの終点でUターンするには、停車し、ハンドルを右に完全に切り、スロットルを多少開けて放して、惰行運転でターンします。完全にターンするにはスロットルを一回以上開ける必要がある場合があります。反対方向の直線コースに並んだ時に停止します。
- スロットルを開けて放すのに慣れるまで、この部分を練習し続けてください。

2b) スロットルを回しホールドし、12 m ごとに放して停車する
次はスロットルをもう少し長くホールドし、12 m ごとに（2個目のパイロンごとに、または4本目のラインごとに）停車します。

- この場合も、車両が少しずつ前進し始めるまでスロットルをゆっくり開けます。今回はこの時点までスロットルをホールドします。
- 停止地点が近づいてきたら、スロットルを放してブレーキをかけ停車します。
- 以前と同様に直線コースの終点でUターンしますが、今回はターン時にスロットルを放す必要はありません。ターンする際に安定したスロットルの位置を維持することに焦点を当ててください。反対方向の直線コースに並んだ時に停止します。

2c) スロットルをホールドし、放して終点で停車

次に、直線コース全体を走行し、終了地点でしか停止しないでください。スロットルは適度に開けておきます。

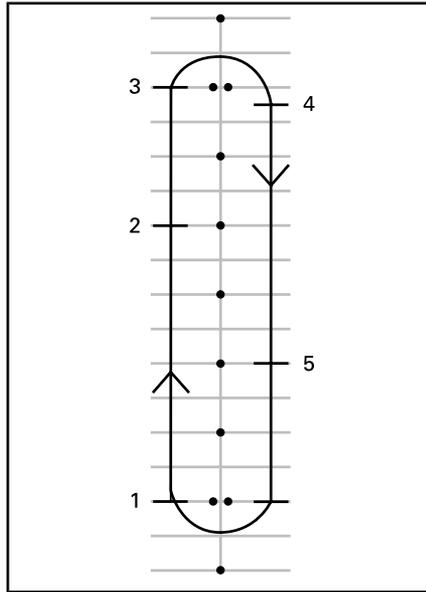
3) 作動中のエンジンストップ

練習の目的

- 走行中にエンジンストップスイッチを使うことを練習し、後に使う場合に車両がどのように反応するか知っておきましょう。

指示

- 8 km/h の速度で直線コースを途中まで走行したとき、エンジンストップスイッチをOFFにして、惰走して停止します。
- エンジンを再起動させ、この練習を繰り返します。加速して（最高20 km/h から、エンジンストップスイッチを使用してください。



1. 開始時点
2. エンジンストップスイッチを押す
3. 直線コースの終わりまで行って停止し、以前と同じようにUターンします
4. 停止
5. エンジンストップスイッチを押す

エンジンを再起動させ、次の練習に移ります。

4) 基本ターン

練習の目的

- 制御性のあるターンを行うことに慣れましょう。

指示

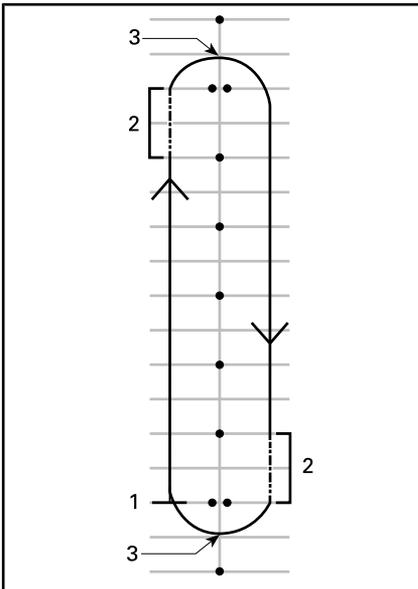
この練習は前述のものと同様ですが、今回はターン毎に停車するのではなく、低速度でターンをします。

- 直線を運転します。直線コースの終わりに幅広くターンするために、パイロンから少し離れて運転します。
- カーブに近づいたら、スロットルを放し、必要に応じてブレーキをかけて、速度を8 km/h 以下に落とします。
- 低速度を維持するためにスロットルをホールドします。
- カーブの方向に注目します。

- カーブの方向にハンドルを切り、ハンドグリップの内側を引っ張り、外側を押し出します。この間、スロットルを空けないように気をつけます。
- より簡単にハンドルを切るには、カーブおよび正面に対して体を寄せます。
- ターン後はハンドルを元通りにし、直線コースを進みます。



ターン時の姿勢



1. 開始時点
2. 半クラッチ
3. 頂点

注：バイク運転経験者への注意 - この車両でのターンやカーブの走行は、バ

イクの場合のそれとは異なります。車両はターン時に傾かないため、姿勢を保つにはターンの内側に重心を移行させる必要がある可能性があります。モーターサイクルよりもハンドルをより強く切る必要があります。ターン中の停車については、モーターサイクルよりも簡単です。

練習のヒント

- 一つの方向へのターンに慣れたら、今度は逆コースを走ります。左に曲がる時は、意図したよりもスロットルを開けないよう注意します。
- ターンの途中で停止して見て、カーブやターン時にブレーキをかける感覚を体験しましょう。

5) 急停止

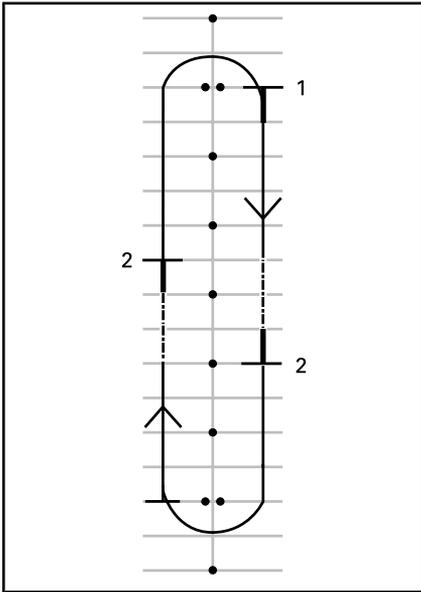
練習の目的

- 車両のブレーキ能力に慣れること。
- ブレーキの最大力を発揮させる方法を学ぶこと。

指示

この練習は前述のものと同様ですが、今回はブレーキをより強く踏み、最終的にはできるだけ強くブレーキを踏める段階に達するまで練習します。アンチロックブレーキシステム (ABS) は最大制動力がかかっている場合に車輪がロックされるのを防ぎ、ステアリングコントロールを維持するのに役立ちます。素早く停車するには、必ずスロットルを完全に放してください。スロットルを開けたまま同時にブレーキをかけた場合、停止距離は長くなります。

- 直線コースの一方の端からスタートし、8 km/h まで加速します。直線コースを走行している途中でスロットルを完全に放し、ブレーキを素早くかけます。ABSによって車輪ロックが防止されるため、絶対にポンピングブレーキを行わないでください。
- 頭と目を上に向け、ハンドルを真直ぐの状態に維持し、完全に停車するまでブレーキを放さないでください。
- これを繰り返します。次はより早く走行し、ブレーキをより強く踏みます。



1. 開始時点
2. 停止

練習のヒント

- ブレーキを強く踏む前にミラーを確認する練習をしましょう。

6) スラローム

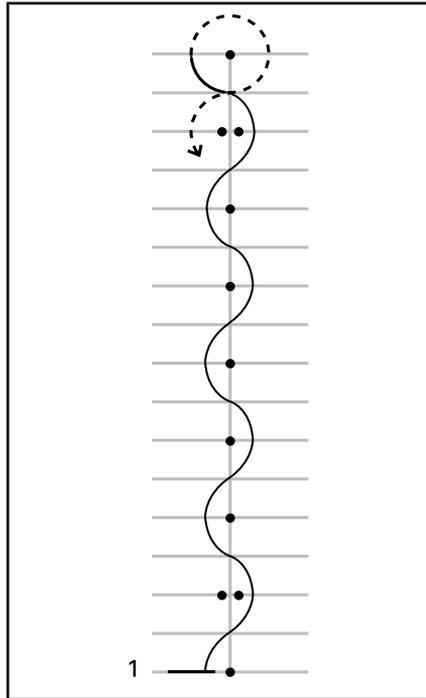
練習の目的

- 車両の扱いおよび姿勢に関する体験をすること。

指示

6 m スラローム

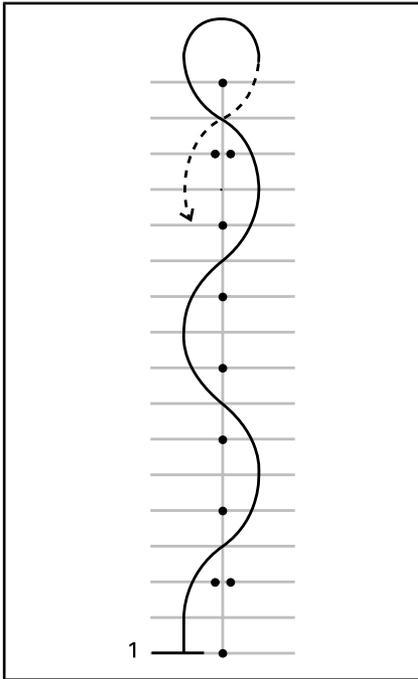
1. 他のすべての駐車位置の各パイロンまたは交差点の間をスラロームします。方向変更に慣れるまで、最初は低速で練習します。
2. ターンをする度に体をターンの方向に傾け、グリップを引っ張ったり押ししたりしながら進みたい方向にハンドルを切ります。



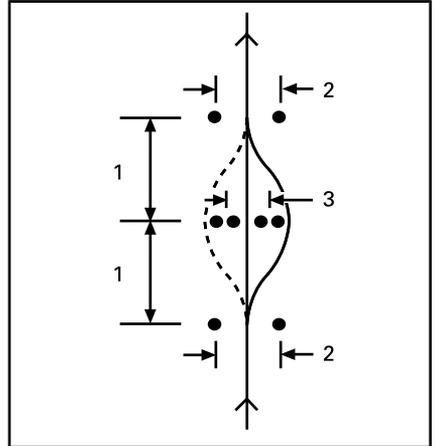
1. 開始時点

12 m スラローム

慣れてきたら、2個目のパイロンまたは4つ目のパーキングスペースを通過して12 m のスラロームに挑戦してください。



- 二重パイロンの2つ目のセットからコースを出ます。
- この練習は数回回り、両方向での急ターンに挑戦してください。



1. 6 m
2. 3 m
3. 2.5 m

練習のヒント

- 初速を徐々に上げてよいでしょう（ただし13 km/h ~ 19 km/h 以下の速度に抑え、いくつかのバリエーションを試します）。例えば、コース直前の速度を調整したり、急ターン時にブレーキをかけたりなど。
- 助手に手伝ってもらうことで、どの方向にターンするか、またはどこで停車させるかなど指示してもらい、よりダイナミックな練習となります。助手には安全な距離を取ってもらいます（練習場より多少離れた位置など）。パイロンの第一セットの直前で助手はどの方向にターンするか、または停車すべきかなど、手信号で指示してもらいます。
- 急ターンをする前にミラーや死角を確認する練習をしましょう。

1. 開始時点

練習のヒント

- 16 km/h - 19 km/h のスラロームに慣れてきたら、徐々に速度を高めるのもよいでしょう。ただし、終了地点でUターンするときは速度を落としてください。

7) 急ターン

練習の目的

- 極端な操作での車両の扱いに慣れること。
- ブレーキおよび急ターンの様々なバリエーションを試すこと。

指示

この練習を行うには、コースを再配置する必要があります。以下の図に示されている通りにパイロンを配置します。この練習には、固定された、または固い、重い物を使用しないでください。

- 約 8 km/h の速度で2個のパイロン間を走行し、最後までその速度を維持します。
- 一連のパイロンの周りを走行してみます。

8) リバースでの運転

練習の目的

- リバースでの旋回半径および車両の取り扱いに慣れること。

指示

- リバースにシフトします。基本手順のリバースでの運転を参照。
- 背後に障害物がないか確認します。後退中も背後を見続けます。後退させながら前輪で物に当たらないように注意します。通常の動作と同様に、スロットルを放してブレーキをかけて減速し、停車します。
- 数フィートずつ後退し、間に停止させます。
- 低速で後進してください。後進で長距離を走らないでください。
- 後退に慣れたら、以下の図のようにパーキングスペースに後退させてください。

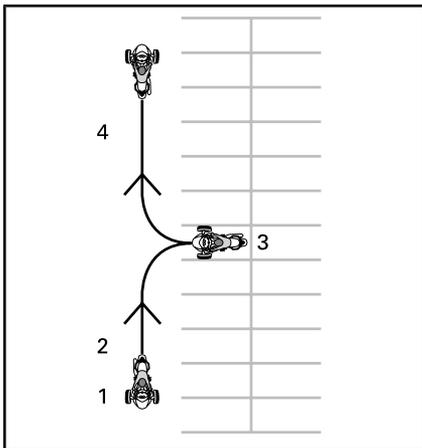
高度運転技術の取得

基本運転技術をマスターした後は、より高度な技術の取得を開始することができます。まず、次のセクションに記載の道路上の注意事項を確認してください。次に、リスクが比較的に低い場所を見つけて練習を開始します。

以下のようなよりリスクが低い条件で運転し始めます。

- 短距離
- 好天
- 交通が少ない場所
- 昼間
- 低速度
- 同乗者なし。

上達してきたら徐々によりリスクの高い状況で練習してください。



1. 開始時点
2. リバース
3. 停止
4. 前進

道路上の注意事項

このセクションは道路上のリスクを軽減するための方法について説明します。これらの多くの方法はバイクのものと似ています。

このセクションの内容は、Motorcycle Safety Foundation (MSF) によって提供されているバイク運転者のための手引き書に基づいています。しかし、3輪トライクの場合は方法が異なることがあるため、熟練したバイク運転経験者でもこのセクションをお読みください。

練習の下準備

練習に出かける前に必ず天候を確認します。いかなる天候に備えるために適切なギヤを持っています。

自分の技術に見合った経路および運転状況を選択します。

車両には容量20 Lの燃料タンクが装備されています。燃料低下インジケータライトが点滅し始めたら、燃料タンクの供給をできるだけ早く行ってください。特に人けの少ない場所では、ガソリンスタンドなどの場所を事前に確認します。

安全運転

モーターサイクルと同じく、安全運転は衝突事故を防ぎます。常警戒する必要があります。背後も含めて、周囲への注意を怠らないでください。必ず潜在的な危険性がないか確認し、先読みし、問題を回避するために必要な距離と時間を計算します。他の運転者が常に交通規則を守るだろうと決め付けないでください。

車間距離

最適な運転状況では、前の車両とは2秒間の車間距離を必ず取ってください。これは、道路上の固定物と比較して前の車両の位置に最低でも2秒後に通過することを意味します。

制動距離が長くなる状況、または視認性が悪い場合、より安全な対策を取るためにより長い車間距離を取ってください。例えば、滑りやすい路面、下丘、または車両の重量がより重たい場合は、制動距離がそれだけ長くなりますし、霧、カーブまたは夜間では視認性が制限されます。

前方を見渡す

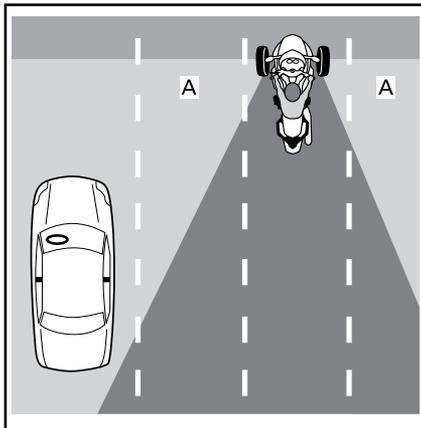
隣の車両と適切な車間距離を保つことに加えて、前方を見渡して通り道を事前に考慮しておきます。

最低でも4秒後の通り道を計算しておきます。道路上にある物体や他の車両など、自分の通り道に危険性がないか気を配ります。

予想した通り道で潜在的に危険な状況が起こる前にそれを見越すために、12秒先の距離も見通しておきます。例えば、他の車両が現れる可能性のある交差点や、歩行者が横断する可能性のある箇所などを識別します。もし危険な状況に遭遇した場合、瞬時に回避できる準備をしておきます。

背後および両側の確認

すべての方向から他の車両や危険が迫ってきます。周囲を常に見渡します。背後にながらあるか常にミラーを確認します。さらに死角を監視するために常にヘッドチェック（振り返って確認する）を行います。



A. ドライバーの死角

ブレーキをかける際は後続車両に注意してください。後続車両は、この車両のように素早く停止できない場合があります。

視線を動かす

周囲を把握するには、視線を一つの方向に集中してはいけません。常に視線を動かし、道路、道路標示、機器および他の車両に注意します。すべての方向において、近くと遠くを見ます。

トラブルを予想する

潜在的な危険性に気が付いた時は、回避方法を検討します。これには速度や車線での位置を調整したり、車線変更する必要がある場合があります。なにかが通り道に侵入してきた場合は、急ターンやブレーキなどの回避行動を瞬時に取る準備をしておきます。問題に対応できるように、十分な距離をとり、十分に反応できる時間を常に確保しておきます。

視認性を高める

ドライバーにはモーターサイクルなど小さい車両をあまり注目しない性質があります。そのため、他のドライバーに気付かれやすくすることも視認性を高める方法の1つです。

他のドライバーに気付かれやすくする方法

照明およびリフレクター

車両のヘッドライト、走行用ライトおよびテールライトが適切に作動することを確認してください。使用されている車両のフェンダー、両側および後部にはリフレクターが付いています。すべてのリフレクターが清浄であり、壊れていたり欠損していないことを確認します。

昼と夜の両方で使用可能なときはハイビームを使います。夜に他のドライバーの目をくらますのを避けるために、または霧で光が反射しすぎている場合にロービームを使います。

方向指示灯

方向指示灯を使って他のドライバーに自らの意図を知らせます。車両には自動キャンセル式の方向指示灯が付いていますが、短いカーブではキャンセルしないことがあります。操作完了後に方向指示灯がオフになっていることを確認します。操作完了後に作動していると他のドライバーを混乱させます。

できれば、減速する前や交差点にたどり着く前にブレーキライトを点滅させ、後方のドライバーに警告します。

さらにクラクションの使用を試みて、他のドライバーに自らの居場所を伝えることもできます。

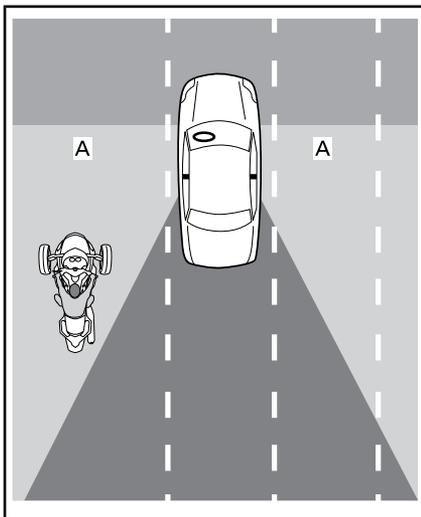
他のドライバーがあなたのライト、方向指示灯またはクラクションの音に気づいたと決め付けしないでください。

オーストラリアおよびロシアモデル

必要に応じてハザード警告灯を使用して、他のドライバーから見えやすくします。

死角

他の車両の死角に運転するのは避けましょう。前方に走っているドライバーがミラーからあなたを見えやすいように自分の位置を設定します。トラックまたはバスを追跡している状況などの特定の場合は、前方の車両との間の車間距離を多めにとりましょう。



A. 他の車両の死角

時刻と天気

夜、夜明けや夕暮れなどの照明が薄い場合、および雨または霧などの悪い天候の場合は、他のドライバーから見えにくい場合があります。夜明け、夕暮れまたは非常に明るい日光からのまぶしい光によって、他のドライバーから見えにくくなります。

衣服

明るい色または蛍光衣類は視認性を高めます。

他のドライバーから見えていても気をつけましょう

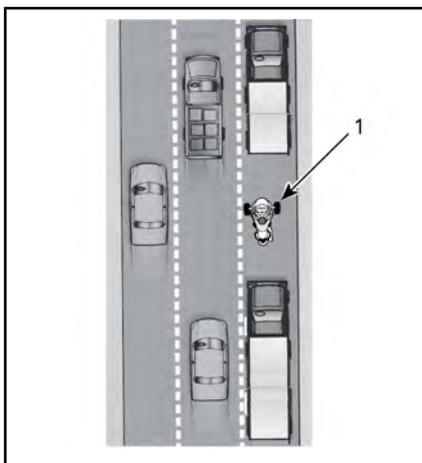
他のドライバーがあなたの存在に気づいていても、衝突のリスクを作るような運転の仕方をする可能性があります。防衛運転をし、他のドライバーが

安全運転をすると決め付けないことです。

車線の位置

通常は、車両を車線の中央に位置付けます。このポジションは前輪を車線内に留めます。これは他の車線にいる車両との車間距離をとり、大型車両からの風の影響を低減し、車線変更した車両から衝突されるリスクも軽減します。このポジションは車線の中央の滑りやすい箇所から前輪を遠ざけ、ブレーキおよびステアリング能力を維持します。自動車の運転に慣れている場合、この車両では車両の中心に座っており、見え方が異なっていることを忘れないでください。

危険を避けるために車線の左側または右側に移動したり、他の車両やカーブから距離を置きます。さらにより良い眺めを得るため、または他のドライバーの視線を得るために車線の左側または右側に移動することでもできます。車両の中央にある席と幅が原因で、車線の端にいても周りの交通が見えづらな場合があります。幅が広い、または背が高い車に対してより多く車間距離をとる必要があることがあります。周りの交通を把握するために車輪を車線の外にはみ出すのは避けましょう。前方のドライバーから見える車間距離をとるには、あなたが相手のミラーを見える距離でなければなりません。大型車両によって追跡されている場合は、車線の左側にいないと通行車両があなたを識別できない可能性があります。



1. 車線の左側にある車両

この車両はバイクよりも幅が広いいため、車線内では限られた位置にしか動かせません。車線の左または右側で走行する場合は、前輪が車線内に維持されていることを確認してください。

多車線の道路では、車の流れにのったあなたの速度に見合った車線を選び、視認性を重視し、回避行動用（他の車線または路肩に急ターン）の通り道を考えておきます。

一般的な運転状況

交差点

路地や横道をつなげる小さい交差点など、交差点には横断歩道があるため、更なるリスクがあります。常に全方向の交通に注意してください。背後、前方および左右を監視します。

交差点で停止する場合は、次の角を曲がる場合でも、車線の真ん中で停車します。これにより他のドライバーから見えやすくなり、あなたの周りを運転しようとする行為を妨げます。背後から迫る車両に気を付けてください。迫ってくる車両に対してブレーキライトを点滅させます。必要であれば、衝突を避けるための回避準備をしておきます。

車線変更および追い越し

この車両はバイクよりも幅が広いいため、他の車両を追い越すには車線の幅をより必要とすることを考慮してください。この車両は乗用車より見えにくいいため、十分余裕を持って方向指示灯を作動させ、ミラーおよび死角を確認することが特に重要です。車線変更後に方向指示灯をオフにするのを忘れないようにします。車線変更だけではハンドルが十分に切られず、方向指示灯が自動的にキャンセルされません。

2車線（スプリットレーン）の間車線の上を絶対に走行しないでください。車両の幅が広すぎます。

路肩に沿って他の車両を絶対に追い越そうとしないでください。車輪が一つでも道路からはみ出た場合、コントロールを失いかねません。

ターン

ターンの時は減速し、周りをよく見てきちんとステアリングを制御することを忘れないでください。

- **減速**：ターンする前に、必要に応じてスロットルを放したりブレーキをかけたりして速度を落します。維持できる範囲の速度でターンを開始します。

この車両は、バイクよりもターン時のブレーキ効率が優れています。しかし、ターンしたりカーブを曲がっているときにブレーキをかけるのではなく、その前に減速することが重要です。ブレーキとターンの両方には駆動伝達が必要です。ブレーキに駆動伝達を使えば使うほど、同時にターンするだけの駆動伝達が無くなります。

ターンやカーブの曲がり方が早すぎると、前輪の内側が舗装から浮き上がり、VSSがエンジンの出力を制御し始める音が聞こえる場合があります。VSSはコントロールの維持に役立ちますが、ターンが早すぎるとスピンしたり転がり落ちてしまう可能性があります。

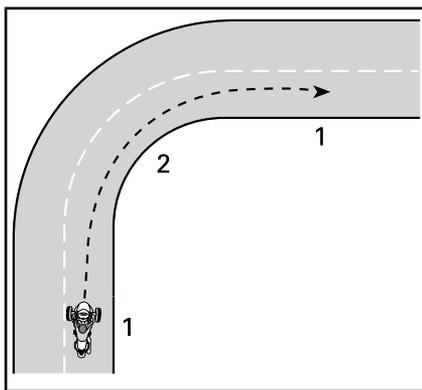
- **周りをよく見る**：ターンの全過程において周囲に注目し、視線を動かし続けます。ターン全体をできるだけ早く評価します-表面特性、ターンの切れ味および全体の交通状況こうすることで、速度および位置に対して決定を下す時間が確保できます。時には、ターンの方向に頭を傾けることで全体の把握がより可能となります。

- **ステアリング**：ハンドルを切ってターンの方向に車両を操縦します。この車両はバイクとは異なるため、カウンターステアができず、車両を傾けさせることはできません。ターンによる横力を経験するため、この間に姿勢を保つにはターンの内側に重心を移行させる必要がある可能性があります。モーターサイクルよりもハンドルをより強く切る必要があります。

カーブ

この車両は乗用車より幅が小さいため、カーブでの通り道を正すために車線内を左右に動き回ることでもできます。ただ、この車両はモーターサイクルより幅が大きいため、左右の動きは限られます。前輪が車線からはみ出ないことが重要です。

通常のカーブでは、アウト、イン、アウトの通り道がベストです。



通常のカーブの通り道

1. ショルダー
2. イン (内側)

坂

停車は、どのギヤに入っているかに関係なく動き出す可能性があります。車両が停車しているときはクラッチが常時解除されているため、トランスミッションだけで車両を所定位置に留めておくことはできません。傾斜地で停車しているときは、ブレーキペダルを踏み込んだままにします。傾斜地で始動するには、ブレーキペダルを踏んだ状態でスロットルを開きます。クラッチがつながったと感じたところでブレーキペダルを放してください。

夜間の運転

他のドライバーからの注目を引くためにライトや方向指示灯を使う他にも、夜間の視認性も考慮してください。適切な時にハイビームを使用します。ヘッドライトを切らないでください（そのような状態で高速で走行すると、停止距離が確認できなくなります）。他の車両のヘッドライトを利用して前方を見渡すこともできます。

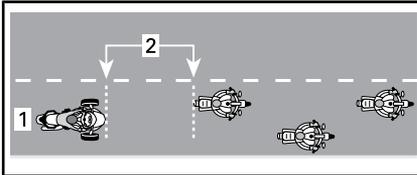
夜間には着色のバイザーまたはレンズを使用せず、バイザーに傷や汚れがないように特に気をつけます。

グループでの走行

グループでの走行は単縦列でのみ行ってください。モーターサイクルとも車線を絶対に共用しないこと。

モーターサイクルと走っている際は、前方のモーターサイクルと同じ車線の隅にいる場合でも、適切な車間距離を

とります。カーブでは、モーターサイクルの通り道を辿らないでください。モーターサイクルはカーブで車線の端により近づくことができます。それをこの車両で辿ってしまうと、前輪が車線から出てしまいます。モーターサイクルはこの車両よりも速くカーブを曲がるすることができます。モーターサイクルの速度に合わせないでください。



グループ走行のポジション

1. 車線の中央
2. 2秒後の距離

特にカーブが多い場合は、ライダーはモーターサイクル運転者よりも早く疲れる場合があります。モーターサイクルに追いつこうとして体力の限界を超えようとしないでください。疲れたら停車して休んでください。

道路状況および危険性

氷、雪および泥

凍結した道路、雪道、または泥の上では走らないでください。VSSを用いても、これらの滑りやすい表面ではコントロールを維持する駆動伝達がありません。この車両は、滑りやすい路面では自動車よりもスピンしやすく、制御不能になる場合があります。

砂利、土および砂

砂利、土または砂で覆われた道路では、余分に注意し、特にカーブでは速度を落とします。これらの表面は舗装道路のような駆動伝達がないため、VSSを用いてもコントロールを失ってしまいます。

湿潤路面および水溜り

通常は、舗装上に水溜りがない限り（水が流れているなど）、湿ったり濡れた舗装ではコントロールを維持できるだけの駆動伝達がありません。他の車両と同じように、この車両で道路上の水溜りの上を高速で通過するとハイドロプレーニング現象が発生しますが、他の乗用車やモーターサイクルと比べても、より低速でこの現象が発生

します。ハイドロプレーンはより深い水溜りの上で起こりやすいです。深さを確認するには、他の車両が通った時の水の動きに注意してください。

ハイドロプレーンが起きた場合は、一つ以上の車両が水上に浮き上がり、道路との接触を失います。これが後輪に起きた場合は、後輪が横にずれているように感じるかもしれません。ハイドロプレーンした車輪は車両をコントロールするために必要な駆動伝達を提供しません。コントロールを失ってスピンアウトしてしまい、VSSでもコントロールを維持することはできません。

大きな水溜りや水流を避け、大雨の場合は速度を落とすか路肩に停車してください。水溜りの上を走行する必要がある場合、水溜りに到達する前にできるだけ速度を避けます。

水の上を通った後は、ブレーキの動作を確認します。必要であればブレーキを数回かけ、摩擦によりブレーキパッドを乾燥させます。

適切にメンテナンスされたタイヤはハイドロプレーンのリスクを抑えます。必ず以下の推奨されるタイヤの空気圧を維持してください。

メンテナンス手順のセクションのタイヤ空気圧を参照してください。

注：左右のタイヤの圧力差が3.4 kPaを超えないようにしてください。

ハイドロプレーンのリスクを最小限に抑えるために、最後のトレッドウェアインジケーターが見える場合は、タイヤをすぐに交換してください。

雨が降り出した最初の数分間は油や汚れが水と結合するため、車線の中央は特に滑りやすくなります。雨水が多い場合は、摩耗した舗装に蓄積されることがあります。これらの駆動伝達が少ない箇所は避けます。できれば前輪を駆動伝達が一番良い箇所に留めておきます。

オフロードでの使用

オフロードではこの車両を使用しないでください。車両はオフロードの駆動伝達が少ない、どぼこの粗面には耐えられません。簡単に動けなくなったり、コントロールを失ったり、あるいは転倒してしまいます。さらに、特定の地域ではオフロードで使用することは違法である場合があります。

Ryker 900ラリーエディション

車両があらゆる道路に対応したとしても、この車両はオフロード車両ではありません。この車両は、押し固められた未舗装路（砂利道、土道、砂道）で運転できるように設計されています。走行特性を高めるためにラリーモードを作動させることができます。このモードは、未舗装路を走行するときだけ使用してください。

障害物、穴やでこぼこ面

できれば障害物、穴やでこぼこ面のの上を走らないでください。もし避けられない場合は、そこに到達するまえにできるだけ減速し、ブレーキを放しながら進みます。

より幅広い障害物やでこぼこ面に対しては、できればストレートにアプローチし、両方の前輪が同時に直面するようにします。両方の前輪が障害物、でこぼこ面や穴の上を走行する場合は、ライダーはペグの上に少し立ち上がり、足を使って衝撃を和らげるような姿勢をとります。車輪が障害物にぶつかるかもしれないことを想定して準備しておきます。

⚠️注意 車両の設計上、ある状況下ではかかとが地面に着く場合があります。障害物や穴、起伏している場所を通過するときは、かかとを上げるように考慮してください。

より幅が狭い障害物、でこぼこ面や穴に対しては、後輪で乗り上げる方がよいです。前輪で乗り上げる場合は、ハンドルをしっかりと握り、スロットルを誤って開けてしまわないようにし、必要であれば軌跡を調整する準備を整えておきます。

かなり大規模の障害物、でこぼこ面または穴に直面してしまった場合、衝撃によって車両が跳ね上がって乗り手に車両部分が当たってしまい、ライダーが車両から放り出されたり、コントロールを失ったり、スピンや転倒してしまう場合があります。

車両を回避するために完全に停止できない場合は、急ターンして回避してください。必要であれば急ターンとブレーキを同時に行うこともできます。

鹿などの大型動物が道路上にいる場合は、その箇所には到達する前に停車し、動物がいなくなるまで待ちます。

犬が追いかけてきた場合は、犬が近くにつれて減速し、犬と直面する直前に加速して回避することが推奨されます。

道路上での緊急事態

走行中に車両の異常や予期しない出来事が起こりえます。よくメンテされた車両は異常のリスクを軽減させますが、その緊急事態に備えておくことが推奨されます。

- オペレーターズガイドを必ず車両の中に入れておいてください。
- 道路の上で停車する場合は、次の注意事項に従ってください。
 - 道路に舗装された路肩がある場合は、高速から降りるシグナルを出し、交通速度に近い速度で車線からでて、完全に停車するまで減速します。
 - 路肩が舗装されていない場合は、方向指示灯を出して走行車線を離れる意図を示し、安全速度まで減速してから舗装路を離れ、車両を停止します。
 - 視認性を高めるため、方向指示灯は作動させたままにします。
 - ハザード警告灯を装備しているモデルでは、視認性を高めるためにハザード警告灯を作動させます。
- 携帯やその他の通信機器を持っている場合、長距離の旅にでる前に完全に充電させてください。
- 事故に巻き込まれた場合、BRPIは、運転を再開する前に車両を最寄りのCan-Am On-Roadディーラーまで移動させて（車両の移送を参照）、安全点検を依頼するよう強く推奨します。

タイヤの故障

タイヤが故障したり急にパンクした場合は、ハンドルをしっかりと握り、徐々に低速し、安全な場所に慎重に進み、停車します。急ブレーキをかけたり、シフトダウンや急なハンドルの扱いは避けてください。前輪が故障した場合、車両は故障したタイヤの方向に引っ張られる可能性が高いため、車両のコントロールを維持するにはハンドルをしっかりと握る必要があります。タイヤ修理の指示については、道路脇での修理のセクションを参照してください。

同乗者または積荷を乗せた運転

重量制限

ライダーおよび積荷の重量制限を超えないでください。

Ryker 600およびRyker 900

重量制限	
車両積載重量制限 (ドライバー、同乗者、荷物および追加されたアクセサリーを含む)	204 kg
グローブボックス コンパートメント	2 kg
* 認められた同乗者用シートキットを取り付けずに同乗者を乗せることはできません。	

Ryker 900ラリーエディション

重量制限	
車両積載重量制限 (ドライバー、同乗者、荷物および追加されたアクセサリーを含む)	199 kg
グローブボックス コンパートメント	2 kg
* 認められた同乗者用シートキットを取り付けずに同乗者を乗せることはできません。	

超過重量は：

- 加速、ブレーキおよびターンの効率を妨げます。
- VSSの効率を妨げます。
- 重すぎたり、重量が後部に集中している場合、反転のリスクが高まります。
- 地上高を減少させ、高さが低い障害物やでこぼこ面に直撃するリスクが高まります。
- タイヤの故障のリスクを高めます。

超過重量で運転する場合

同乗者や重い荷物を乗せることは、車両がより重くなってしまい、重量配分

が不均一になってしまうため、車両の動きが左右されてしまいます。

1. より素早く加速できなくなってしまう。他の車両を追い越す場合はより時間と車間距離を必要とします。
2. より素早く停止できなくなってしまう。前方車両との間の車間距離を最低でも3秒間まで引き伸ばします。理想的な運転状況でない場合は（視界不良、コンディションの悪い路面など）、より長い車間距離をとります。
3. よりシャープなターンや、高速でのターンを行うことはできなくなります。ターンの前は通常異常に低速し、急ターンを避けます。
4. 車両はより不安定になる場合があります。後部に片寄った重量配分（同乗者の乗せた場合など）で極端な操縦をした場合は、転倒や転がり落ちるリスクが高まります。

注：最大許容荷重を超えた状態で運転すると、VSSの効果が低下します。

同乗者を乗せた運転

この車両は、認められた同乗者用シートキットを取り付けたときに、ドライバーの後ろに同乗者を1人乗せることができるように設計されています。絶対に複数名の同乗者を乗せようとしな

 **警告**

認められた同乗者用シートキットが車両に取り付けられていない場合は、絶対に同乗者を乗せないでください。

同乗者を乗せるときは、両方にフットペグを完全に下ろしてください。

VSSが同乗者モードになっていることを示すために、クラスターゲージには同乗者アイコンが表示されます。

あらゆる場面で一人で走行し、車両を適切に操縦できるまで、同乗者を乗せないでください。

同乗者は酔いが完全に醒め、集中できる状態にあり、適切にフットレストやグリップを使い、バランスを保ち、極

端な操縦時にしっかりつかまり、ドライバーの気をそらさないことが必要です。

同乗者も適切な保護具を着用している必要があります。同乗者は特にヘルメットなど、ドライバーに推奨されるすべての保護具を着用する必要があります。フルフェイスヘルメットの使用を推奨します。これは、急停車時に、同乗者の顔がドライバーのヘルメットの後部に当たる恐れがあるためです。

同乗者が走行時の着座位置に座るまで、ブレーキをかけたままにします。

運転し始める前に同乗者に乗り方を教えます。同乗者に次のルールに従ってもらいます。

1. 適切な姿勢を保つこと。
 - アクセサリのバックレストがあったとしても、常に同乗者用グリップにつかまり、足を同乗者用のフットレストに置いてください。
 - 横方向の過度の力にドライバーが耐えられない場合があるため、同乗者はドライバーにつかまらないようにしてください。
 - 特定の操作に対して同乗者用グリップの握り方を変えてみると、効果的な場合があります。(ターンでは片手をグリップの正面に、もう一方の片手を反対側のグリップの裏面を握ったり、その他の状況においては両手をさらに前方または後方に位置付けるなど)

注記 同乗者用ハンドルは、絶対に車両を縛ったり吊り上げたり輸送したりするのに使用しないでください。

2. エキゾーストパイプと後輪に近づかないでください。
3. ターンの時にバランスを保つ時以外は、後ろに振り向いたり傾いたりしないでください。予期しない操作の時は、通常の姿勢をとっていない同乗者は転がり落ちてしまう確率がより高くなります。
4. 先方をしっかり把握し、今後の道路状況に対応します。遠心力に抵抗するために必要に応じてカーブの方向に体を傾けます。障害物、穴またはでこぼこ面の

上を走る場合は、肘をロックしないまま席から多少立ち上がりずります。

特に経験のない同乗者を乗せている場合、急な加速、ブレーキおよびターンは避けてください。予期しない急な操作は同乗者が転がり落ちてしまう要因となります。

荷物を乗せる場所

グローブボックスに小物を入れて運ぶことができます。車両にBRPの承認されたアクセサリが搭載されている場合を除いて、他の箇所に荷物を乗せないでください。

トレーラーの牽引

牽引用に設計されていないため、この車両ではいかなるものも牽引しないでください。

また、VSSが効果を発揮せず、操作不能になる恐れがあります。

自己テスト

以下の質問は、本ガイドで習った情報の復習です。これにはすべての情報は含まれません。車両および操作に関する一般的な理解を得ているか知ることができません。

質問ページの次のページの答えを参照してください。

質問

1. 急停止する場合は、ブレーキとパーキングブレーキを作動させる。

○ x

2. 走行前の点検は一週間に一回は行うべきだ。

○ x

3. VSSはどの天候でも車両を使用できるようにする。

○ x

4. タイヤを交換する場合は、認定Can-Am On-Roadディーラーから入手したBRP認定のタイヤのみ使用するべきだ。

○ x

5. 同乗者が集中でき、完全に酔いが醒めている状態であることが重要だ。

○ x

6. 傷害の危険を低減させる保護具を六つ挙げてください。

1) _____

2) _____

3) _____

4) _____

5) _____

6) _____

7. 保護具は、傷害を防ぎ軽減させ、快適さを保ち、気象要素からみを守るために欠かせません。

○ x

8. 以下のなかで車両をコントロールしないものを挙げてください。

a. ハンドル

b. ねじれスロットル

c. フロントブレーキレバー

9. 視認性を高めるために昼間でもロービームのライトをONにし続けるべきだ。

○ x

10. 通常は、車両を車線の中央に位置付けるべきだ。

○ x

11. 通常のモーターサイクルとは異なり、ブレーキをかけながらターンすることを習慣にするべきだ。

○ x

12. 通常の状態では、車間距離は最低_____であるべきだ。

- a. 1秒
- b. 2秒
- c. 3秒

13. 承認された容器に入っているも、ガソリンなどの引火性液体を車両上に載せたりストレージコンパートメントに入れたりして運んではならない。

○ x

14. 他のドライバーから注目を得る5つの方法を挙げてください。

- 1) _____
- 2) _____
- 3) _____
- 4) _____
- 5) _____

15. 駆動伝達が良好ではない道路面でブレーキをかける場合は、車両のコントロールを維持するためにポンピングブレーキを行うべきだ。

○ x

16. 車両の最大積載量には、ドライバー、同乗者、荷物およびすべてのアクセサリが含まれる

○ x

17. この車両はトレーラーを安全に牽引できる。

○ x

18. 車両構成によって可能な場合、同乗者はドライバーにしっかりつかまった方がよい。

○ x

19. 3輪トライクの運転は乗用車の運転と同じくらい安全だ。

○ x

20. ABSは車輪をロックさせないでブレーキペダルを強く踏めるようにさせる。

○ x

解答

1. x

急停止するには、ブレーキペダルのみ踏みます。車両が動いている間は決してパーキングブレーキを使用しないでください。

2. x

乗る前に必ず走行前の点検を行うべきです。

3. x

ハイドロプレーニング現象を起こすほど氷、雪、泥または水が道路を覆っている場合、VSSを用いても操作を維持することができません。低温が原因でタイヤの接地性が低下していたり、未舗装路を走行するときは、VSSの性能も低下する場合があります。

4. ○

5. ○

6. 1) ヘルメット

2) 保護めがねおよび顔用保護具

3) 長袖のジャケット

4) グローブ

5) 長いパンツ

6) できれば丈が長い、つま先を覆っているフットウェア

7. ○

8. c. フロントブレーキレバー
車両にはフロントブレーキレバーはありません。

9. x

昼間中はハイビームを使用するべきです。

10. ○

11. x

必要であればブレーキとターンを同時に行うこともできますが、通常はターンの前にブレーキをかけることが推奨されます。

12. b. 2秒

通常の状況では、車間距離は2秒以上とるべきです。

13. ○

14. 1) ライトおよびリフレクターが掃除されてあることを確認します。
- 2) 可能な限りハイビームを使います。
- 3) 方向指示灯を使います。
- 4) 減速する前にブレーキライトを点滅させます。
- 5) 必要に応じてハザードランプを使います。
- 6) クラクションを鳴らして他のドライバーに自らの存在を知らせます。
- 7) 死角の中で運転するのは避けます。
- 8) 明るい色および蛍光衣類を着用します。
15. x
ポンピングブレーキではなく、ブレーキペダルを踏み続けるべきです。車両には、車輪のロックを防ぐABSが搭載されています。
16. ○
17. x
18. x
同乗者は必ず同乗者用グリップにつかまるべきです。
19. x
乗用車およびトラックでは、車の構造が身を守ります。さらに、同乗者はシートベルトを着用することでさらに身を守ることができます。3輪バイクの運転は、乗用車の運転よりもはるかに危険であると考えべきです。負傷するリスクはバイクの場合と同じです。
20. ○

車両の安全情報

この車両には、重要な安全情報が記載されているハングタグおよびラベルが付属しています。

この車両に乗る人は必ずこの情報をよく読み理解した上で乗ってください。

このオペレーターズガイドに使用されている以下の図は参考までです。使用されているモデルは異なる場合があります。

ハングタグ

一般的な安全警告



警告

このCan-Am On-Roadは特殊なタイプの車両です。扱方には特別なスキルや知識が必要とされます。この製品の特殊性について理解してください。

オペレーターズガイドを読み、QRコードリンクからまたはCan-Am On-Roadのウェブサイトにて安全講習ビデオをご覧ください。トレーニングコース（用意されている場合）を受講し、運転の練習を行って習熟したうえで、該当の免許を取得してください。乗車する前に安全カードを参照してください。



必ずヘルメットとライディングギアを着用してください。このタイプの車両では、ライダーは自動車の運転者より高い道路の上のリスクに曝されます。熟練した運転者であっても、他の車両に衝突されたり制御できない状態に陥る場合があります。この車両は、衝突事故において運転者を保護しません。

運転の限界と道路条件

車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定システム（VSS）は制御不能、転倒、あるいは転落を防止することはできません。さまざまな路面状態での車両の限界について理解してください。氷上、雪上、オフロードで運転しないでください。水たまりや水が流れている場所での運転は避けてください。このタイプの車両では、氷上でハイドロプレーニング現象が生じたり、砂利、泥、砂で覆われた路面上でスリップすることがあります。このような路面を走行しなければならない場合、速度を落としてください。

このハングタグは、車両の所有者によってのみ取り外すことができます。

704907629



WARNING

This Can-Am On-Road is a different type of vehicle - it requires special skills and knowledge. Learn how this product is different.

Read the operator's guide and watch the safety video using the QR code link or visit Can-Am On-Road web site.

Complete a training course (if available), **practice**, become proficient with the controls, and get a proper licence.

Refer to the Safety Card before riding.



Always wear a helmet and riding gear.

With this type of vehicle, riders are exposed to more road risks than in a car. Even skilled operators can be struck by other vehicles or lose control. This vehicle will not protect you in a crash.

Handling limits and road conditions

The Vehicle Stability System (VSS) cannot stop you from losing control, flipping over, or falling off if you exceed this vehicle's limits. Know the limits for different road conditions. Do not ride on ice, snow, or off road. Avoid puddles and running water. This type of vehicle can hydroplane on water and slip on gravel, dirt and sand covered roads. If you must go through these road conditions, slow down.

This hangtag may only be removed by the customer.

704907629



米国カリフォルニア州規制 「PROPOSITION 65」に基づく警告

警告。 運転、整備、同乗者の擁護を行うなかで、本車両は米国カリフォルニア州政府が規制する、発がん性や先天性障害または生殖毒性を引き起こすことが知られている排気ガスに含まれる化学物質に運転者をさらす危険性があります。

そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドルリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。

詳細は下記ホームページをご確認ください。

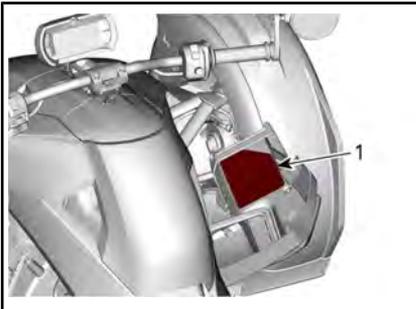
www.P65Warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle

704906973

安全カード

安全カードは、右側サービスカバーの内側にあります。

重要情報を確認するために、そして新しいドライバーや同乗者に車両の乗り方を教えるときに安全カードを参照してください。これには頻繁に参照される情報も記載されています。



1. 右側サービスカバー内側の安全カード

警告

このCan-Am On-Roadは特殊なタイプの車両です。特別なスキルと知識が必要になります。

この製品の特殊性について理解してください。オペレーターズガイドを読み、QRコードリンクからまたはCan-Am On-Roadのウェブサイトにて安全講習ビデオをご覧ください。トレーニングコース（用意されている場合）を受講し、運転の練習を行って慣熟したうえで、該当の免許を取得してください。

- 車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定システム(VSS)は制動不能、転倒、あるいは転落を防止することはできません。
- 氷上、雪上、オフロードで運転しないで下さい。
- 水たまりや水が流れている場所での運転は避けてください。そのタイプの車両では、水上のアイドルローリング現象が生じた時、砂利、砂で覆われた路面上でスリップすることがあります。このような路面を走行しなければなりません。速度を落としてください。

ヘルメットとライディングギアを着用してください。

- このタイプの車両では、ライダーは自動車の運転者より高い道路上のリスクに曝されます。熟練した運転者であっても、他の車両に衝突したり制御できない状態に陥る場合があります。この車両は、衝突事故において運転者を保護しません。

同乗者にも伝えください(該当の場合)。

- 必ずフットペグを下げて使用し、同乗者認識システムを有効にしてください。
- 必ず同乗者用グリップにつかまってください。
- 道路を注意して見てください。カーブの方向に体を傾け、道路の隆起部ではしっかりとつかまってください。

常に以下のことを心がけてください。

- フットペグを使ってブレーキをかけてください。
- 曲がる方向にハンドルを切ってください(足ハンドルを切らないでください)
- 車輪内にすべての車輪を維持し、必ず1つの車輪内を走行してください。2車線をまたいで走行しないでください。
- 走行前点検を行ってください。

8831_JA

スロットルハンドルをひねり戻してスターターを有効にしてください。

training: www.can-am.com/can-am/learn-to-ride

support: www.can-am.com/can-am/support

警告ラベル

これらのラベルは、ドライバー、同乗者またはその場に居合わせる人の安全のために、車両に貼ってあります。

以下のラベルは車両に付いているため、車両の一部として扱ってください。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに無料で交換できます。認定Can-Am On-Roadディーラーまでお問い合わせください。

注：このガイドおよび製品に何らかの矛盾がある場合、製品の警告ラベルがこのガイドのラベルよりも優先されます。

タイヤ圧力と最大荷重

**タイヤと積載量の情報/
TIRE AND LOADING INFORMATION**

乗車定員 SEATING CAPACITY	合計 TOTAL	2	フロント FRONT	1	リア REAR	1
--------------------------	-------------	---	---------------	---	------------	---

乗員と荷物を足し合わせた重量が次の重量を超えないようにしてください。 204 kgまたは 449 lbs
The combined weight of occupants and cargo should never exceed

タイヤ/TIRE/	サイズ/SIZE	冷間時のタイヤ空気圧/ COLD TIRE PRESSURE	リムサイズ/ RIM SIZE
フロント/FRONT	MC145/60R16 66T	172 kPa/25 psi	16 x 4.5 in
リア/REAR	MC205/45R16 77T	193 kPa/28 psi	15 x 6.5 in
スペア/SPARE	なし/NONE	なし/NONE	なし/NONE

P-STD

7064

RYKER 600およびRYKER 900

**タイヤと積載量の情報/
TIRE AND LOADING INFORMATION**

乗車定員 SEATING CAPACITY	合計 TOTAL	2	フロント FRONT	1	リア REAR	1
--------------------------	-------------	---	---------------	---	------------	---

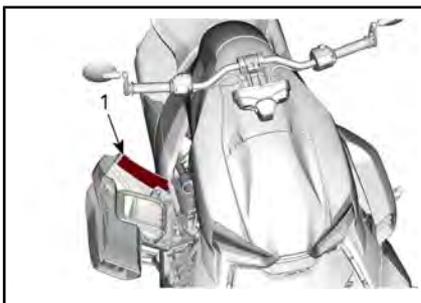
乗員と荷物を足し合わせた重量が次の重量を超えないようにしてください。 199 kgまたは 438 lbs
The combined weight of occupants and cargo should never exceed

タイヤ/TIRE/	サイズ/SIZE	冷間時のタイヤ空気圧/ COLD TIRE PRESSURE	リムサイズ/ RIM SIZE
フロント/FRONT	MC145/60R16 66T	138 kPa/20 psi	16 x 4.5 in
リア/REAR	MC205/55R15 81T	193 kPa/28 psi	15 x 6.5 in
スペア/SPARE	なし/NONE	なし/NONE	なし/NONE

P-AR

7396

RYKER 900ラリーエディション

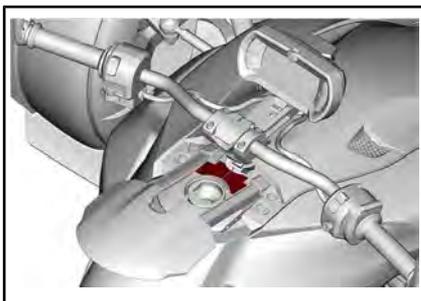


1. 右側サービスカバーの内側にあるタイヤ圧カラベル

給油の手順

警告

- 注意しながら、燃料フィラーノズルをキャップレス燃料フィラーネックにしっかり差し込みます。
- 給油が完了後は、**5～10秒待って**から燃料フィラーノズルを取り外します。
- 携帯用燃料容器から車両の燃料タンクに充填するときは、車両に付属しているようごを必ず使用してください。

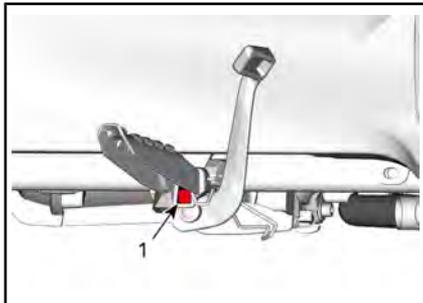
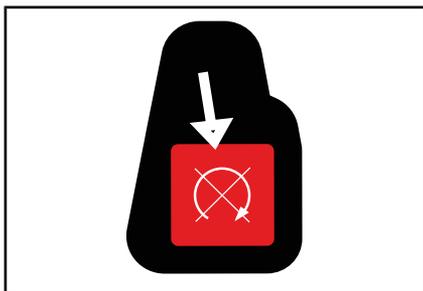


1. 燃料フィラードアの下にあるラベル

エンジンストップスイッチを停止位置に設定する

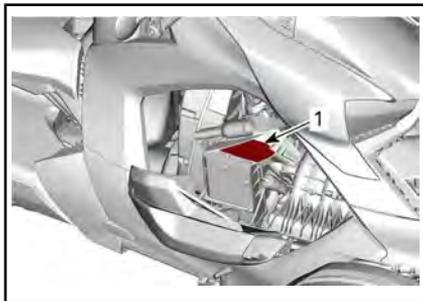
警告

- 必ずエンジンストップスイッチを停止位置に設定してから、フットペグとブレーキペダルを調整します。



1. 右側フットペグの下側にあるラベル

エンジンオイルレベルの点検



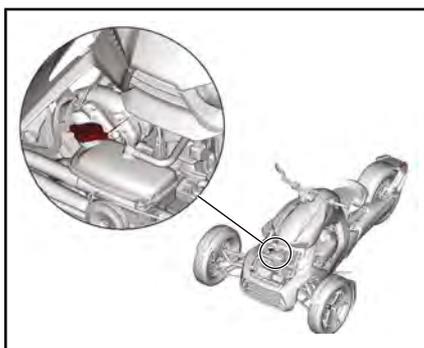
代表例

1. 右側サービスカバーの内側にあるラベル

クーラント高温 - 開けないでください



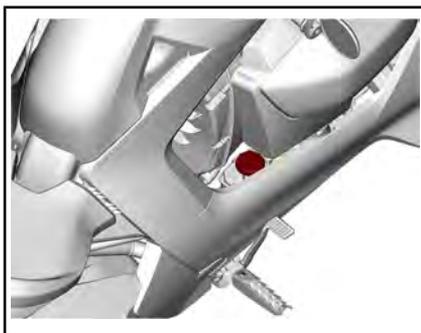
クーラントリザーバキャップ



ブレーキオイル - 清掃と充填



ブレーキオイルリザーバーキャップ

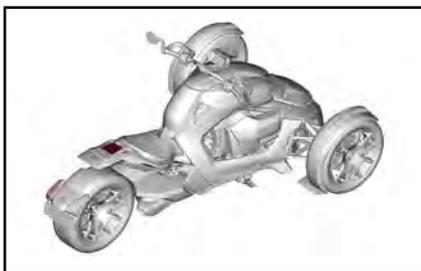


右側ロッカーパネルの裏

同乗者および荷物



RYKER 900ラリーエディション



アッパーリアフェンダー上

車両クリーニング

注意

- マット仕上げ塗料が外観を維持するためには特別な注意が必要です。オペレーターズガイドを参照してください。
- PVDクロムホイールは水と中性洗剤で洗ってください。PVDクロムホイールは、磨いたり、酸性または研磨剤を含むクロムクリーナーを使用しないでください。
- フロントガラスの損傷を防ぐには、フロントガラスをアルカリまたは酸洗剤、ガソリンまたは溶剤で清掃しないでください。オペレーターズガイドを参照してください。

704907056



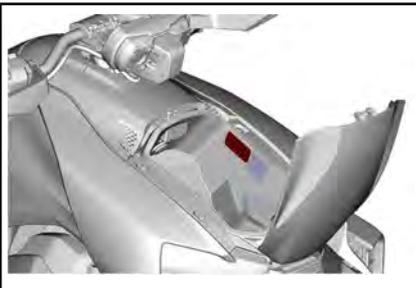
グローブボックス積載量

警告

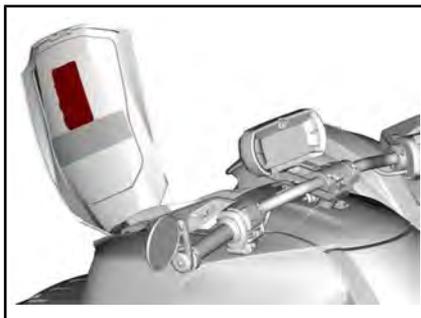
2 kg (4.4 lb)
の積載限度を超えて
積み込まないでください。



7057



グローブボックス内側



グローブボックスカバー内側

安全面での欠陥の報告

あなたの安全はBombardier Recreational Products Inc. (BRP)にとって非常に重要です。質問がありましたら、即時にBRPの顧客サービスまでお問い合わせください。

米国では、衝突、傷害または死亡を招きかねない車両の欠陥を発見した場合は、直ちに高速道路交通安全事業団（NHTSA、「National Highway Traffic Safety Administration」）およびBombardier Recreational Products Inc.にご連絡ください。

NHTSAは他のドライバーから似たような苦情を受け取った場合、調査を開始する場合があります。特定の車両に安全面における欠陥を見つけた場合は、製品回収と救済キャンペーンを実施する場合があります。ただ、NHTSAはあなたと、あなたのディーラーまたはBombardier Recreational Products Inc.の間に生じた個人的な問題に関わることはできません。

NHTSAの連絡先:



888-327-4236



1 800-424-9153



米国運輸省道路交通安全局
1200 New Jersey Avenue, SE
Washington, DC 20590



www.safercar.gov

カナダでは、衝突、傷害または死亡を招きかねない車両の欠陥を発見した場合は、直ちにカナダ運輸省（Transport Canada）およびBombardier Recreational Products Inc.にご連絡ください。

カナダ運輸省は他のドライバーから似たような苦情を受け取った場合、調査を開始する場合があります。特定の車両に安全面における欠陥を見つけた場合は、製品回収と是正キャンペーンを実施する場合があります。ただし、カナダ運輸省はあなたと、あなたのディーラーまたはBombardier Recreational Products Inc.の間に生じた個人的な問題に関わることはできません。

カナダ運輸省窓口：



819-994-3328（ガティノー-オタワ地域または国際電話）
無料電話：1 800-333-0510（カナダ）



カナダ運輸省 - ASFAD
330 Sparks Street
Ottawa, ON
K1A 0N5



<https://www.tc.gc.ca/recalls>

POUR CONTACTER TRANSPORT CANADA:



819-994-3328 (dans la région de Gatineau-Ottawa et à l'extérieur du pays)
Sans frais: 1 800-333-0510 (au Canada)



Transport Canada - ASFAD
330, rue Sparks
Ottawa (Ontario) K1A 0N5



<https://www.tc.gc.ca/rappels>

**このページは
意図的に空白になっています**

走行前の点検

走行前のチェックリスト

車両の「12ヶ月安全点検」を受けていただくことをお勧めします。詳細については、認定Can-Am On-Roadディーラーに相談してください。可能な限り、認定Can-Am On-Roadディーラーでシーズン前点検を受けていただくようお勧めします。ディーラー定期的に保守を受けていただければ、安全に関するサービスキャンペーンなどをいち早くお伝えすることができます。安全に関するサービスキャンペーンのお知らせが届いた場合は、できるだけ早く認定Can-Am On-Roadディーラーにお問い合わせいただくようお勧めします。

警告

毎回乗車前に、操作中に発生する可能性がある問題を検出するために日常点検を実施します。日常点検により、問題になる前に摩耗や劣化を監視できます。発見した問題に対処して、故障や事故のリスクを低減します。必要に応じて認定Can-Am On-Roadディーラーまでお問い合わせください。

車両始動前の点検内容

品目	手順	
重量	車両総重量（ドライバー、荷物および付属のアクセサリーを含む）が技術仕様のセクションに示されている推奨荷重を超えていないことを確認します。	
グローブボックスおよびすべてのサービスカバー	引っ張って、掛け金がしっかりかかっているか確認します。	
パーキングポジションレバー	パーキングポジションレバーが掛けられ、ロックされていることを確認します。	
ハンドルバー、フットペグおよびブレーキペダル	ドライバーに合わせて車両が設定されていることを確認します。必要に応じて調整します。	
ブレーキペダル	押ししてしっかり抵抗力があるか確認します。リリースするとペダルが完全に戻らなければなりません。ドライバーがブレーキペダルを完全に踏み込むことができるか確認します。	
スロットルハンドル	数回ひねります。自由に動き、リリース後にアイドルリングポジションに戻ることを確認。	
漏れ	車両の下に漏れがないか確認。	

品目	手順	
センターロックホイールのロッキングクリップ	すべてのロッキングクリップが正しく取り付けられているか確認します。正しく取り付けられていない場合は、車両を使用せず、認定BRPディーラーに車両を搬入してください。	
ホイール	損傷がないか点検します。	
タイヤ	損傷がないか点検します。トレッドの摩耗を確認してください。タイヤの空気圧を点検します。メンテナンスの手順を参照してください。	
ミラー	清掃および調整：（機器のサブセクションのミラーを参照してください。）	

車両始動後の点検内容

品目	手順	
多機能ゲージ	インジケーター、メッセージおよび燃料レベルを確認します。	
ライト	ヘッドライト、テールライト、ブレーキライト、方向指示灯およびハザード警告ライト（装備されている場合）の操作を確認します。	
クラクション	作動を点検	
ステアリング	ステアリングが自由に動くことを確認します。	
エンジンストップスイッチ	エンジンストップスイッチが正常であるか確認します。	
パーキングポジションレバー	ブレーキペダルを踏み、パーキングポジションレバーを解除します。多機能ゲージ内のブレーキインジケーターランプが消えていることを確認します。	
ブレーキ	ゆっくり近距離を運転し、ブレーキをかけてテストします。	

認められた同乗者用シートキットが取り付けられている場合

同乗者用シートキットが車両に取り付けられている場合は、走行前に下記事項を点検しなければなりません。

品目	手順	
重量	車両総重量（ドライバー、同乗者、荷物および付属のアクセサリを含む）が技術仕様のセクションに示されている推奨荷重を超えていないことを確認します。	
フットペグ	同乗者用フットペグが完全に下ろされ、同乗者アイコンがクラスターゲージ内に表示されていることを確認します。	
同乗者用グリップ	同乗者用グリップが強固な状態であることを確認します。	

メンテナンス

メンテナンスのスケジュール

メンテナンスは、車両を安全な運転状態に保つために非常に重要です。

適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

定期的な点検を実施し、メンテナンスのスケジュールを守ってください。**スケジュールどおりにメンテナンスを行っていても、始業点検は必要です。**

最初のメンテナンスの手順として故障コードを確認することは良い習慣であり、強く推奨します。



メンテナンスのスケジュールや手順に従って適切に車両を維持しないと、安全な作動を損ねます。

EPA規制 - カナダおよび米国向け車両

修理工場、または所有者任意の個人が、排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理を実施できます。これらの手順には、BRPまたは認定Can-Am On-Roadディーラーによるサービスやコンポーネントは必要ありません。

認定Can-Am On-Roadディーラーは、車両のサービスに関する高度な知識とツールを有していますが、排出ガス関連保証は、認定Can-Am On-RoadディーラーまたはBRPと取引のある工場の使用を条件としていません。

適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

排出ガス関連保証の請求では、BRPは排出ガス関連部品の診断と修理を認定Can-Am On-Roadディーラーに制限しています。詳細は、**保証のセクション**に記載された**米国EPA排出ガス性能保証**を参照してください。

本書の給油セクションに記載されている燃料に関する要件の指示に従ってください。エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンが広く販売されている場合でも、米国 EPA はエタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンの使用を禁止しています。これは、この車両にも適用されています。このエンジンに、エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンを使用すると、排出ガス制御システムを損傷する恐れがあります。

過酷な粉塵環境

Ryker 900ラリーエディション

エンジンのエアフィルターおよびCVTのエアフィルターのメンテナンスは、走行条件に応じて調整する必要があります。

次のような極端にほこりの多い環境では、フィルターをより頻繁に整備します。

- 乾燥した砂の上での走行
- 乾燥した土で覆われた路面での走行
- 乾燥した砂利道または類似環境での走行

これらの環境でグループ走行を行う場合は、フィルターをより頻繁に整備する必要があります。

メンテナンスのスケジュール

毎年または10,000 km走行ごと（いずれか早い方）
走行前の点検に記載されているすべての項目を実施してください。
故障コードの確認
エンジンオイルおよびオイルフィルターを交換する
エンジンクーラントレベルを点検する
フロントフェイスアを取り外し、ラジエーターのエアダクトから異物を除去する
ラジエーター、クーリングホースおよびウォーターポンプを目視点検する
クーリングシステムの圧力テストを行う
バッテリー接続の締め具合を点検する
ステアリングに異常がないか点検する
ボールジョイント状態を点検する
タイロッドの状態を点検する
CVTエアフィルターを交換する
ブレーキオイルレベルを点検します。
ブレーキホースを目視点検する
ブレーキパッドおよびディスクの状態を点検する
エキゾーストパイプ、締め付けリング、つなぎ目およびガスケットの状態を確認し、締め付ける
燃料ホース、燃料気化線およびキャニスターの状態を目視点検する
フロントホイールおよびリアホイールのベアリング状態を点検する
パーキングポジションレバーの動作を確認し、必要に応じてケーブルを調整する
車体パネルの緩みを点検する
以下の項目は、10,000 km 走行ごとに行う必要があります（粉塵や砂埃が多い環境で使用される場合は、経過時間に関わらず行う）
燃料フィルターを交換する
エンジンのエアフィルターを交換し、ハウジングを清掃する

2年ごとまたは20,000 km 走行ごと（いずれか早い方）
ギヤボックスオイルを交換する。
ファイナルドライブオイルを交換する
以下の項目は2年ごとに行う必要があります （実走行距離に関わらず行う）
ブレーキ液の交換
以下の項目は 20,000 km 走行ごとに行う必要があります （年数に関係なく行う）：
スパークプラグの交換
エンジンのエアフィルターを交換し、ハウジングを清掃する
燃料フィルターを交換する
以下の項目は 20,000 km 走行ごとまたは「TRANSMISSION MAINTENANCE REQUIRED（トランスミッションのメンテナンス要）」のメッセージが表示され たときに行う必要があります （年数に関係なく行う）
CVTドライブベルトを交換する
ドライブベルトシーブを清掃する
5年ごとまたは50,000 km走行ごと （いずれか早い方）
エンジンクーラントを交換する。
フロントサスペンションアームのラバーブッシュを点検する

メンテナンスの手順

このセクションでは、基本的なメンテナンスの手順を説明します。

メンテナンス手順には複雑なものもあるため、優れた機械技術が必要になります。

いくつかの手順は、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店または担当整備士が実施しなければなりません。

機械技術に自信がない場合は、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店または担当整備士に遠慮なくご相談ください。

警告

メンテナンスを行う場合は、まずエンジンを止めて、以下のメンテナンス手順に従ってください。適切なメンテナンス手順を守らないと、高温の部品、稼働部分、電気的、化学的あるいはその他の危険により負傷する恐れがあります。

タイヤ

警告

推奨されていない種類のタイヤ、損傷したり磨り減っているタイヤ、最低トレッドウエアインジケーターより幅が低いタイヤ、または適切に膨らまされていないタイヤの使用は、コントロールを失う恐れがあります。

新しいタイヤは慣らし運転が完了するまで最大効率に達しません。ブレーキ、ステアリングおよびVSSの効率が低減される場合があるため、注意を余分に払ってください。タイヤを慣らすには、約300km走行し、頻繁にブレーキを使用してください。ブレーキをそれほど使わない場合、タイヤの慣らし運転時間を多めに見積もってください。

タイヤはこの車両のために特別に設計されています。認定Can-Am On-Roadディーラーのみで販売されているBRPの推奨ラジアルタイヤだけを使用してください。

タイヤ空気圧

タイヤの最適な性能や摩耗特性を得るために、推奨されている冷間時の膨張圧を用いてください。過小または過剰な膨張は、トレッドの不均一な摩耗パターンを生じさせます。

推奨タイヤ圧は、右側サービスカバーの内側にあるタイヤラベルにあります。

天候による温度変化が生じると、膨張圧も変化します。6°Cの気温低下は、7kPaの膨張圧低下に相当します。タイヤ圧は頻繁に確認し、適切な圧力になるよう調整してください。

注：左右のタイヤの圧力差が3.4 kPaを超えないようにしてください。

タイヤの損傷

次の損傷がないかすべてのタイヤを点検します。

- タイヤの切り傷、切り込みおよび亀裂。
- タイヤの側面またはトレッドのこぼこまたは膨らみ。
- タイヤの側面またはトレッドに釘やその他の異物が刺さっている。
- 合わないリム、または不良タイヤバルブによる空気漏れ（シューという音）。

上記のいずれかが発生した場合は、認定Can-Am On-Roadディーラーによってできるだけ早くタイヤを修理または交換してもらってください。

タイヤのトレッドの摩耗

トレッド摩耗インジケーター（以下の図の1に示されている通り、トレッドのベースに成形されている硬いゴムバー）を使ってタイヤ溝の最小深さを確認します。タイヤトレッドの次の3つの位置で点検します。

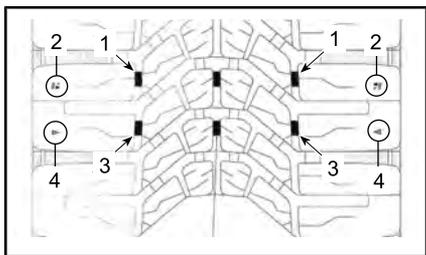
- 外縁
- 中央
- 内側エッジ

トレッド摩耗インジケーターは最小タイヤ溝深さに達したトレッドに現れます。トレッドにトレッド摩耗インジケーターが最低でも1つ現れている場合、タイヤをできる限り早く認定Can-Am On-Roadディーラーに交換してもらってください。

リアタイヤには2種類の摩耗インジケータがあります。1つは通常使用に関するもので、もう1つは濡れた路面での使用に関するものです。通常のトレッド摩耗限度インジケータは、三角形のマークによって示されています。濡れた路面での使用に関するインジケータは、水滴のマークによって示されています。

警告

濡れた路面での使用に関するトレッド摩耗限度インジケータに達している、またはもうすぐ達する場合、濡れた道路での車両の使用は推奨しません。安全のため、タイヤを交換してください。



リアタイヤを示す

1. 濡れた路面での使用に関するトレッド摩耗限度インジケータ
2. 濡れた路面での使用に関するトレッド摩耗限度インジケータのマーク
3. 通常のトレッド摩耗限度インジケータ
4. 通常のトレッド摩耗限度インジケータのマーク

車両の運転の仕方および道路状況によって、タイヤは一樣でない摩耗をしていることは一般的にあります。車両がスムーズまたは積極的に運転されたかによって、フロントホイールの外縁および内縁、そしてリアホイールの中央スレッドは不規則に摩耗します。

タイヤのローテーション

トレッドの深さが4mmに達したとき、フロントタイヤのローテーションを行ってください。これはタイヤの寿命を最大限に引き伸ばします。

注意 車輪およびブレーキキャリパーの間に指が挟まれる恐れがあるため、車輪のスピニング中は前輪スポークを手で持たないでください。

タイヤ登録用紙

タイヤがリコールされた場合は、氏名と住所を登録されたお客様にしかご連絡をさしあげることができません。車両メーカーとして、BRPは車両識別番号 (VIN) (車両の識別を参照) に関連するタイヤ識別番号 (TIN)、および現在の所有者の情報の記録を保管しています。

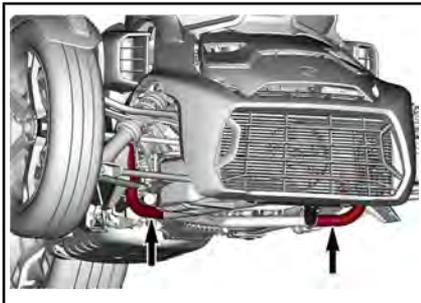
車両のタイヤを交換する場合は、「タイヤ登録用紙」にご記入いただき、タイヤメーカーのお客様サービスグループに提出する必要があります。「タイヤ登録用紙」は認定Can-Am On-Roadディーラーでお求めいただけます。

ホイール

フロントホイール

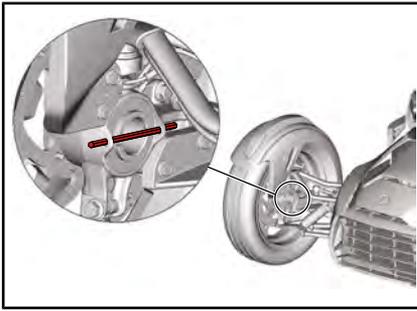
フロントホイールの取り外し

1. 車両を平面に停車します。
2. 車両前部を持ち上げて支えます。

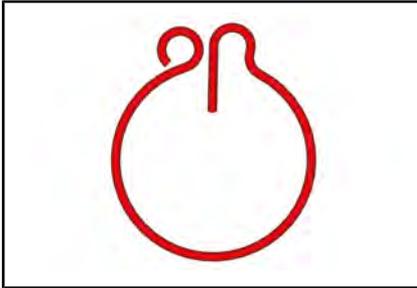


車両前側を持ち上げたり支えたりするには、これらのパイプを使用する

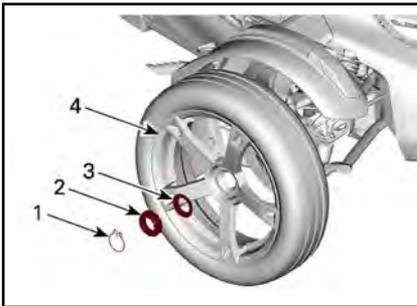
3. ロック用部品 (長い六角レンチやテーパー付きのスチールロッドなど) を使用して、ハンドルバーを回し、ホイールハブをロックします。



4. 赤色のロックングクリップを取り付けます。



5. センターロックホイールナットとコニカルワッシャーを取り外します。
6. 車両からホイールを取り外します。



1. 赤色ロックングクリップ
2. センターロックホイールナット
3. コニカルワッシャー
4. ホイール

フロントホイールの取り付け

注記 取り付け説明と締め付けトルク値を順守してください。順守しないとリムが損傷する場合があります。

取り付けは取り外しと逆の順序で行います。しかし、次の点に注意を払ってください。

リムの3本のダウエルピンをブレーキディスクの穴に合わせます。

注記 ホイール、ホイールハブ、ブレーキディスク、およびホイールハブのねじ部のすべてにおいて、摩耗粉、砂、粉塵または切りくずが付着していないことを確認してください。液体類を使用して表面を洗浄しないでください。柔らかい乾燥した布だけを使用してください。



コニカルワッシャーとセンターロックホイールナットを取り付けます。

センターロックホイールナットを規定のトルクで締め付けます。

注記 絶対にインパクトツールを使用してホイールナットを締め付けしないでください。

締め付けトルク	
センターロックホイールナット	300 N·m ± 15 N·m

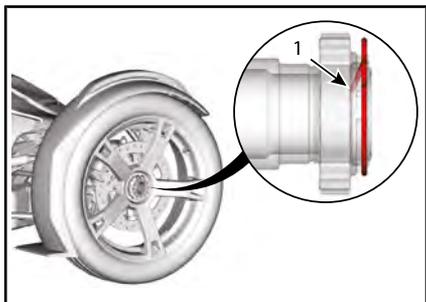
警告

赤色のロックングクリップを取り付けないと、センターロックホイールナットが緩んだ場合にホイールを失う場合があります。

赤色のロックングクリップを取り付けます。折れ曲がった端がドライブアックスルの内側を向いていなければなりません。

注記 赤色のロックングクリップ穴の位置を合わせようとしてナットを緩めないでください。ナットを公称値で締

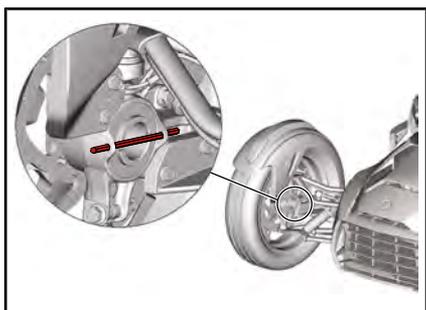
め付けてから、増し締めして穴の位置を合わせてください。



1. 折れ曲がった端がドライブアックスルの内側を向いた状態



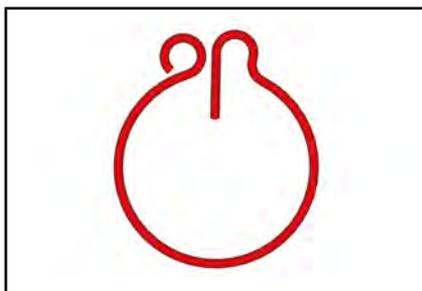
ホイールハブからロック用部品を取り外します。



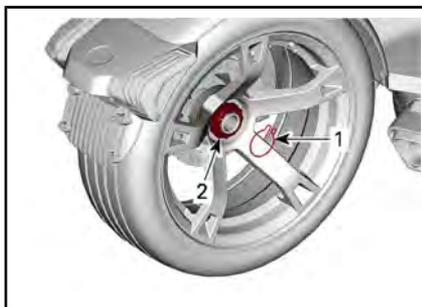
後輪

後輪の取り外し

1. 車両を平面に停車します。
2. パーキングポジションレバーをロック位置に動かします。
3. 赤色のロックングクリップを取り付けます。



4. センターロックホイールナットを緩めます。



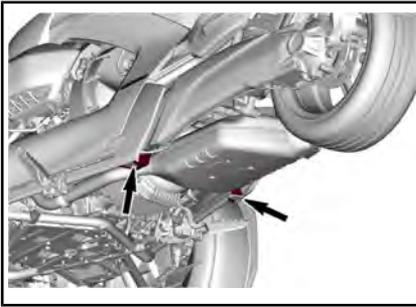
1. 赤色ロックングクリップ
2. センターロックホイールナット

必要なツール

65 MMソケット
(P/N 529 036 457)

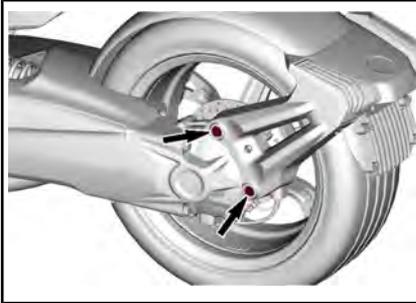


5. 車両後部をリフトアップして支えます。

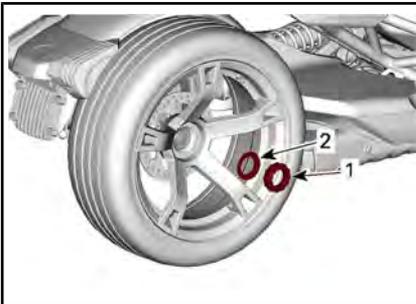


車両後部を持ち上げたり支えたりするには、これらの位置を利用する

6. キャリパー固定ボルトを左側から外し、キャリパーを脇へよけます。



7. センターロックホイールナットとコニカルワッシャーを取り外します。
8. 車両からホイールを取り外します。



1. センターロックホイールナット
2. コニカルワッシャー

後輪の取り付け

注記 取り付け説明と締め付けトルク値を順守してください。順守しないとリムが損傷する場合があります。

取り付けは取り外しと逆の順序で行います。しかし、次の点に注意を払ってください。

後輪を取り外すたびに、合成グリースをブレーキディスクスプラインに塗布します。

推奨XPS用整備用品

XPS合成グリース

注記 ホイール、ホイールハブ、ブレーキディスク、およびホイールハブのねじ部のすべてにおいて、摩耗粉、砂、粉塵または切りくずが付着していないことを確認してください。液体類を使用して表面を洗浄しないでください。柔らかい乾燥した布だけを使用してください。

コニカルワッシャーとセンターロックホイールナットを取り付けます。

センターロックホイールナットを規定のトルクで締め付けます。

注記 絶対にインパクトツールを使用してホイールナットを締め付けしないでください。

締め付けトルク

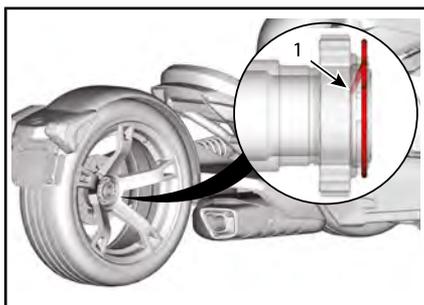
センターロックホイールナット	300 N·m ± 15 N·m
----------------	------------------

警告

赤色のロックングリップを取り付けないと、センターロックホイールナットが緩んだ場合にホイールを失う場合があります。

赤色のロックングリップを取り付けます。折れ曲がった端がドライブアックスルの内側を向いていなければなりません。

注記 赤色のロックングリップ穴の位置を合わせようとしてナットを緩めないでください。ナットを公称値で締め付けてから、増し締めして穴の位置を合わせてください。



1. 折れ曲がった端がドライブアクスルの内側を向いた状態



エンジンオイル

推奨エンジンオイル

Rotax®エンジンには、XPS™オイルを使用して開発と検証が行われました。BRPでは、XPSエンジンオイルまたは同等の使用を常に推奨しています。推奨エンジンオイルには何も添加しないでください。エンジンに適していないオイルの使用や添加剤を加えたことを原因とする損傷については、BRPの限定保証の対象にならない場合があります。

XPS推奨エンジンオイル	
北欧諸国	4T 5W40合成ブレンドオイル (EUR) (P/N 779290)
その他の市場	4T 5W40合成ブレンドオイル (P/N 779133)

XPS推奨エンジンオイル

推奨されるXPSエンジンオイルが入手できない場合

下記の潤滑油仕様を満足するかそれを超える5W40の4ストロークSAE合成エンジンオイルを使用してください。

オイルの容器に貼付されているAPIサービスラベルの分類を必ず確認し、表示されている規格のいずれかが含まれていることを確認してください。

- APIサービス分類SJ、SL、SMまたはSN

エンジンオイルレベルの確認

注記 オイルレベルが不適切なままエンジンを作動し続けると、エンジンに重大な損傷を与える可能性があります。この手順に従って、エンジンオイルレベルを正確に読み取ってください。

1. エンジンを通常動作温度（エンジンオイル90°C）まで暖機してから**60秒以上**アイドリングさせます。車両を水平面に置き、パーキングロックレバーをロック位置に動かします。

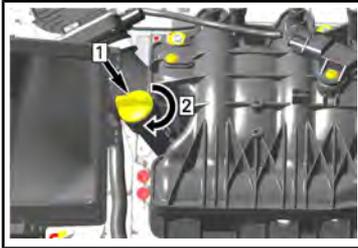
注：ディスプレイ右横にある温度インジケーターが5 barを示しているとき、エンジンは通常動作温度になっています。



2. エンジンをアイドリングさせているときに右側サービスカバーを開きます。
3. エンジンを停止して、直ちに下記の手順を行います。

注記 エンジンを停止してから**10分以内**にエンジンオイルレベルの確認を行ってください。

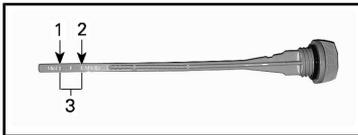
- 3.1 オイルレベルゲージを緩めて取り外し、オイルを拭き取ります。
- 3.2 オイルレベルゲージをオイル注入パイプに差し込んで締め付けます。



手順1： オイルレベルゲージを差し込む

手順2： オイルレベルゲージを締め付ける

- 3.3 オイルレベルゲージを再び取り外して、オイルレベルを点検します。オイルレベルがMAXとMINのマークの間になければなりません。



代表例

1. MIN
2. 最大
3. 変動範囲

オイルレベルがMAXとMINのマークの間の場合

1. オイルレベルゲージを取り付けて正しく締め付けます。
2. こぼれたオイルは必ずふき取ってください。
3. 右側サービスカバーを閉じます。

注記 MAXマーク以上にオイルが入っているとエンジンを損傷することがあります。

オイルレベルがMINのマークより低い場合

1. じょうごをフィラーチューブに差し込んで、400 mlの推奨オイルを追加します。

注： MINマークとMAXマークの間のオイルの量は、400 mlです。

2. エンジンを再始動して通常の動作温度まで暖機してから**60秒以上**アイドリングさせます。

注記 エンジンが動作温度に達していない状態でオイルレベルを調整すると、過剰に補給することになります。

3. エンジンを停止して、直ちに下記の手順を行います。

注記 エンジンを停止してから**10分以内**にエンジンオイルレベルの確認を行ってください。

- 3.1 オイルレベルゲージを緩めて取り外し、オイルを拭き取ります。
- 3.2 オイルレベルゲージをオイル注入パイプに差し込んで締め付けます。
- 3.3 オイルレベルゲージを再び取り外して、オイルレベルを点検します。オイルレベルがMAXとMINのマークの間になければなりません。
4. オイルレベルがMAXとMINのマークの間になるまで上記ステップを繰り返します。

注記 入れ過ぎないでください。

5. オイルレベルゲージを取り付けて正しく締め付けます。
6. こぼれたオイルは必ずふき取ってください。
7. 右側サービスカバーを閉じます。

エンジンオイルとフィルターの交換

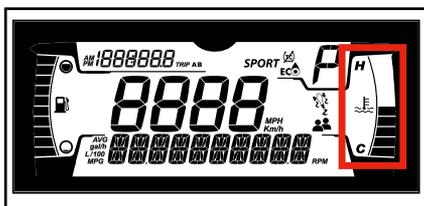
注意 エンジンオイルは非常に熱くなっている可能性があります。エンジンオイルが若干冷めるまで待ちます。

注記 エンジンオイルとオイルフィルターは同時に交換する必要があります。

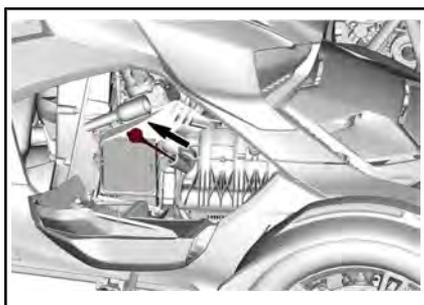
1. エンジンを通常動作温度（オイルタンク面で90°C）にします。

注： ディスプレイ右横にある温度インジケーターが5 barを示しているとき、

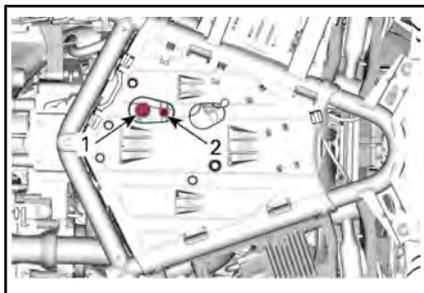
エンジンは通常の動作温度になっています。



2. 水平面に車両を置いてください。
3. 右サービスカバーを開きます。
4. オイルレベルゲージを取り外します。

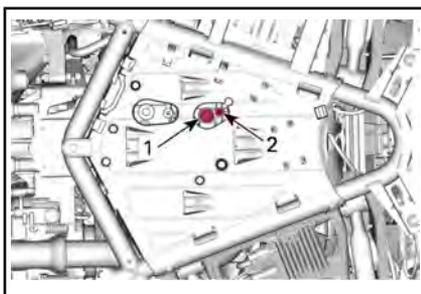


5. ドレンプラグ周辺を清掃します。
6. エンジンの下にドレンパンを置きます。
7. 下記の順序でエンジンドレンプラグを取り外します。
 1. マグネットドレンプラグ
 2. セカンダリドレンプラグ。



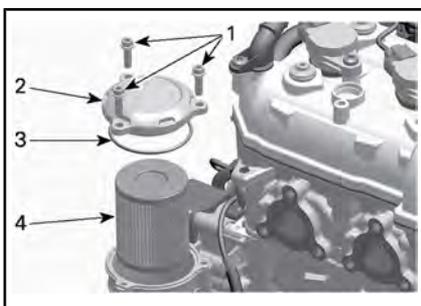
600 ACEエンジン

1. マグネットドレンプラグ
2. セカンダリドレンプラグ

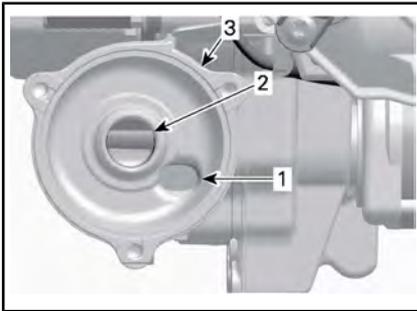


900 ACEエンジン

1. マグネットドレンプラグ
2. セカンダリドレンプラグ
8. オイルを完全に排出します。
この間に、エンジンオイルフィルターを交換します。
9. フロントサービスカバーを取り外します。サービスカバーを参照してください。
10. エンジンオイルフィルターエリアを清掃します。
11. オイルフィルターカバーを取り外します。



1. オイルフィルターカバーのスクリュー
2. オイルフィルターカバー
3. Oリング (捨てる)
4. オイルフィルター
12. (マグネットカバーの組み込み部品である) オイルフィルターキャビティ内のオイルフィルターインレットおよびアウトレットオリフィスに泥や汚染物質がないか点検します。



1. 油圧ポンプからのオイルインレット開口部
2. エンジン潤滑システムへのオイルアウトレット開口部
3. オイルフィルターソケット

13. カバーOリングを**新品**に交換します。
14. オイルフィルターを取り外します。
15. **新品**のオイルフィルターをカバーに取り付けます。
16. Oリングおよびフィルター端部にエンジンオイルを塗布します。
17. オイルフィルターを所定位置に差し込みます。

注記 フィルターおよびカバーを取り付ける際にOリングを挟み潰さないように注意してください。

18. オイルフィルターカバーを推奨トルクで締め付けます。

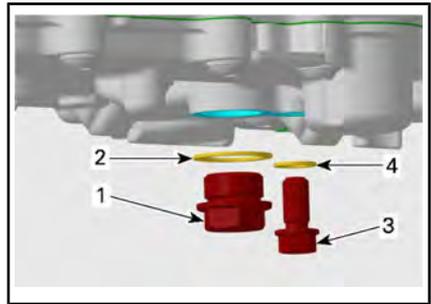
締め付けトルク	
オイルフィルターカバーのスクリュー	9 N・m ± 1 N・m

19. エンジンに零れたオイルはふき取ってください。
20. **新品**のシーリングワッシャーをオイルドレンプラグに取り付けます。

注記 シーリングワッシャーは絶対に再使用しないでください。必ず新品と交換してください。

21. ドレンプラグを取り付け、指定トルクで締め付けます。

締め付けトルク	
マグネットドレンプラグ	30 N・m ± 3 N・m
セカンダリドレンプラグ	15 N・m ± 2 N・m



900 ACEエンジンを示す

1. マグネットドレンプラグ
2. 新品のシーリングワッシャー
3. セカンダリドレンプラグ
4. 新品のシーリングワッシャー
22. オイルタンクに推奨オイルを正しいレベルまで補充します。

エンジンオイル容量概数（フィルター付き）	
600 ACE	2.5 L
900 ACE	2.8 L

23. オイルレベルゲージを取り付けて正しく締め付けます。
24. エンジンを始動し、数分間アイドリングします。
25. 漏れがないことを確認します。
26. エンジンを停止してオイルレベルを確認します。必要があれば補充します。
27. オイルおよびフィルターは、地域の環境規制に従って廃棄してください。

エンジンエアフィルター

エンジンエアフィルターの取り外し

1. 左サービスカバーを取り外します。サービスカバーのセクションを参照してください。
2. カバーからエアフィルターを取り外します。



エンジンエアフィルターの点検

エアフィルターの清潔さおよび損傷を確認します。

注記 ペーパーフィルターに圧縮エアを吹きつけることは推奨されていません。これは紙繊維を傷つけ、ほこりの多い環境ではろ過能力が低下してしまいます。

注記 ペーパーフィルターを洗浄液で洗浄しないでください。

注記 エアインテークサイレンサーを点検し、エンジンエアインレット（エアフィルターの奥）のきれいな側に吹き込まれたり落ちたりしないように気をつけながら、埃や異物を取り除きます。

注記 エアインテークサイレンサーのきれいな側の内側に落ちた、または移動した埃や異物を取り除いてください。埃を中に押し入れるのではなく引き出すように、清掃します。

メンテナンススケジュールと個々の使用状況（特に埃っぽい環境など）により、必要な場合はエアフィルターを交換します。

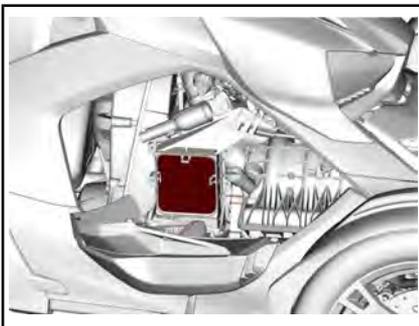
エンジンエアフィルターの取り付け

取り付けは取り外しと逆の順序で行います。しかし、次の点に注意を払ってください。

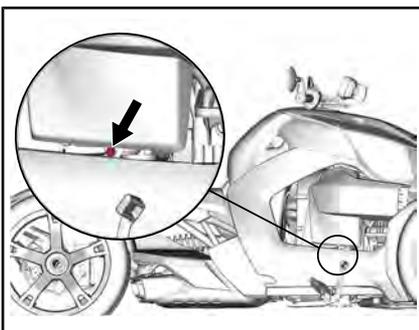
エアフィルターを取り付ける前に、エアフィルターを取り付けるリングの位置が正しいことを確認してください。

CVTエアフィルター

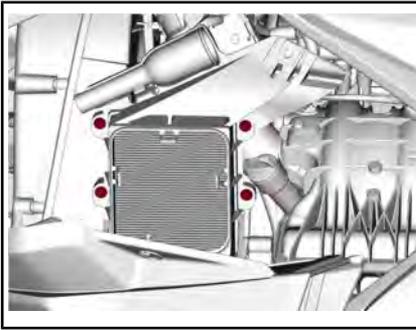
CVTエアフィルターの取外し



1. CVTエアフィルターハウジングの下側を固定しているねじを取り外します。



2. 右サービスカバーを開きます。サービスカバーのセクションを参照してください。
3. CVTエアフィルターハウジングを固定しているねじを取り外します。



4. エアフィルターをそのハウジングから取り外します。

CVTエアフィルターの点検

エアフィルターの清潔さおよび損傷を確認します。

注記 ペーパーフィルターに圧縮エアを吹きつけることは推奨されていません。これは紙繊維を傷つけ、ほこりの多い環境ではろ過能力が低下してしまいます。

注記 ペーパーフィルターを洗浄液で洗浄しないでください。

注記 エアフィルターハウジングを点検し、埃や異物を除去します。エアを吹き付けたり、CVTの内側のものを動かしたりしないでください。

注記 エアインテークサイレンサーのきれいな側の内側に落ちた、または移動した埃や異物を取り除いてください。埃の中に押し入れるのではなく引き出すように、清掃します。

メンテナンススケジュールと個々の使用状況（特に埃っぽい環境など）により、必要な場合はエアフィルターを交換します。

CVT エアフィルターの取り付け

取り付けは取り外しと逆の順序で行います。しかし、次の点に注意を払ってください。

エアフィルターを取り付ける前に、エアフィルターを取り付けるリングの位置が正しいことを確認してください。

CVTドライブベルト

CVTドライブベルトの交換

CVTドライブベルトの交換は、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店

または担当整備士に依頼してください。

CVTプーリーシーブの清掃

CVTプーリーシーブの清掃は、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店または担当整備士に依頼してください。

エンジンクーラント

推奨エンジンクーラント

注記 内燃機関であるアルミニウムエンジン専用の腐食防止剤入りエチレングリコール不凍液を必ず使用してください。

不凍液の劣化を防ぐため、いつも同じブランドおよびグレードの不凍液を使ってください。クーリングシステムを完全に洗浄して入れ替える場合を除いて、ブランドまたはグレードの異なる不凍液を混ぜないでください。

XPS™ の推奨クーラント

ロングライフプレミッククーラント

推奨のXPS用クーラントが入手できない場合

内燃アルミニウムエンジン専用の低ケイ酸塩タイプのロングライフエチレングリコールプリミッククーラント（50%-50%）を使用してください。

エンジン冷却液レベルの検証



警告

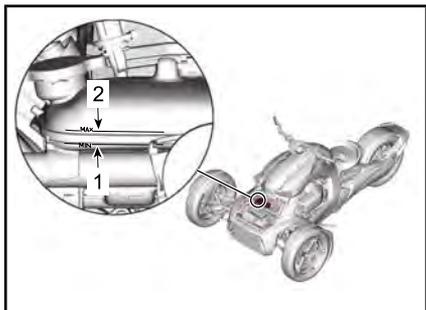
リザーバーを開ける時は、クーラントが非常に熱く、エンジンが熱いと噴出すことがあります。火傷を防ぐには、エンジンの温度が低い時にクーラントのレベルを確認します。

エンジンが冷たい状態で、次のようにクーラントのレベルを確認します。

1. 車両をしっかりと平面上に停車します。
2. フロントサービスカバーを取り外します。サービスカバーのセクションを参照してください。

- 右側のクーラントレベルを確認します。クーラントはMINレベルのマーキングより多少上にある必要があります。

注：エンジンが熱い場合は、クーラントはMAXレベルのマーキングより下にある必要があります。



- クーラントのMINレベルのマーキング
- クーラントのMAXレベルのマーキング
- 必要であれば、リザーバー内のMINレベルのマーキングより少し上になるまでクーラントを継ぎ足します。こぼさないように、じょうごを使ってください。**入れすぎないでください。**
- サービスカバーを再度取り付けます。

注：頻繁にクーラントの補充が必要な場合は、クーラントシステムが漏れているか、エンジンに問題があることを示しています。認定Can-Am On-Roadディーラーまでお問い合わせください。

エンジンクーラントの交換

エンジンクーラントの交換は、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店または担当整備士に依頼してください。

クーリングシステムの圧力テストの実施

クーリングシステムの圧力テストは、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店または担当整備士に依頼してください。

ファイナルドライブ

推奨ファイナルドライブオイル

XPS™ 推奨ファイナルドライブオイル
75W90合成ギヤオイル
推奨のXPS用ファイナルドライブオイルが入手できない場合
API GL-5の仕様を満足する75W90ギヤオイルを使用してください。

ファイナルドライブオイルレベルの確認

- 車両を平面に停車します。
- エンジンを停止し、パーキングポジションレバーをロック位置にします。
- ファイナルドライブハウジングの内側にあるファイナルドライブ充填プラグを取り外します。
 - ディスクブレーキ開口部からフィルプラグに手が届くまで後輪を回します。
 - 長さ8mmの六角レンチを使用して充填プラグを取り外します。



- オイルレベルを点検します。オイルは、オイルレベル穴の下側と同じ高さである必要があります。

注記 オイルレベルが不適切な状態でファイナルドライブを使用すると、ファイナルドライブに重大な損傷を与える可能性があります。

- 必要な場合は、推奨ファイナルドライブオイルを追加します。
- 充填プラグを取り付けてから締め付けます。

締め付けトルク	
充填プラグ	16 N・m ± 3 N・m

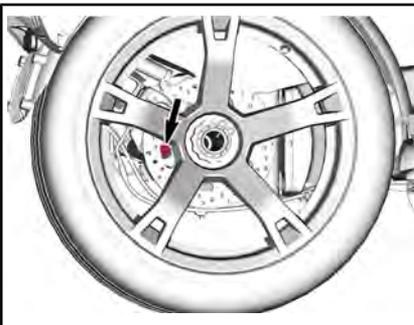
ファイナルドライブオイルの交換

- 車両を水平面に置いてください。
- ファイナルドライブハウジングの下から、マグネットドレンプラグ部を清掃します。
- マグネットドレンプラグ部の下にドレンパンを置きます。
- ファイナルドライブオイルのドレンプラグとOリングを取り外します。Oリングを処分します。

⚠️ 注意 ファイナルドライブオイルが高温になっている場合があります。



- 充填プラグを取り外します。



- オイルをファイナルドライブから完全に流れ出るようにします。

- マグネットドレンプラグをきれいにし、ドレンプラグに異物が付かないように注意します。

注：異物が多すぎる場合は、ファイナルドライブの問題を示しています。

- マグネットドレンプラグを**新品**のOリングとともに取り付け、規定トルクで締め付けます。

締め付けトルク	
マグネットドレンプラグ	16 N・m ± 3 N・m

- オイルがオイルレベル穴の下側に達するまで、充填穴からファイナルドライブにオイルを充填します。
- 充填プラグを取り付けてから締め付けます。

締め付けトルク	
充填プラグ	16 N・m ± 3 N・m

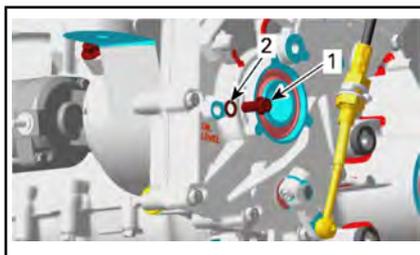
- 現地の環境規制に基づいてファイナルドライブオイルを処分してください。

ギヤボックス

推奨ギヤボックスオイル

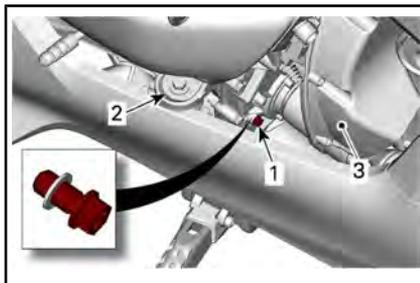
XPS™ 推奨ギヤボックスオイル	
一般用	4T5W40合成ブレンドオイル
高温用	4T 10W50合成オイル または 75W140合成ギヤオイル

XPS™ 推奨ギヤボックスオイル	
推奨のXPSギヤボックスオイルが入手できない場合	
一般用	<p>次の潤滑油業界仕様を満足するかそれを超える4ストローク用SAEエンジンオイルを使用します。</p> <p>APIサービス分類SJ、SL、SM、またはSN</p> <p>オイルの容器に貼付されているAPIサービスラベルの分類を必ず確認し、上記のいずれかの分類が含まれていることを確認します。</p>
高温用	<p>API GL-5の仕様を満足する75W140ギヤオイルを使用してください。</p>



1. オイルレベルプラグ
2. シーリングワッシャー

注：オイルレベルプラグは、左側エンジンサポートの後方、CVTドライブベルトハウジングの下側にあります。



ギヤボックスオイル量

ギヤボックスオイル最大容量
500 ml (オイルレベルがオイルレベルプラグ穴の底面と同じ高さであること)

ギヤボックスのオイルレベルの確認

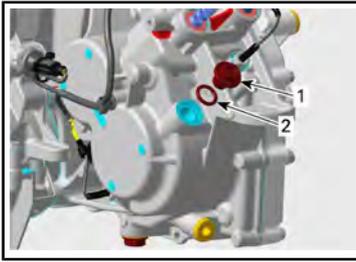
1. 車両を平面に停車します。
2. エンジンを停止し、パーキングポジションレバーをロック位置にします。
3. ギヤボックスオイルレベルプラグを取り外し、シーリングワッシャーを廃棄します。

ギヤボックスオイルレベルプラグの位置

1. オイルレベルプラグ
2. 左側エンジンサポート
3. CVTドライブベルトハウジング
4. オイルレベルを点検します。オイルレベルがオイルレベル穴と同じ高さでなければなりません。

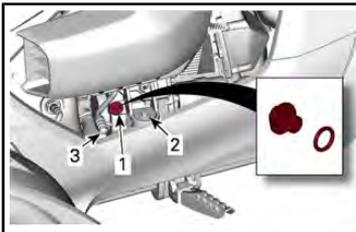
注記 オイルレベルが不適切な状態で使用を続けると、ギヤボックスに重大な損傷を与える可能性があります。

5. 必要な場合はギヤボックスオイルを追加します。
 - 5.1 オイル充填プラグを取り外して、Oリングを廃棄します。



1. オイル充填プラグ
2. Oリング

注：オイルフィルタープラグは、ギヤボックスハウジングの前方、左側エンジンサポートとシフトレバーの間にあります。



ギヤボックスオイルフィルタープラグの位置

1. オイル充填プラグ
2. 左側エンジンサポート
3. シフトレバー
- 5.2 オイルがオイルレベルプラグ穴から出るまで、推奨ギヤボックスオイルを若干追加します。
6. オイルレベルプラグとオイル充填プラグを、**新品**のシーリングワッシャーおよび**新品**のOリングとともに取り付けます。規定のトルクで締め付けてください。

締め付けトルク	
オイルレベルプラグ	15 N·m ± 2 N·m
オイル充填プラグ	4.5 N·m ± 0.5 N·m

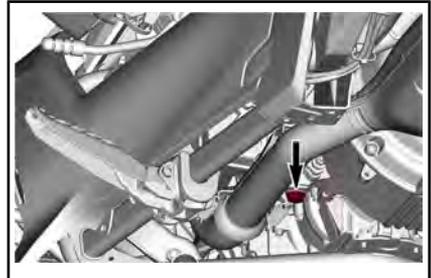
ギヤボックスオイルの交換

1. エンジンを始動して車両を運転し、ギヤボックスオイルを暖気します。

注：エンジンのアイドリングでは不十分であるため、車両のギヤボックスを作動させる必要があります。

2. 車両を水平面に置いてください。
3. 車両の下側からマグネットドレンプラグ部を清掃します。

! **注意** 排気システムは非常に熱くなっている可能性があります。

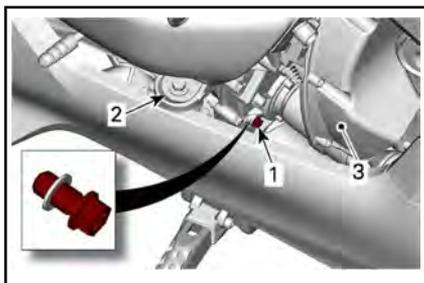


4. ギヤボックスのマグネットドレンプラグの下にドレンパンを置きます。
5. マグネットドレンプラグとシーリングワッシャーを取り外します。シーリングワッシャーを廃棄します。

! **注意** ギヤボックスオイルは非常に熱くなっている可能性があります。

6. ギヤボックスオイルレベルプラグを取り外します。シーリングワッシャーを廃棄します。

注：オイルレベルプラグは、左側エンジンサポートの後方、CVTドライブベルトハウジングの下側にあります。



ギヤボックスオイルレベルプラグの位置

1. オイルレベルプラグ
2. 左側エンジンサポート
3. CVTドライブベルトハウジング
7. オイルをギヤボックスから完全に流れ出るようにします。
8. マグネットドレンプラグをきれいにし、ドレンプラグに異物が付かないように注意します。

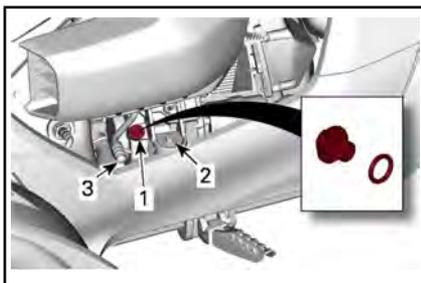
注：異物が多すぎる場合は、ギヤボックスの問題を示しています。

9. マグネットドレンプラグを**新品**のシーリングワッシャーとともに取り付け、規定トルクで締め付けます。

締め付けトルク	
マグネットドレンプラグ	30 N・m ± 3 N・m

10. オイル充填プラグを取り外して、Oリングを廃棄します。

注：オイルフィルタープラグは、ギヤボックスハウジングの前方、左側エンジンサポートとシフトレバーの間にあります。



ギヤボックスオイルフィルタープラグの位置

1. オイル充填プラグ
2. 左側エンジンサポート
3. シフトレバー
11. オイルがオイルレベルプラグ穴から出てくるまで、ギヤボックスオイルをオイル充填穴から充填します。
12. オイルレベルプラグとオイル充填プラグを、**新品**のシーリングワッシャーおよび**新品**のOリングとともに取り付けます。規定のトルクで締め付けてください。

締め付けトルク	
オイルレベルプラグ	15 N・m ± 2 N・m
オイル充填プラグ	4.5 N・m ± 0.5 N・m

13. ギヤボックスオイルは現地の環境規制に従って廃棄してください。

ブレーキ

警告

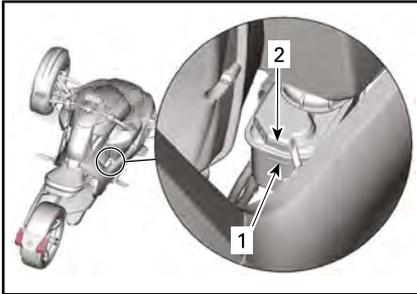
新しいブレーキは、慣らし運転が完了しないと最大効率で作動しません。ブレーキの効率が最適でない場合があるため、十分注意してください。タイヤを慣らすには、約300km 走行し、頻繁にブレーキを使用してください。ブレーキをそれほど使わない場合、タイヤの慣らし運転時間を多めに見積もってください。

ブレーキオイルレベルの確認

密閉容器に入っているDOT 4ブレーキオイルのみを使用してください。

次のようにブレーキオイルのレベルを点検します。

1. 車両をしっかりとした平面上に停車します。
2. マスターシリンダーリザーバー後部のレベルマークを確認できるように、右側フットペグをずらします。ドライバーのフットペグとブレーキペダルのセクションを参照してください。
3. リザーバーのブレーキオイルレベルを点検します。両方のチャンバーにおいて、オイルがMINのマークより上になければなりません。



1. ブレーキオイルMIN.レベルのマーク
2. ブレーキオイルMAX.レベルのマーク
4. 必要に応じて、液を追加してください。ブレーキオイルの供給を参照してください。

注：ブレーキオイルのレベルが低いことは、漏れやブレーキパッドの摩耗を意味します。認定Can-Am On-Roadディーラーまでお問い合わせください。

ブレーキオイルの継ぎ足し

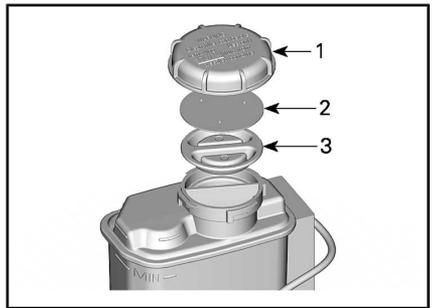
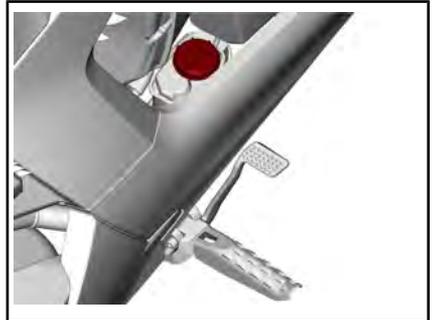
1. 右側フットペグを後方いっぱいまでずらします。
2. フィラーキャップとリザーバー上側を清掃します。



警告

ブレーキオイルシステムの汚れを防止するため、フィラーキャップとその周辺部を清掃してからフィラーキャップを取り外します。

3. フィラーキャップ、耐摩耗ワッシャーおよびダイヤフラムを取り外します。



1. フィラーキャップ
2. 耐摩耗ワッシャー
3. ダイヤフラム
4. 液をMAXレベルまで継ぎ足します。

注：ブレーキパッドを取り替えるとブレーキオイルレベルが上昇します。MAXレベルの時に取り替えると、ブレーキオイルがこぼれる恐れがあります。

注記 ブレーキオイルは塗面またはプラスチックの部品を損傷させます。こぼれた液は直ちに拭き取ります。

5. フィラーキャップ、耐摩耗ワッシャーおよびダイヤフラムを取り付けます。
6. ドライバーのフットペグとブレーキペダルのセクションで説明されているように、フットペグとブレーキペダルの位置を修正します。

ブレーキシステムの確認

前輪および後輪は油圧式ディスクタイプです。これらのブレーキは自己調整し、手動で調整する必要がありません。

警告

ブレーキペダルは、右側フットペグを移動させるたびに調整が必要になります。

ブレーキの状態を良好に保つには、メンテナンススケジュールにおける次の事項を点検します。

- 液漏れがないかブレーキシステムの全体を点検
- ブレーキペダルのスポンジ感触
- ブレーキディスクの過度の摩耗および表面の状態
- ブレーキパッドの摩耗、損傷または緩み。

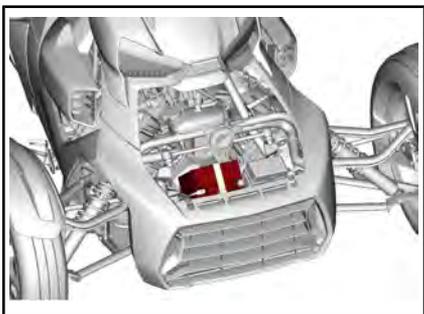
ブレーキシステムに問題がないかの確認または整備については、認定Can-Am On-Roadディーラーにご相談ください。

ブレーキシステムの整備は、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店または担当整備士に依頼してください。

バッテリー

バッテリーの位置

バッテリーは、車両の前側部分のフロントサービスカバーの下にあります。



バッテリーの充電

車両には完全に密封されている、メンテナンスフリーのバッテリーが搭載されています。電解液のレベルを調整するために水を足す必要はありません。車両が一ヶ月以上乗られていない場合

は、バッテリーを充電する必要がある可能性があります。

警告

従来の鉛蓄電池型電池は使用しないでください。従来の鉛蓄電池型電池では、バッテリー出口から酸が漏れ出す可能性があります。バッテリーのケースが割れたり損傷していたりすると、重傷の火傷を起こしかねない酸が漏れ出すことがあります。

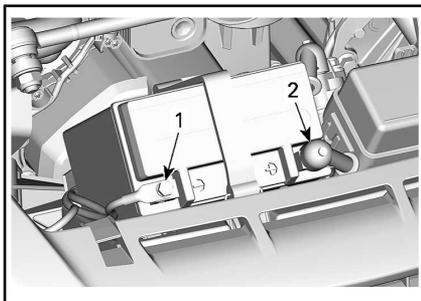
バッテリーは車両に取り付けられたまま充電することもできます。

注記 バッテリーチャージャーに付随された指示に従ってください。不適切な充電はバッテリーを損傷してしまう恐れがあります。

バッテリーを充電するには、以下の手順を踏んでください。

1. フロントサービスカバーを取り外します。
2. バッテリーのプラス端子からラバーインシュレーターを取り外します。
3. まず、赤色 (+) ケーブルを該当する端子に接続します。
4. 黒色 (-) ケーブルを該当する端子に接続します。

注記 車両の電気系統の損傷を防ぐために、必ず赤色 (+) ケーブルを最初に接続します。



1. 黒色 (+) 端子
2. 赤色 (+) 端子
5. バッテリーチャージャーを始動させます。充電時間は充電率によります。

バッテリーが充電されたら：

1. 最初に黒色 (-) ケーブルを外します。

2. そして赤色 (+) ケーブルを外します。

【注記】 車両の電気系統の損傷を防ぐために、必ず黒色 (-) ケーブルを最初に外します。

3. ラバーインシュレーターをバッテリーのプラス端子に戻します。
4. フロントサービスカバーを取り付けます。

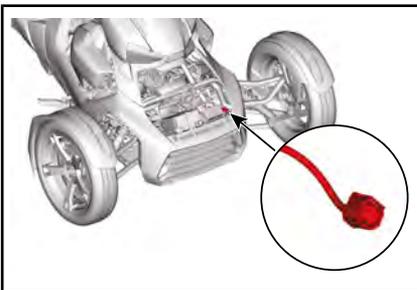
標準のバッテリーチャージャーを使用することもできます。推奨される充電率は2 Aです。バッテリーが上がってしまった場合は、車のバッテリーでジャンプスタートさせることができます（道路わきでの修理セクションを参照してください）。

自宅での充電においては、「細流」充電器を使ってバッテリーをより遅く充電させることも可能です。この種類のチャージャーはバッテリーを損傷させないで長時間接続させることができます。チャージャーの説明書に推奨されている充電時間に必ず従ってください。

車載診断 (OBD) コネクターの位置

車載診断コネクタは、車両の前側部分のフロントサービスカバーの下にあります。

接続および診断手順については、OBDメーカーの説明書を参照してください。



OBDコネクターの位置

排気システム

排気システムの確認または整備については、認定Can-Am On-Roadディーラーにご相談ください。

ヘッドライト

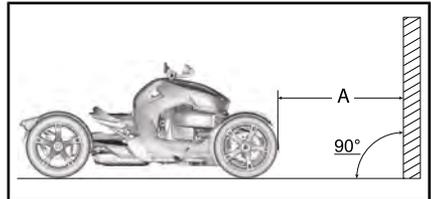
ヘッドライトの光軸の確認

ヘッドライトの光軸の確認は、車両に積載物がない状態で実施しなければなりません。

カナダおよび米国

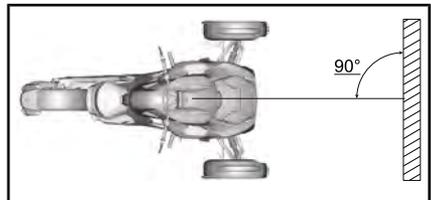
1. タイヤに正しく空気が入っていることを検証してください。右側サービスカバーの内側にあるタイヤレベルを参照してください。
2. 試験面から10m離れた位置に車両を駐車します。

車両が水平で、試験面に対して垂直になっていることを確認します。



代表例

A. 10 m



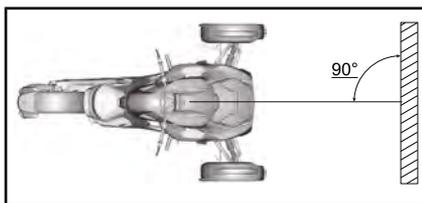
代表例

3. 次の表に従い、地面上に平行な2本の線を試験面上に描きます。

試験面に描いた線 (地面上の位置)

Ryker 600	A線	486 mm
	B線	449 mm
Ryker 900	A線	481 mm
	B線	443 mm

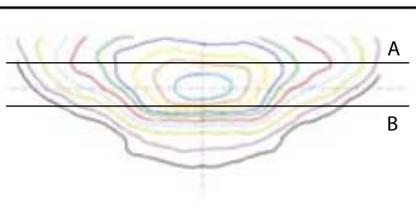
試験面に描いた線（地面上の位置）		
Ryker 900 ラリー エディ ション	A線	466 mm
	B線	429 mm



代表例

4. **ハイビーム**を選択します。
5. ヘッドライトの反射焦点（一番明るいポイント）がマーク内にある場合、ビームの光軸は正しく設定されています。

3. 次の表に従い、地面に平行な4本の線を試験面上に描きます。



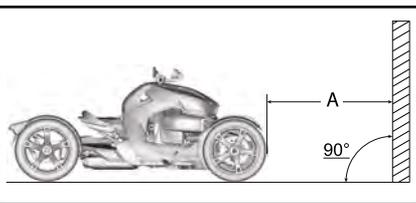
代表例 - 試験面上のヘッドライトの反射

- A線
- B線

その他のすべての国

1. タイヤに正しく空気が入っていることを検証してください。右側サービスカバーの内側にあるタイヤレベルを参照してください。
2. 試験面から10m離れた位置に車両を駐車します。

車両が水平で、試験面に対して垂直になっていることを確認します。

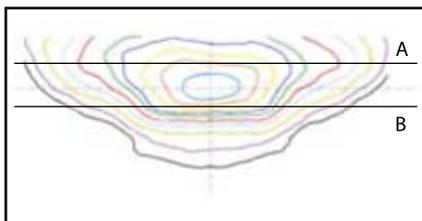


代表例

- 10 m

試験面に描いた線（地面上の位置）		
Ryker 600	A線	486 mm
	B線	449 mm
	C線	517 mm
	D線	466 mm
Ryker 900	A線	481 mm
	B線	443 mm
	C線	511 mm
	D線	461 mm
Ryker 900 ラリー エディ ション	A線	466 mm
	B線	429 mm
	C線	497 mm
	D線	446 mm

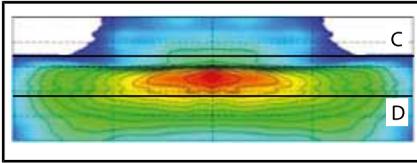
4. **ハイビーム**を選択します。
5. ヘッドライトの反射焦点（一番明るいポイント）がA線とB線の間にある場合、ビームの光軸は正しく設定されています。



代表例 - 試験面上のヘッドライトの反射

- A線
- B線

6. ロービームを選択します。
7. ヘッドライトの反射焦点（一番明るいポイント）がC線とD線の間にある場合、ビームの光軸は正しく設定されています。



代表例 - 試験面上のヘッドライトの反射

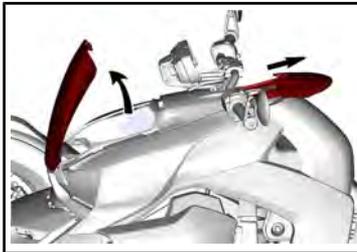
C線
D線

ヘッドライト光軸の調整

ヘッドライトの光軸の調整は、車両に積載物がない状態で実施しなければなりません。

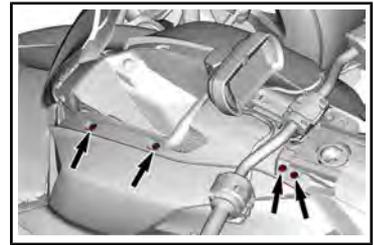
カナダおよび米国

1. サイドフェアリングを取り外します。
 - 1.1 グローブボックスを開き、フューエルファイラードアを後方にスライドします。



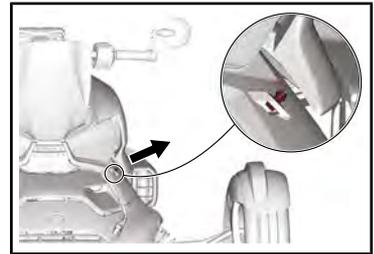
代表例

- 1.2 サイドフェアリングを固定しているプラスチックリベットを取り外して保管しておきます。



代表例

- 1.3 前下側のコーナー部を引き、固定タブを外します。

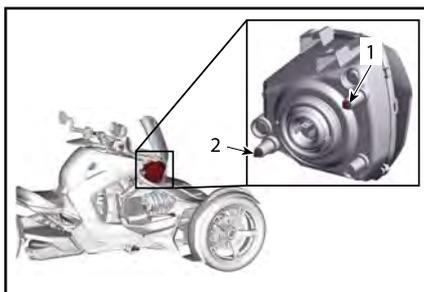


- 1.4 サイドフェアリングを取り外します。
2. 右サービスカバーを開きます。サービスカバーのセクションを参照してください。
3. 車両に付属しているドライバーを使って、ヘッドライトハウジングにあるヘッドライトアジャスターを軽く回して各ヘッドライトを調節します。



警告

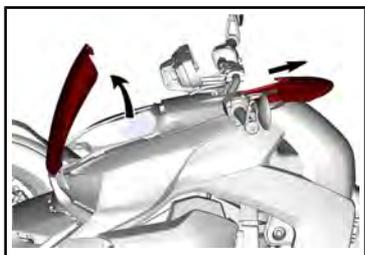
両方のヘッドライトを均等に調整します。



1. 水平（左右）方向調整用ヘッドライトアジャスター
2. 垂直（上下）方向調整用ヘッドライトアジャスター
4. 完了したら、取り外した部品をすべて取り付けます。

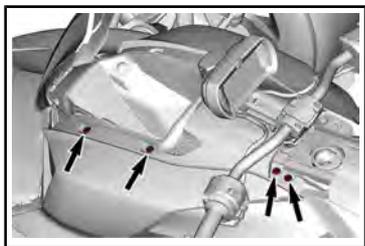
その他のすべての国 ハイビーム

1. サイドフェアリングを取り外します。
 - 1.1 グローブボックスを開き、フューエルフィルタードアを後方にスライドします。



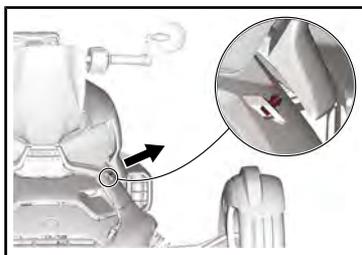
代表例

- 1.2 サイドフェアリングを固定しているプラスチックリベットを取り外して保管しておきます。



代表例

- 1.3 前下側のコーナー部を引抜き、固定タブを外します。

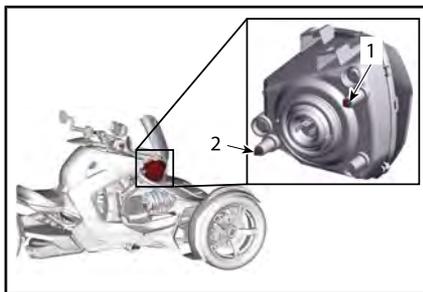


- 1.4 サイドフェアリングを取り外します。

2. 右サービスカバーを開きます。サービスカバーのセクションを参照してください。
3. 車両に付属しているドライバーを使って、ヘッドライトハウジングにあるアジャスターを軽く回して各ヘッドライトを調節します。

警告

両方のヘッドライトを均等に調整します。



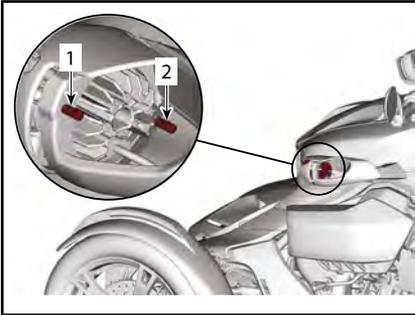
1. 水平（左右）方向調整用アジャスター
2. 垂直（上下）方向調整用アジャスター
4. 完了したら、取り外した部品をすべて取り付けます。

ロービーム

1. 車両に付属しているドライバーを使って、プロジェクターハウジングにあるアジャスターを軽く回して各プロジェクターを調節します。

警告

両方のヘッドライトを均等に調整します。



1. 水平 (左右) 方向調整用アジャスター
2. 垂直 (上下) 方向調整用アジャスター

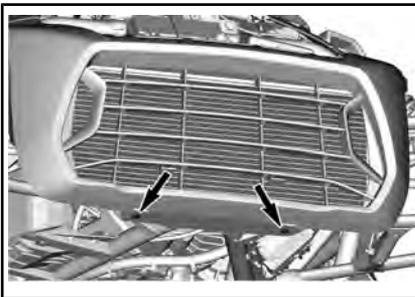
ラジエーター

ラジエーターフィンの清掃

注記 (洗車場などで使用されている) **高圧洗浄機**を使用しないでください。ラジエーターフィンを損傷する恐れがあります。

ラジエーターにアクセスするには、フロントフェイスアを取り外します。

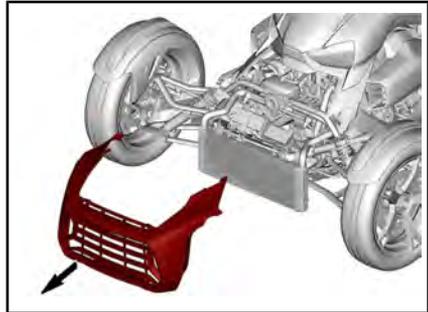
1. フロントサービスカバーを取り外します。サービスカバーのセクションを参照してください。
2. フロントフェイスアの下にあるねじを取り外します。



3. フロントフェイスアエクステンションの端を持ち上げて、リア固定タブを解除します。



4. フロントフェイスアを前方に引き、車両から取り外します。



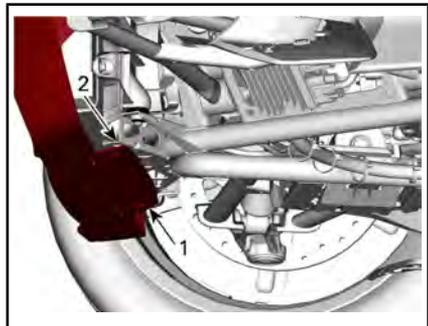
5. 異物や埃を除去します。

注記 (洗車場などで使用されている) **高圧洗浄機**を使用しないでください。ラジエーターフィンを損傷する恐れがあります。

6. フロントフェイスアを取り付けます。

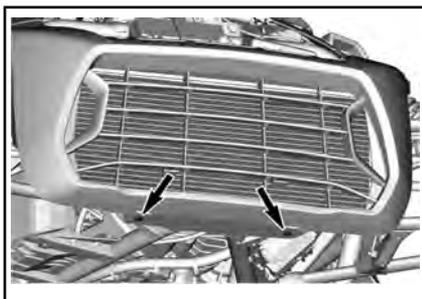
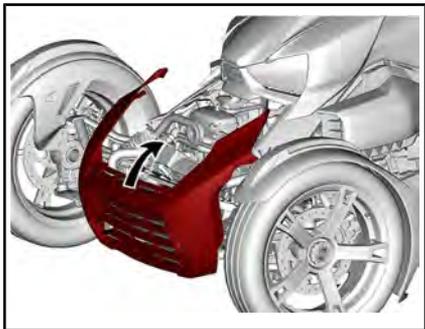
フロントフェイスアの取り付け

1. フロントフェイスアの下側ストリップをラジエーターサポートに掛けます。



1. フロントフェイスアの下側ストリップ
2. ラジエーターサポート

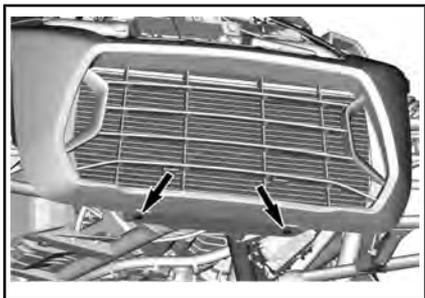
2. フロントフェイスアの上側部分を車両の方に傾けます。



3. フロントフェイスアエクステンションの両端を上げます。



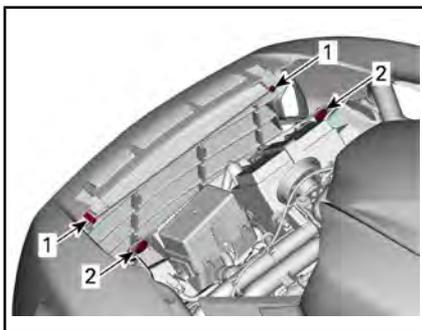
4. フロントフェイスアの下のをねじを取り付けて、手だけで締め付けます。



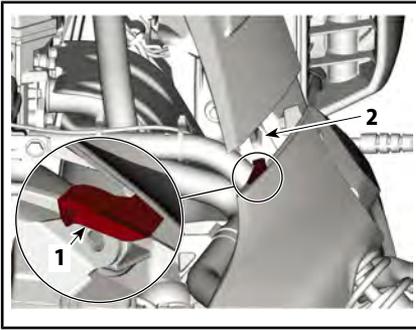
5. フロントフェイスアの下のをねじを規定のトルクで締め付けます。

締め付けトルク	
フロントフェイスアのねじ	3.5 N·m ± 0.5 N·m

6. フロントポストがラバーグロメットに正しく挿入されていることを確認します。



1. フロントポスト
 2. ラバーグロメット
7. フロントフェイスアを所定位置に押し込みます。
8. 上側アライメントポストを上側フレームスロットに差し込みます。

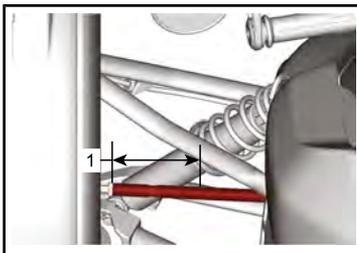


左側の図

1. 上側アライメントポスト
2. 上側フレームスロット
9. フロントポストがラバーグロメットに正しく挿入されていることを確認します。
10. フロントフェイスアエクステンションの両端を放します。固定タブが上側フレームの下になければなりません。

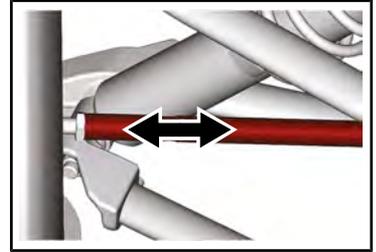
ステアリングシステム

1. ハンドルバー調整機構部がしっかり固定されているか確認します。必要な場合は、固定強さを調整してください。装備のセクションのロッキングレバーの固定強度の調整を参照してください。
2. ハンドルバーを動かして、異常な遊びがないか確認します。
3. タイロッドが曲がっていないか確認します。
4. タイロッド端部が緩んでいないか確認します。
 - 4.1 端部近くでタイロッドをつかみます。

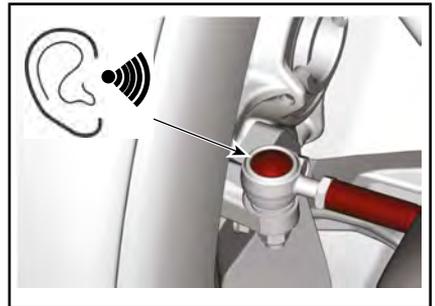


1. タイロッドのこの部分をつかむ

- 4.2 タイロッドを軸方向に動かしてみます。



- 4.3 若干の遊びやタイロッドのボールから聞こえる音に注意してください。



5. 前輪および後輪に遊びがないか確認します。

ステアリングシステムのコンポーネントの問題が見つかった場合は、認定 Can-Am On-Road ディーラー、修理店または担当整備士に修理を依頼してください。

車両のお手入れ

洗車

注記 (洗車場などで使用されている) 高圧洗浄機を使用しないでください。車両の一部を損傷する恐れがあります。

車両を清掃するには：

1. 汚れを落とすために水でよく洗車してください。
2. 柔らかいきれいな布と、モーターサイクルや自動車に特別に配合された洗剤などの中性洗剤に水を混ぜた溶液で洗車してください。

注：ウィンドシールドやフロントパネルに付着した虫を取り除くには、温かい水が効果的です。

3. 洗車中にグリースやオイルが付着していないか点検します。XPS ROADSTER WASH (P/N 219 701 703) または中性の自動車用脱脂洗剤を使用できます。必ずメーカーの使用上の注意に従ってください。
4. セーム皮や柔らかいタオルで車両から水を拭き取ります。

マット仕上げのある車両

注記 一般的な塗料用に使用されるワックス、ディーツェルスプレーなどの製品を使用しないでください。研磨剤で洗浄しないでください。機械クリーナーまたはポリリッシャーを使用せず、表面をあまり強く擦らないでください。

マット仕上げの場合、艶消し塗料にとって安全で刺激のない洗剤と柔らかいウォッシュミットを使って手洗います。虫などの異物を取り除くには、柔らかい塗布器およびマイルドの溶剤を使用します。溶剤をかけておき、少し経ったら拭き取ります。軽く擦ります。

この塗装仕上げでは、より頻繁な洗車が必要になる場合があります。

車両の保護

プラスチックの部品には非研磨ワックスを塗布します。

注記 マット仕上げの表面 (マット塗装仕上げを含む) はワックスしたり、研磨しないでください。

表面	推奨
艶出し塗装仕上げ	クリアコート塗料にも安全な研磨剤の入っていないワックスのみを使用してください
マット塗装仕上げ	ワックスがけをしないでください。
マット仕上げ	

警告

シートにビニールまたはプラスチック用の保護剤を塗布しないでください。これらの製品はシートを滑りやすくするため、運転中にドライバーがシート上で安定しないという問題が生じる恐れがあります。

保管、シーズン前の準備

保管

冬の時など、車両が最低でも4ヶ月間運転されていない場合は、車両を良い状態に保つには適切に保管する必要があります。

BRPは、車両を保管する前に、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、または担当整備士に保管準備を依頼するよう推奨しています。または、ご都合の良い時に、次の基本手順を行ってください。

1. 車両を点検し、必要に応じて認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備、修理、または交換を依頼してください。
 - 米国およびカナダのお客様の場合、保証請求の詳細は、保証のセクションにある米国EPA排出ガス性能保証を参照してください。
2. エンジンオイルとフィルターを交換します。認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備、修理、または交換を依頼してください。
3. エンジンクーラントおよびブレーキオイルのレベルを確認します。
4. 燃料タンクに充填し、燃料安定剤を添加してエンジンを作動させます。燃料安定化剤の容器の指示に厳密に従ってください。
5. すべてのタイヤを推奨される圧力まで空気を入れます。
6. 車両を掃除します。
7. 車両に透過性カバーをします（防水シートなど）。プラスチックや同等の浸透性のない、コーティングされた物質は、空気の流れを遮断し、熱と水分が中に蓄積されてしまうため、使用を避けてください。
8. 車両は直射日光のない、毎日の温度変化があまりない乾いた場所に保管してください。
9. 1か月に一度はバッテリーを充電します。2Aの推奨充電速度で、低速充電を行います。バッテリーの取り外しは不要です。

シーズン前の準備

保管期間後、運転前に車両を整えて点検する必要があります。以下の設定や入力を行います。

1. 車両を覆っているシートを外し、掃除します。
2. 必要であればバッテリーを充電します。
3. 走行前の点検を行い、低速度で車両を試乗します。

**このページは
意図的に空白になっています**

道路脇での修理

診断ガイドライン

注記 車両を移動させる必要がある場合は、牽引しないでください。牽引により車両は深刻な損傷を受けます。詳細については、このセクションの**車両の移送**をご参照ください。

この車両には、**車載診断 (OBD)** コネクタが装備されています。これにより、車両は自己診断を行って電子システムの不具合を報告できるようになります。

接続および診断手順については、OBDメーカーの説明書を参照してください。

エンジンを停止してRF D.E.S.S.キーを取り外した後に車両のブザーが鳴り続ける

1. パーキングポジションレバーが掛かっていません。
 - 同レバーをロック位置に動かします。
2. シフトレバーがFまたはR位置になっていません。
 - シフトレバーをFまたはR位置にします。

エンジ人がまったく回らない

1. 多機能ゲージクラスターにスクロールされている安全性メッセージが確認されていない。(安全性メッセージが現れない場合であっても)。
 - 右側サービスカバーを開き、安全カードを読みます。
 - スロットルを奥の方へひねり(手首を上げて)安全メッセージを確認します。
2. エンジンストップスイッチがOFFの位置にある。
 - エンジンストップスイッチがONの位置にあることを確認してください。
3. バッテリーが上がっているか、バッテリーの接触不良。
 - 充電されているか確認してください。必要であれば充電してください(メンテナンス手順を参照してください)。
 - バッテリーの接続を確認します(メンテナンスの手順を参照してください)。

4. ヒューズ切れ。
 - ヒューズの状態を確認します(ヒューズの交換を参照してください)。
5. RF D.E.S.S.キーが読み取れない。
 - D.E.S.S.キーを正しく取り付け直します。
 - この車両に対して既にプログラムされている別のD.E.S.S.キーで試してみます。

エンジンは低回転で回るが、始動しない

1. 燃料残量が低い。
 - 燃料タンクを満タンにしてください(基本手順を参照してください)。
2. バッテリーが弱い。
 - 充電されているか確認してください。必要であれば充電してください(メンテナンス手順を参照してください)。
 - フロントストレージコンパートメントのバッテリーの接続を確認してください。
3. エンジンマネージメントの問題。
 - エンジンの始動中にエンジンインジェクターランプがONであるか確認します。点検と修理について、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、担当整備士にお問い合わせください。

エンジンが加速しないまたは出力が低い

1. エンジンの慣らし期間が完了していません。
 - 慣らし期間を完了させてください。
2. エンジンエアフィルターが詰まっているか汚れている。
 - エアフィルターを確認し、必要に応じて交換してください。
 - エンジンエアフィルターハウジングに堆積物がないか確認する。
3. ドライブプーリーとドリブンプーリーが整備を必要としています。
 - 認定Can-Am On-Roadディーラーにお問い合わせください。

4. エンジンがオーバーヒートする。
 - 下記のエンジンのオーバーヒートのセクションを参照してください。
5. ドライブベルトが摩耗して薄すぎる。
 - ドライブベルトを交換します。
— ドライブベルトの幅が、本来の幅よりも3 mm以上狭くなった場合、車両の性能に影響を与えます。
6. 燃料不足
 - 燃料ポンププレフィルターが汚れているか、詰まっています。点検と修理について、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、担当整備士にお問い合わせください。
7. 同乗者シートキットが取り付けられた状態で同乗者がいない場合、左側フットペグが下がっている場合があります。
 - 左側の同乗者フットペグを上げて閉じます。

エンジンのオーバーヒート

1. クーリングシステムのクーラントレベルが低い。
 - クーラントレベルを点検し、充填します。「メンテナンス手順」を参照してください。認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備、修理、または交換を依頼してください。米国およびカナダのお客様の場合、保証請求の詳細は、保証のセクションにある米国EPA排出ガス性能保証を参照してください。
2. 冷却ファンが作動していない。
 - 冷却ファンが固着していないこと、および正常に動作していることを確認します。
 - ファンのヒューズを確認してください。道路脇での修理のセクションのヒューズの位置を参照してください。

多機能ゲージのメッセージ

車両状態の重要な情報は多機能ゲージに表示されます。エンジンを始動させる時は必ずインジケータランプや特別なメッセージがゲージに現れているか必ず確認します。

注：二つの異なる警告の組み合わせが発生可能です。

BRPIはLIMPHOMEの警告が現れた場合は、車両を移送することを推奨します。応急帰還モードの状態でも車両を運転する場合は、極端な操作は避け、運転を再開する前に直ちに最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに搬入し、整備を依頼してください。応急帰還モードの状態では、エンジン回転数が制限されるため、車両速度も制限されます。

インジケータランプ（異常）

インジケータランプ	デジタル警告	原因	対策
なし	BAD KEY（不正なキー）	不正または不良なキー	- 車両に合ったキーを使用するか、または認定Can-Am On-Roadディーラーにお問い合わせください。
 ON	HIGH ENGINE TEMPERATURE（エンジン温度上昇）	エンジンがオーバーヒートしている	- エンジンを停止し、冷めるまで待ちます。 - 漏れがないか点検します。 - クーラントのレベルを確認し、調整します（メンテナンスの手順を参照）。
 ON	LO BATT VOLT または HI BATT VOLT	バッテリーの電圧が低い/高い	- バッテリーを充電してください（メンテナンスの手順を参照）。 - バッテリー接続部を確認します。 - 最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
 ON	ABS FAULT	ABS故障。 ABSが機能しない	- 最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
 ON	VSS FAULT（VSS異常）	VSSの異常	- 最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。

インジケータランプ (異常)			
インジケータランプ	デジタル警告	原因	対策
 ON	EBD FAULT	EBDの故障	- 最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
	BRAKE FAILURE (ブレーキ故障)	低ブレーキオイルレベル、またはセンサーが故障	- ブレーキオイルの漏れがないか確認してください。 - ブレーキオイルのレベルを確認し、調整します (メンテナンスの手順を参照)。
 点滅 + ブザー音 (キーオフ時)	なし	キーがオフのときにパーキングポジションレバーがロックされていません。	- パーキングポジションレバーをロック位置に動かします。
 ON	CHECK ENGINE (エンジン点検の必要あり)	エンジンマネージメントコンポーネントの異常	- エンジンを停止します。クラスターを完全に遮断しなければなりません。
 点滅	LIMP HOME MODE (応急帰還モード)	主要エンジンマネージメントコンポーネントまたはVSSの異常	- 最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
 ON	なし	油圧の低下	- オイル漏れがないか確認します。 - オイルのレベルを確認し、調整します (メンテナンスの手順を参照)。
 ON	各種メッセージ - 不具合のコンポーネントに応じてメッセージが変わります。		

以下の状況に対する解決策

RF D.E.S.S.キーの紛失

車両を始動するにはRF D.E.S.S.が必要で
す。

走行中にキーを紛失した場合、エンジ
ンは停止したり失火せずに動作し続
け、「CHECK KEY (キーの確認)」の
メッセージが表示されます。エンジ
ンを停止することはできますが、車両を
再始動するにはスペアキーが必要で
す。

ディーラーに問い合わせた新しいキー
を購入し、プログラムを依頼してくだ
さい。

タイヤのパンク

タイヤのトレッドに深刻な刺し傷や切
り傷があり、完全にパンクしている場
合は、車両を最寄りのCan-Am On-
Roadディーラーに搬入してください。
移送の指示については、このセクショ
ンの車両の移送を参照してください。

釘や石によりタイヤが軽いパンクを起
こしており、完全にパンクしていない
場合は、タイヤは一時的に修理するこ
とができます。一時的にタイヤを修理
するには、自己膨張型タイヤシーラー
またはタイヤプラグ修理キットを使用
します。タイヤシーラーや修理キット
に付属のメーカーの説明書に従い、
できるだけ早くCan-Am On-Roadディ
ーラーに修理または交換を依頼してく
ださい。

タイヤが一時的に修理された後は、低
速度で慎重に運転し、交換または完全
に修理されるまでタイヤの空気圧を常
に確認してください。

バッテリー上がり

バッテリーが上がっていたり、エンジ
ンをかけるには電圧が低い場合は、
ジャンプスタートを行います。

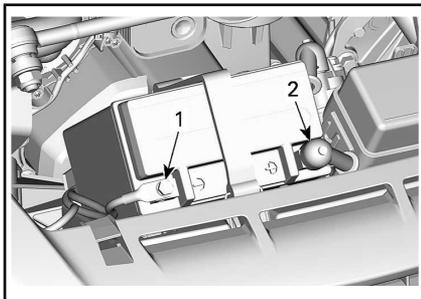


警告

ジャンプスタートの手順に従って
ジャンパーケーブルを接続します。
ジャンパーケーブルが適切に接続さ
れていないと、バッテリーから発火
する恐れのある爆発性ガスが漏れる
ことがあります。

注記 上がったバッテリーを切り離さ
ないでください。

1. 救援車を、バッテリーが上がった
車両の前側付近に駐車します。
2. フロントサービスカバーを取り
外します。サービスカバーのセ
クションを参照してください。
3. プラス端子カバーを取り外し、
バッテリーポストから腐食物を
除去してから、ジャンパーケー
ブルを接続します。



1. 黒色 (+) 端子
2. 赤色 (+) 端子
4. 最初に、赤色ジャンパーケー
ブルの端を、上がったバッテリー
のプラス (+) 端子に接続しま
す。
5. 赤色ジャンパーケーブルのも
う一方の端を、救援車のバッテ
リーのプラス (+) 端子に接続し
ます。
6. 黒色ジャンパーケーブルの端
を、上がったバッテリーのマイ
ナス (-) 端子に接続します。
7. 黒色ジャンパーケーブルのも
う一方の端を、救援車のバッテ
リーのマイナス (-) 端子に接
続します。
8. 通常の方法で車両を始動しま
す。エンジンが始動しない場合
は、始動モーターと救援車のバ
ッテリーを保護するために、数分
待つてから再試行します。

注：それでも始動しない場合は、始動
システムに問題がある可能性があります。
この車両を認定Can-Am On-Road
ディーラーに移送し（このセクショ
ンの車両の移送を参照）、修理を依頼
してください。

9. 車両が始動したら、両車両のエンジンをアイドリングで数分間作動させたままにしてから、ジャンパーケーブルを切り離します。
10. 接続時とは逆の順序でジャンパーケーブルを切り離してください。

注：ジャンプスタートの直後、またはジャンパーケーブルを取り外した後にエンジンが停止してしまう場合は、充電システムに問題がある可能性があります。この車両を認定Can-Am On-Roadディーラーに移送し（車両の移送のセクションを参照）、修理を依頼してください。

11. できるだけ早くバッテリーチャージャーを使用するか、（メンテナンスの手順を参照）または資格のある修理屋によって完全に充電してもらってください。

ヒューズの交換

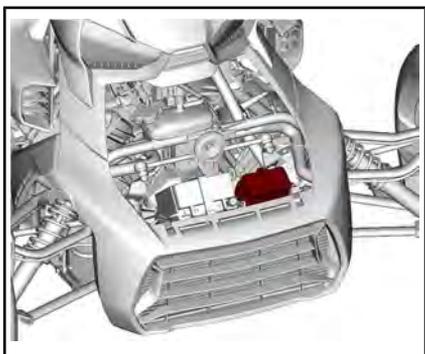
車両の電気用品が作動しなくなった場合は、飛んだヒューズを確認し、必要であれば交換します。

電気システムの故障が発生した場合は、認定Can-Am On-Roadディーラーに整備を依頼してください。

ヒューズの位置

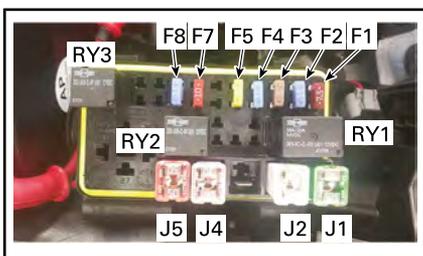
ヒューズボックスは、車両の前側部分のバッテリーの隣にあります。

ヒューズボックスにアクセスするには、前部サービスカバーを取り外します。サービスカバーのセクションを参照してください。



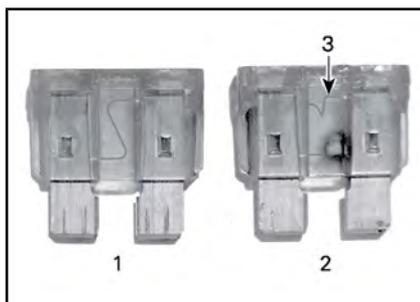
説明		定格
F7	電子モジュール	10 A
F8	スタートボタン/クラスタ	15 A
J1	VCMポンプ	40 A
J2	VCM/バルブ	25 A
J3	空き	-
J4	メイン	30 A
J5	バッテリー	50 A
RY1	メインリレー	
RY2	冷却ファンリレー	
RY3	ヘッドランプリレー	

ヒューズボックス項目詳細



ヒューズの交換

1. エンジン进行停止します。
2. ヒューズを取り出します。
3. フィラメントが溶けていないか確認します。



1. 良好なヒューズ
2. 飛んでいるヒューズ
3. 溶融フィラメント
4. ヒューズを同じ定格のものと同交換します。スペアヒューズはヒューズボックスカバーにあります。

説明		定格
F1	クラクション/ハザード	7.5 A
F2	ヘッドランプ	15 A
F3	USB/ACC	5 A
F4	冷却ファン	15 A
F5	燃料ポンプ/エンジン	20 A
F6	空き	-

 **警告**

より高定格のヒューズを使用すると、深刻な損傷を招き、火災の原因になります。

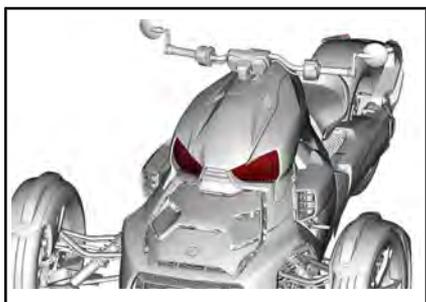
5. ヒューズボックスのカバーを閉じるには、カバーをヒューズにかぶせるように位置付け、カチッと音がするまで慎重に押し下げます。
6. ヒューズのサービスカバーを閉じるには、カバーをヒューズボックスにかぶせるように位置付け、ヒューズのサービスカバーが閉まるまで慎重に押し下げます。
7. バスケットを取り付け、フロントストレージコンパートメントを閉めます。

バルブの交換

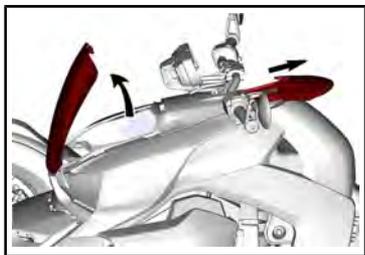
下記のライトはLED（発光ダイオード）で構成されています。LEDは信頼性の高い技術です。万が一作動しない場合は、認定Can-Am On-Roadディーラーに点検を依頼してください。

- 方向指示灯
- ブレーキライト
- ポジションライト
- ナンバープレートライト
- リバースライト（オーストラリアモデルのみ）
- ハザード警告点滅灯（オーストラリアおよびロシアモデル）

ハイ/ロービームヘッドライトバルブ（北米内）

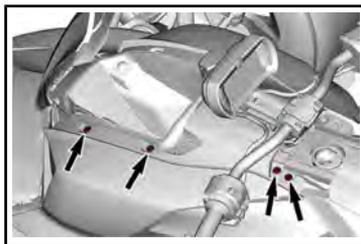


1. サイドフェアリングを取り外します。
 - 1.1 グローブボックスを開き、フューエルフィルタードアを後方にスライドします。



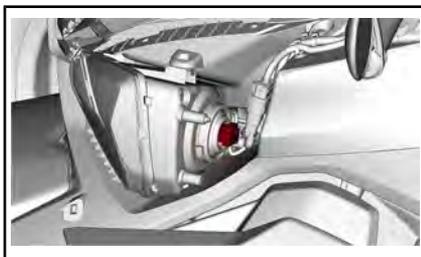
代表例

- 1.2 サイドフェアリングを固定しているプラスチックリベットを取り外して保管しておきます。



代表例

- 1.3 前下側のコーナー部を引き、固定タブを外します。
- 1.4 サイドフェアリングを取り外します。
2. ヘッドライトコネクタを外します。



3. ヘッドライトバルブカバーを取り外します。



4. バルブストッパーを反時計方向に回してロックを解除します。

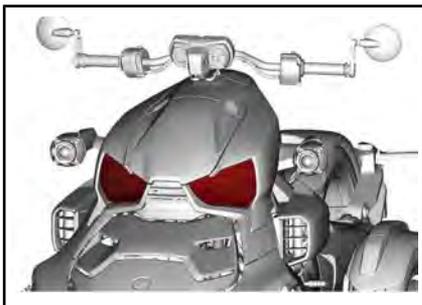


5. 不具合のバルブを取り外します。
6. 新品のバルブを取り付けます。バルブのタブをハウジングの凹みに揃えます。

注記 寿命が短くなるので、ハロゲン電球のガラス部分を絶対に素手で触らないでください。ガラス部分を触ってしまった場合、イソプロピルアルコールおよび清潔なウエスで清掃します。

7. バルブストッパーを時計方向に回して、バルブを所定位置に固定します。
8. 取り外しとは逆の順序で、すべての部品を正しく取り付けます。

ハイビームヘッドライトバルブ (北米外)

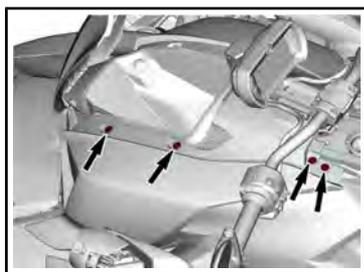


1. サイドフェアリングを取り外します。
 - 1.1 グローブボックスを開き、フューエルフィルタードアを後方にスライドします。



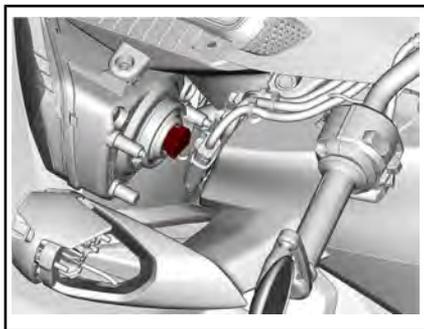
代表例

- 1.2 サイドフェアリングを固定しているプラスチックリベットを取り外して保管しておきます。

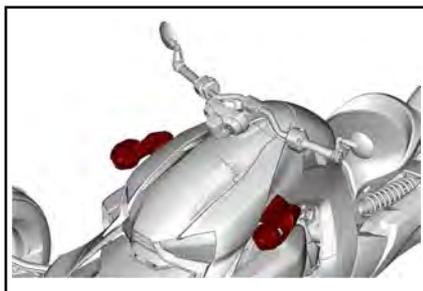
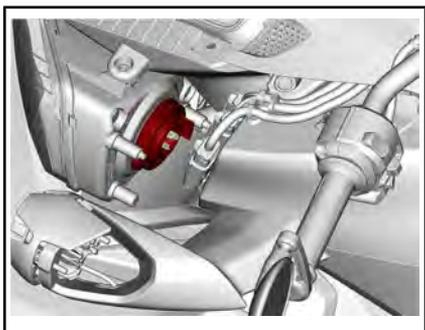


代表例

- 1.3 前下側のコーナー部を引き、固定タブを外します。
- 1.4 サイドフェアリングを取り外します。
2. ヘッドライトコネクタを外します。



3. ヘッドライトバルブカバーを取り外します。



4. バルブストッパーを反時計方向に回してロックを解除します。



5. 不具合のバルブを取り外します。
6. 新品のバルブを取り付けます。バルブのタブをハウジングの凹みに揃えます。

注記 寿命が短くなるので、ハロゲン電球のガラス部分を絶対に素手で触らないでください。ガラス部分を触ってしまった場合、イソプロピルアルコールおよび清潔なウエスで清掃します。

7. バルブストッパーを時計方向に回して、バルブを所定位置に固定します。
8. 取り外しとは逆の順序で、すべての部品を正しく取り付けます。

ロービームヘッドライトプロジェクター（北米外）

ロービームプロジェクター内のバルブは交換できません。万が一作動しない場合は、認定Can-Am On-Roadディーラーに点検を依頼してください。

車両の移送

車両を移送する必要がある場合は、適切なサイズと容量のプラットフォームで移送してください。

注意 車両を押す必要がある場合は、ブレーキペダルをいつでも踏めるように右側から押します。車両を後方に引っ張る場合は、足元が前輪によってひかれないように注意します。

注記 この車両は牽引しないでください。牽引すると車両の駆動システムに深刻な損傷を与える恐れがあります。

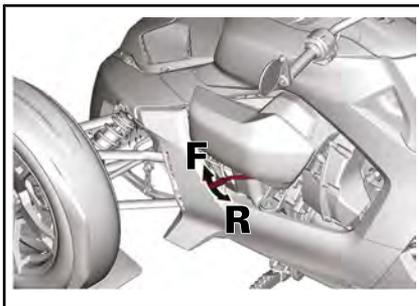
注記 車両を縛り付けるのにチェーンの使用は避けてください。— 表面の仕上げやプラスチックのコンポーネントを損傷させる恐れがあります。

注記 フロントフェイスアを必ず輸送車両の方に向けた状態で、車両を輸送してください。

牽引または移送サービスにお問い合わせする場合は、車両を安全に持ち上げ、ストラップを縛り付けるために長物トレーラー、導板またはパワーランプがあるか尋ねてください。本セクションで記載の通りに車両を適切に移送してください。

車両を手作業で載せるには

1. トランスミッションレバーが前進位置になっていることを確認します。



F = 前進
R = 後進

2. パーキングポジションレバーを解除します。
3. 車両をトレーラーまたはランプの上まで押して移動します。
4. パーキングポジションレバーを掛けます。

5. それぞれのホイールのリムにストラップを通し、これをトレーラーまたはランプにしっかり固定します。

注記 車両の損傷を防止するため、車両を固定しようとして他の取り付けポイントを使用しないでください。



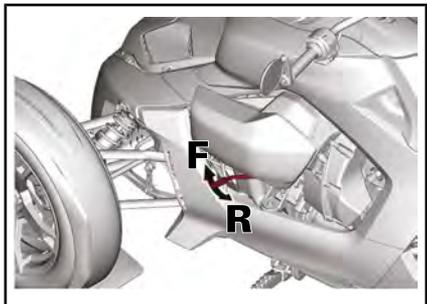
前輪



後輪

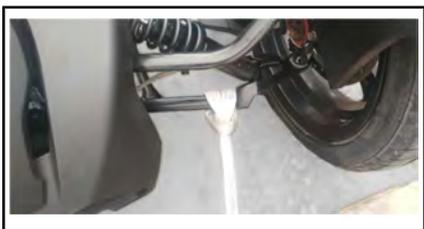
ウィンチを使用して車両を載せるには

1. トランスミッションレバーが前進位置になっていることを確認します。



F = 前進
R = 後進

2. ストラップを各ロアサスペンションアームに取り付けます。



3. ストラップをウィンチケーブルに取り付けます。

注記 車両正面の損傷を防止するため、十分長いストラップを使用してください。



4. パーキングポジションレバーを解除します。
5. ウィンチを作動させて、車両をトレーラーまたはランプの上まで引きます。
6. パーキングポジションレバーを掛けます。
7. ウィンチを外して、ロアサスペンションアームからストラップを取り外します。

警告

絶対にウィンチを使用して車両を固定しないでください。

8. それぞれのホイールのリムにストラップを通し、これをトレーラーまたはランプにしっかり固定します。

注記 車両の損傷を防止するため、車両を固定しようとして他の取り付けポイントを使用しないでください。



前輪



後輪

技術情報

車両の識別

車両の主な構成要素（エンジンやフレーム）は、それぞれ異なる製造番号で識別されます。保証を受けるときや、無くなった車両を探すときなどに、これらの番号を確認しなければならない場合があります。これらの番号は、ディーラーが保証請求を正しく行う際に必要となります。車両のすべてのシリアル番号を記録し、保険会社に提出すること強く推奨します。

車両識別番号

カナダおよび米国モデル



車台番号ラベル

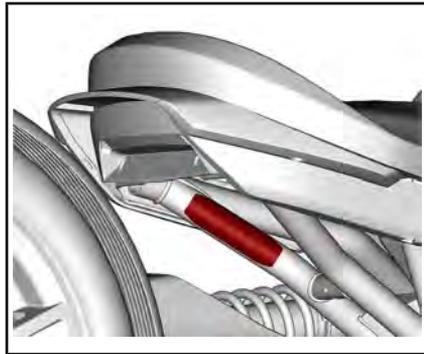
1. VIN (車両識別番号)
2. モデル番号

その他の全モデル



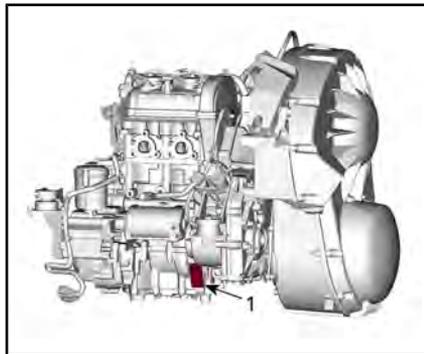
代表例 - 車両シリアル番号ラベル

1. VIN (車両識別番号)
2. モデル番号



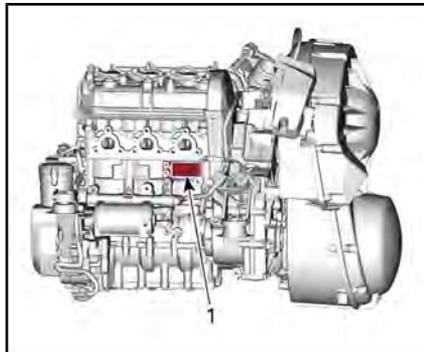
代表例 - シート下の左下リアアチューブに貼り付け

エンジン識別番号



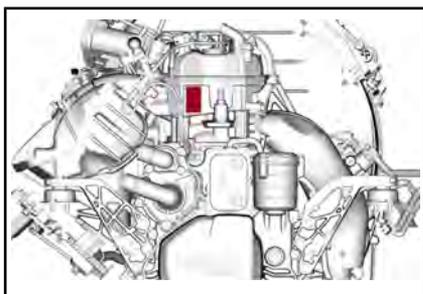
600 ACEエンジン

1. EIN (エンジン識別番号) の位置



900 ACEエンジン

1. EIN (エンジン識別番号) の位置
シリンダーヘッドの前には2つ目のEINもあります。



騒音エミッションコントロールシステム規制

騒音制御システムを改ざんすることは禁止されています。

米国連邦法およびカナダ州法によって、以下の行動またはそれに起因するものが禁止される場合があります。

1. 新しい車両に騒音コントロールを目的として最終購入者への販売または納入以前または使用中に組み込まれた、機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても整備、修理、交換以外を目的として取り外す、または作動不能にすること、または
2. これらの機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても取り外し、または作動不能にした後に、車両を使用すること。

これらの行動の中で、改ざんとみなされるものは、以下のリストに掲載されている行動です。

1. マフラーまたはエンジン排気ガスの排出を処理するいかなるエンジン部品の取り外し、改造または穴あけ。
2. 吸気システムのいかなる部分の取り外し、改造または穴あけ。
3. 車両の稼働部品、または排気または吸気システムの部品を、非準拠部品と交換すること。
4. 適切な整備をしないこと。

無線周波数デジタルコード化されたセキュリティシステム（無線周波数D.E.S.S.キー）

この装置は、FCC（米国連邦通信委員会）第15部およびIndustryCanada（カナダ産業省）ライセンス免除RSS基準に準拠しています。操作は、下記の2つが前提条件となります。(1)この装置は干渉を発生させません。また、(2)この装置は、装置に望ましくない動作を発生させる恐れのある干渉を含めて、あらゆる干渉に順応する必要があります。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:(1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

コンプライアンス責任者によって明白に承認されていない変更や改良がされた場合、ユーザーが機器を操縦する権限が無効になる場合があります。

IC: 11538A-246416

FCC ID: 2ABBF-246416

ユーラシア経済連合のマークのための
空白ページ（該当の場合）

仕様

製品の品質と技術革新への継続的なコミットメントを果すために、BRPIは以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、その製品の設計や仕様の変更、追加、または改良をいつでも行う権利を留保します。

エンジン - 600 ACE	
エンジンタイプ	ROTAX® 600 ACE、4-ストローク、ダブルオーバーヘッドカムシャフト (DOHC)、ドライサンプ、水冷
気筒数	2
バルブ数	8バルブ (自己調整型油圧バルブリフター)
ボア	74 mm
ストローク	69.7 mm
排気量	599 cm ³
圧縮比	12:1
最大馬力/回転数	6,750 RPM
排気システム	「2-in-1」タイプのマニホールド、触媒コンバーター付きマフラー
エアフィルター	ペーパーエレメント

エンジン - 900 ACE	
エンジンタイプ	ROTAX 900 ACE、4-ストローク、ダブルオーバーヘッドカムシャフト (DOHC)、ドライサンプ、水冷
気筒数	3
バルブ数	12バルブ (自己調整型油圧バルブリフター)
ボア	74 mm
ストローク	69.7 mm
排気量	899 cm ³
圧縮比	11:1
最大馬力/回転数	7,750 RPM

エンジン - 900 ACE	
排気システム	「3-in-1」タイプのマニホールド、触媒コンバーター付きマフラー
エアフィルター	ペーパーエレメント

潤滑システム		
タイプ	ドライサンプ	
オイルフィルター	交換式カートリッジオイルフィルター	
エンジンオイルタンク容量（エンジンオイルおよびフィルター交換時）	Ryker 600	2.5 L
	Ryker 900	2.8 L
エンジンオイル	メンテナンス手順のセクションの推奨エンジンオイルを参照	

クーリングシステム		
冷却液タイプ	メンテナンス手順のセクションの推奨エンジンクーラントを参照	
容量	Ryker 600	2.2 L
	Ryker 900	2.45 L

燃料システム			
燃料供給	多点式燃料噴射、46 mm スロットルボディ		
燃料ポンプ	電動（燃料タンク内）		
燃料	タイプ	無鉛レギュラーガソリン 基本手順のセクションの燃料要件を参照	
	最低オクタン価	北米	87 (R+M)/2
		北米以外	92 RON
	推奨オクタン価	北米	91 (R+M)/2
北米以外		95 RON	
燃料タンク容量	20 L		

燃料システム		
燃料低下インジケーターが点灯したときの燃料残量		± 3.8 L
アイドリング回転数	Ryker 600	1,100 rpm ± 50 (調整不可)
	Ryker 900	850 rpm ± 50 (調整不可)

電装システム		
発電機出力		400 W (7,000 rpm時)
スパークプラグ	タイプ	NGK CR8EBまたは同等品
	ギャップ	0.7 mm ~ 0.8 mm
バッテリー	タイプ	YTX14L、メンテナンスフリーSLA
	電圧	12ボルト
	公称定格	12 A・h
ヘッドライト	CA/US	H4、12 V 55/60 W
	その他の国	低：プロジェクターLED ハイ：H4、12 V 55/60 W
ライト (方向指示灯、ブレーキ、ポジション、ナンバープレート)		LED
リバースライト	オーストラリア	LED
ヒューズおよびリレー		ヒューズの交換のセクションのヒューズボックス項目詳細を参照

駆動システム		
トランスミッション		無段変速機 (CVT)
締結回転数		1,800 RPM
ファイナル・ドライブ		ベベルギヤ付きシャフトドライブ
ファイナルドライブオイル	容量	335 ml
	推奨	メンテナンス手順のセクションの推奨ファイナルドライブオイルを参照

駆動システム		
リアギヤレシオ		3.15 : 1
ギヤボックス		前進および後進位置
ギヤボックスオイル	容量	500 ml
	推奨	メンテナンス手順のセクションの推奨ギヤボックスオイルを参照

ステアリング	
タイプ	ピットマンアーム
ステアリングホイール	調整式ステアリング
回転半径	4,435 mm

フロントサスペンション			
サスペンションタイプ		スタビライザー付きのダブルサスペンションアーム	
サスペンショントラベル		Ryker 600 Ryker 900	137 mm
		Ryker 900 ラリーエディション	162 mm
ショックアブソーバー	数量	2	
	タイプ	Ryker 600 Ryker 900	オイルタイプ
		Ryker 900 ラリーエディション	HPGショック
プリロード調整タイプ		Ryker 600 Ryker 900	調節不可
		Ryker 900 ラリーエディション	ネジ山付きリング

リアサスペンション		
サスペンションタイプ		シングルスイングアーム
サスペンショントラベル	Ryker 600 Ryker 900	150 mm
	Ryker 900 ラリーエ ディショ ン	175 mm
ショックアブソーバー	数量	1
	タイプ	Ryker 600 Ryker 900 Ryker 900 ラリーエ ディショ ン
		HPGショック
		ピギーバックリザーバー 付きHPGショック。
プリロード調整タイプ	Ryker 600 Ryker 900	カム、5ポジション
	Ryker 900 ラリーエ ディショ ン	ネジ山付きリング

ブレーキ		
タイプ		ABSおよびEBD付きの、足 踏式完全統合油圧3輪ブ レーキシステム
フロントブレーキ		デュアル270 mm ディス ク、 2 x 27 mmピストン付き ニッシン製フローティン グキャリパー
リアブレーキ		シングル220 mm ディス ク、 1ピストンフローティン グキャリパー付き
ブレーキオイル	タイプ	DOT 4
	容量	200 ml

ブレーキ	
キャリパー	フローティング
ブレーキパッド材質	オーガニック
最小ブレーキディスク厚	0.5 mm
最小ブレーキディスク厚	5 mm
ブレーキディスクの最大歪み	0.2 mm

タイヤ			
タイプ (BRPが推奨するラジアルタイヤのみ使用してください)	フロント	Ryker 600 Ryker 900	Kenda KR390 145/60R16 M/C 66T
		Ryker 900ラ リーエ ディショ ン	Kenda KR392 145/60R16 M/C 66T
	リア	Ryker 600 Ryker 900	Kenda KR391 205/45R16 M/C 77T
		Ryker 900ラ リーエ ディショ ン	Kenda KR393 205/55R15 M/C 81T
圧力			推奨タイヤ圧はタイヤラベルに記載
タイヤ溝の最小深さ	フロント	1.6 mm	
	リア	1.6 mm	

ホイール			
タイプ	Ryker 600 Ryker 900		アルミダイカストホイール
	Ryker 900 ラリーエ ディション		鍛造アルミホイール
リムサイズ	フロント		406 mm x 114 mm
	リア	Ryker 600 Ryker 900	406 mm x 165 mm
		Ryker 900 ラリーエ ディション	381 mm x 165 mm
センターロックホイールナット			300 N・m ± 15 N・m

寸法			
全長		2,352 mm	
全幅		1,509 mm	
全高		1,062 mm	
シート高さ	Ryker 600		599 mm
	Ryker 900		597 mm
	Ryker 900 ラリーエ ディション		615 mm
ホイールベース			1,709 mm
最低地上高（エンジンの前部および下部）	Ryker 600		104 mm
	Ryker 900		102 mm
	Ryker 900 ラリーエ ディション		112 mm

重量および積載量			
乾燥重量	Ryker 600	270 kg	
	Ryker 900	280 kg	
	Ryker 900 ラリーエ ディショ ン	285 kg	
グローブボックス		2 kg	
リア構造部（最大マウント）	Ryker 900 ラリーエ ディショ ン	10 kg	
許容車両総積載量（運転者、その他すべての貨物、追加されたアクセサリを含む）		207 kg	
車両総重量（GVWR）	Ryker 600	489 kg	
	Ryker 900	499 kg	
車軸総重量（GVWR）	フロン ト	Ryker 600	239 kg
		Ryker 900	248 kg
	リア	Ryker 600	250 kg
		Ryker 900	251 kg

**このページは
意図的に空白になっています**

保証

BRP限定保証 - カナダおよび米国、2021 CAN-AM® RYKER® シリーズ

1. 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」とします) * は、米国およびカナダの認定Can-Am On-Roadディーラー (以下に定義) によって販売された2021年型のCan-Am Ryker Roadsters (以下、「製品」) について、指定の期間の間、下記の条件のもとで素材または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合には、この限定保証は無効になります: (1) 製品を、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合、または (2) オドメーターを取り外したり、改ざんした場合。 (3) 製品をオフロードで使用した場合。 (4) 製品の動作、性能または耐久性に悪影響を与えるような方法で改造、修正した場合、または、意図された仕様を変えるような改造、修正した場合。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

2. 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない、明示的または黙示的な保証その他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認されない限りにおいて、黙示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらは所有者には適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、所有者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、ディーラー、そしていかなる個人は、この限定保証に含まれていない確約、表明、または保証を提供する許可はされておらず、万が一提供された場合は、それらの内容はBRPに対して強制できるものではありません。BRPは、限定保証が有効である期間中は販売済みの製品に適用される保証条件が変更されないことを前提として、この保証をいつでも変更する権利を留保します。

3. 除外規定 (以下は保証修理の対象とはなりません)

以下は保証対象ではありません:

- オイル、潤滑剤、液体、フィルターおよびスパークプラグを含むこれらの限定されない、定期的にメンテナンスする必要がある部品の交換。
- タイヤ、バッテリー、発電機のブラシ、シールドビームおよび電球、クラッチプレートおよびフェーシング、駆動ベルト、ブレーキパッド、ブレーキライニング、ローターおよびスプロケットを含む部品の通常の摩耗および消耗。
- ベルト、アライメントおよび車輪バランスの調整を含む部品のチューンアップおよび調整。
- シートカバーの素材の傷、へこみ、退色、剥離や損傷を含む製品の外観への損傷。
- オペレーターズガイドに示されている適正なメンテナンスまたは保管を怠ったために発生した損害;
- 製品の正式仕様範囲を超える部品を取り外し、不適切な修理、扱いはメンテナンス、および改造や変更による損傷、または認定ディーラーの一員ではない人によって行われた修理によって生じた損傷。
- 異なるタイヤ、排気システム、車輪またはブレーキを含む純正部品とは異なる仕様の部品の取り付けにより生じた損傷。

* 米国内では、製品の流通とサービスはBRP US Inc.が行います。

- 誤用、乱用、過失、またはオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害。
- 水の吸い込み、事故、道路上の危険性、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷。
- オペレーターズガイドの推奨事項と異なる仕様の燃料、オイルまたは液体を使って生じた損傷。
- オペレーターズガイドの説明とは異なる道路塩、バッテリー液または環境の影響から生じた損傷。
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それらだけに限定されないその種の損害。

4. 保証対象期間

この限定保証は、製品が最初の小売消費者に納品された日と、製品が初めて使用された日のうちいずれか早い方に発効し、以下に定める期間中効力を有します。

1. 個人使用、レクリエーション用途、および業務使用の場合、以下の(2)から(5)の状況以外では、**連続する12ヶ月間**。
2. バッテリーにおいては、**連続する6ヶ月間**。
3. タイヤにおいては、**連続する6ヶ月間**、または前輪が2.38mmまで磨り減った時点、または後輪が3.97mmまで磨り減った時点のいずれかが最初に発生した時点。
4. 排出ガス関連のコンポーネントに関しては、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証も参照してください。
5. カリフォルニア州の住民への販売、およびその後の保証はカリフォルニア州の住民に登録されることを本来意図して製造され、カリフォルニア州での販売を目的とした製品については、関連するカリフォルニア州の排出ガス制御保証規定もご覧ください。

この保証による部品の修理もしくは交換、または整備の実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

5. 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます。

- 製品は、その販売が行われた国において製品の販売を許可されているCan-Am On-Roadディーラー（以下「ディーラー」）から、新品で未使用の製品として最初の所有者により購入される必要があります。
- BRPが指定する納入前点検を完全に実施し、文書化し、購入者がそれを署名する必要があります。
- 製品が、認定Can-Am On-Roadディーラーによって正しく保証登録手続きされていること。
- 製品は、購入者が居住する国で購入される必要があります。
- オペレーターズガイドにしたがって定期的なメンテナンスを行う必要があります。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後に製品の使用を中断しなければなりません。お客様は欠陥の発見から3日以内に、整備を行うディーラーにその旨を通知し、ディーラーが修理を行うために必要とする期間をディーラーに与える必要があります。また、お客様は製品の購入を証明するものをディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

7. BRPが行うこと

この保証に基づくBRPの義務は、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の認定ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しい純正部品と交換することです。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、製品の払い戻しや販売の撤回の理由とはなりません。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、国、州、地域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、所有者は地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、製造されたいかなる製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8. 所有権の譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは認定ディストリビューター/ディーラーが、もとの所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9. お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

米国EPA排出ガス性能保証

Bombardier Recreational Products Inc. (「BRP」)は、以下の条件をすべて満たしている場合に保証致します。

1. 車両は、正しいメンテナンスと使用に関する文書による指示に従い整備、操作されている。
2. 車両が、使用耐用期間中に、EPA承認排出ガステストにより決められた通り、適用される排出ガス基準またはファミリー排出ガス限度に適応できなくなった。
3. 非準拠により、車両の所有者が、地域、州または連邦の法律に基づき、罰金その他の制裁（車両を使用する権利の否定を含む）を負う、または負うであろう結果を招いた際、車両が5年以上または30,000キロメートル以上使用されている場合を除き、BRPは所有者への費用なしで非準拠を補修します。BRPには、車両の排出ガスを減少させることを唯一または主要な目的として取り付けられたコンポーネントで、1968年型以前には一般的に使用されていなかったものの故障から生じた非準拠の矯正のみが義務付けられます。

保証期間は、車両が最終購入者に納品された日に、または車両が最初に「展示品」または「会社」のモーターサイクルとして使用された場合には最初に使用された日に開始します。

排気ガス性能保証によって使用耐用期間中の全期間保証されているアイテムは以下の通りです。

燃料システムおよび給気システム

- 燃料インジェクター、燃料ポンプモジュール、燃料フィルターアセンブリ、スロットルボディ（スロットルポジションセンサーを含む）、インテークマニホールド

イグニションコンポーネントおよびセンサー

- エンジンコントロールモジュール（ECM）、エンジン配線ハーネス、イグニションコイル、スパークプラグ（保証されるのは最初の整備交換まで）、騒音センサー（ノックセンサー）、カムシャフトポジションセンサー、クランクシャフトポジションセンサー、温度センサー、圧力および温度センサー、酸素センサー

排気システム

- プライマリマフラー（触媒コンバーターを含む）、排気マニホールド
- クランプ、ガスケットおよびシール（エンジンからプライマリマフラーまで）

クランクケースベンチレーションシステム

- クランクケースベントブリーザー、クランクケースベントホース、オイルフィルターキャップ

蒸気ガスエミッションコントロールシステム

- 燃料タンク、燃料キャップ、燃料ホース、蒸気キャニスター、蒸気キャニスターのマウンティングブラケット、ブリード弁（パージバルブ）、チェックバルブ、フィルター、蒸発用コンポーネント、マウンティングブラケット
- クランプ、シール、ガスケットおよびフィッティング（燃料システムアセンブリに関係するもの）

適切なメンテナンスについては、このオペレーターズガイドのメンテナンス情報セクションをご覧ください。このオペレーターズガイドには、車両の適切な使用に関する情報が含まれています。

排気ガス性能保証によると、以下のリストの項目2により要求される緊急修理を除き、BRPは認定Can-Am On-Roadディーラーに修理のために正当に持ち込まれたいかなる車両の補修費用全額を支払う責任があります。故障した車両の所有者

* 米国内では、製品の流通とサービスはBRP US Inc.が行います。

に課される罰金または制裁の程度に関する州または地域の法律は、この責務には関係しません。

以下の理由を根拠に、BRPが排気ガス性能保証の請求を拒否することはありません。

1. BRPによって認定された施設でそういった作業またはサービスを行うために実施された保証作業または納入前サービス
2. 車両の所有者が車両が規格に合致するよう迅速に対処した場合に限り、BRPが原因の、運転が危険な状態を含む危険状態を修正するために緊急状況で行われた作業
3. 適用される排出ガス基準に車両が適応できない理由とは無関係な、保証されていない部品の使用、または適切なメンテナンスおよび使用に関する文書による指示の不履行
4. BRPに責任があるあらゆる原因
5. 適切なメンテナンスおよび使用に関する文書による指示で特にその燃料の使用が車両の排気ガス制御装置およびシステムに悪影響を及ぼすと明記され、使用に適切な燃料の識別方法に関する一般的に良く知られている情報を所有者が得られる場合を除き、車両が存在する地域で一般的に使用されているいかなる燃料の使用メンテナンス情報のセクションおよび給油のセクションにある燃料に関する要件を参照してください。

前の項目に記されている場合を除き、保証されていない部品の使用が原因で車両が排気ガス基準を満たせなくなった場合に、BRPは、車両のメンテナンスまたは修理で使用された保証されていないアフターサービス部品に基づいて、排気ガス性能保証の請求を拒否することがあります。純正部品と同等ではない部品または保証されていないアフターサービス部品の使用は、排気ガス制御システムの効率に悪影響を及ぼす可能性があり、車両が排気ガス基準を満たさなくなります。保証部品の使用は排気ガス性能保証に影響しません。排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理は、モーターサイクルの修理店または保証部品を使用する個人なら誰でも実施できます。

お客様は、欠陥に気がついたらすぐに、認定Can-Am On-Roadディーラーに車両を持ち込む責任があります。認定Can-Am On-Roadディーラーが保証請求の手続きをします。

認定Can-Am On-Roadディーラーが、（車両の所有者、あるいはBRPまたは認定Can-Am On-Roadディーラーのコントロール外の出来事が原因ではない理由で）最初に車両が認定Can-Am On-Roadディーラーに持ち込まれて30日以内に車両を修理できない場合は、所有者には、所有者が選んだ修理店で、BRPが費用を負担して、保証補修を行う権利があります。

この保証に基づいて交換された欠陥部品は、すべてBRPの所有となります。

連絡先： Director, Field Operations and Support Division (6406J), Environmental Protection Agency, 401 「M」 Street, SW., Washington, DC 20460 (Attention:Warranty Claim)。排気ガス性能保証に関する詳細について、または排気ガス性能保証条項の違反の報告は、この連絡先に問い合わせてください。

また、Bombardier Recreational Products Inc（以下「BRP」とします）は、最終購入者および各二次購入者に対して、排気エミッション制御システムおよび蒸発ガス制御システムのすべての部品を含み、この新しいエンジンが二つの条件を満たすことを保証します。

- 最終購入者への販売時に、オンロードモーターサイクルに適用される40 CFR 86および蒸気ガス排出基準40 CFR 1051の要件に準拠するよう設計、組み立て、装備されています。
- オンロードモーターサイクルに適用される40 CFR 86および蒸気ガス排出基準40 CFR 1051の要件への準拠を妨げるような素材および製造上の欠陥はありません。

保証の対象となるものがある場合は、BRPは表示された保障期間中、エンジンからの規制汚染物質の排出量を増加させる部材または製造上の欠陥がある部品やコ

ンポーネントの修理または取り換えを、排出ガス関連部品の診断、修理または取り換の費用を含み、無償で行います。

排出ガス関連保証は、以下の期間のうち最も短い期間となります。

	キロメートル	推奨
排出ガスおよび蒸気ガス関連コンポーネント:	30,000	5

米国EPA連邦騒音エミッション保証

また、Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」とします) は、最終購入者および各二次購入者に対して、以下の期間で最も先に訪れた期間、この新しい車両が販売時にすべての適用される米国 EPA 連邦騒音コントロール基準を満たすよう設計、組み立て、装備されており、適切に整備および使用されている場合には、すべての適用される米国 EPA 連邦騒音基準への準拠を妨げるような素材および製造上の欠陥がないことを保証します。

キロメートル	年
6,000	1

カリフォルニア州の排出ガス制御保証規定

保証の権利と義務

これよりカリフォルニア州大気資源委員会およびBombardier Recreational Products Inc.を代表してBRP US Inc. (以下「BRP」) * は、2021年型のCan-Am Rykerの排出ガス制御システム保証に関する説明をします。カリフォルニアでは、新しい自動車は州のスモッグ防止基準を満たすように設計、組み立て、装備されてなければなりません。BRPは、酷使や不注意、そして不適切なメンテナンスが行われない限り、使用されている車両を下記の期間以上、車両の排出ガス制御システムを保証しなければなりません。

排出ガス制御システムには、噴射装置、イグニッションシステム、触媒コンバーターおよびエンジンコンピューター等の部分が含まれます。またホース、コネクタおよびその他の排出関連のアッセンブリーが含まれます。保証の対象となるものがある場合は、BRPは診断、部品および労働費を含めて、無料で車両を修理いたします。

* 米国内では、製品の流通とサービスはBRP US Inc.が行います。

製造業者の補償範囲

- 5年間または30,000 km走行まで（いずれか早い方）。

所有者の保証における責任

車両の所有者として、オペレーターズガイドに記載されている必要なメンテナンスを実施する責任があります。BRPは車両の保証に関するすべての受領書を安全な場所に保管しておくことを推奨しますが、BRPは受領書の紛失またはすべてのメンテナンスをお客様が行わなかったとしても、保証の提供をいたします。

問題が発生した場合は、車両をBRP認定ディーラーにできるだけ早く持ち込んでください。保証修理期間は、30日以下とする妥当な時間を用います。

また、車両の所有者として、BRPは酷使、不注意、不適切なメンテナンス、不適切な改変により生じた車両または部品の故障に対する一切の保証をいたしかることを考慮してください。

保証の権利と義務に関してご質問がありましたら、BRPのお客様相談室（1-888-272-9222）またはCalifornia Air Resource Board（9528 Telstar Avenue, El Monte, CA 91731）までお問い合わせください。

* 米国内では、製品の流通とサービスはBRP US Inc.が行います。

© 2020 ボンバルディ エレクリエーションナルプロダクツ 無断複写転載を禁じます。

®™ ボンバルディ エレクリエーションナルプロダクツまたはその関連会社の商標です。

BRP国際限定保証：2021 CAN-AM® RYKER®シリーズ

1. 限定保証の範囲

ボンバルディアエレクトリケーショナルプロダクツ（以下「BRP」）*は、米国、カナダ、欧州経済地域（「EEA」）の国々（欧州連合にノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタインを加えて構成される）、独立国家共同体（ウクライナ、トルクメニスタンを含む）の加盟国（「CIS」）以外の地域にCan-Am On-Road製品を供給するためにBRPが認定したディーラー（以下「Can-Am On-Road ディストリビューター/ディーラー」）によって販売された 2021 年型Can-Am Ryker（以下「製品」）について、指定された期間、下記の条件の下で部材または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合、この限定保証は無効になります：(1)製品を、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合、または(2)オドメーターを取り外したり、改ざんした場合。(3)製品をオフロードで使用した場合。(4)製品の動作、性能または耐久性に悪影響を与えるような方法で改造、修正した場合、または、意図された仕様を変えるような改造、修正した場合。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

2. 責任の範囲

法律の許す範囲内における管轄で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない、明示的または黙示的な保証その他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、黙示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。この保証は、偶然による、必然的、直接的、間接的またはその他のいかなるすべての損害を保証しません。特定の管轄では、上記の偶発による、または必然的な損傷やその他の除外規定における制限や免責事項は適用されない場合があります。そのため、上記の規定はお客様に適用されない場合があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国または法域ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。（オーストラリアで購入された製品については、以下の第4項を参照してください）。

認定ディストリビューターまたはディーラーや、その他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRPに対する強制力はありません。BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間に変更されないことに同意します。

3. 除外規定（以下は保証修理の対象とはなりません）

どの状況においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- オイルおよび潤滑剤、フィルターおよびスパークプラグを含む、定期的なメンテナンスが必要な部品の交換。
- タイヤ、バッテリー、発電機のブラシ、シールドビームおよび電球、クラッチプレートおよびフェーシング、駆動ベルト、ブレーキパッド、ブレーキライニング、ローターおよびスプロケットを含む部品の通常の摩耗および消耗。
- ベルト、アライメントおよび車輪バランスの調整を含む部品のチューンアップおよび調整。
- シートカバーの素材の傷、へこみ、退色、剥離や損傷を含む製品の外観への損傷。
- オペレーターズガイドに示されている過失または適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害。

- 製品の正式仕様範囲を超える部品を取り外し、不適切な修理、扱いはメンテナンス、および改造や改変による損傷によって生じた損傷、またはBRPによって製造または承認されず、BRPによって製品に適切ではない、または製品の操作に不利に影響すると合理的に判断された部品やアクセサリの使用によって生じた損傷、または認定ディストリビューターまたはディーラーによって行われなかった修理から生じた損傷。
- 異なるタイヤ、排気システム、車輪またはブレーキを含む純正部品とは異なる仕様の部品の取り付けにより生じた損傷。
- 誤用、乱用、過失、レースでの使用、またはオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害。
- 水の吸い込み、事故、道路上の危険性、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷。
- オペレーターズガイドの推奨事項と異なる仕様の燃料、オイルまたは潤滑剤を使って生じた損傷。
- オペレーターズガイドの説明とは異なる道路塩、バッテリー液または環境の影響から生じた損傷。
- ガソリンの費用、認定ディストリビューターまたはディーラーに製品を回送、回収するための費用、メカニックの出張費、トレーラーまたは牽引による移送、保管、携帯、ファックスまたは電報の料金、保証の施行期間における代替製品のレンタル、タクシー、旅費、宿泊費、私物の損失または欠損、不便性、保険の費用、ローンの支払い、時間の損失、所得、収入や利益の損失、または製品の使用または使用の楽しみの損失などを含むが、これらに限定されない偶発的または必然的な損害。

4. 保証対象期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です。

1. 個人使用、レクリエーション用途、および業務使用の場合、以下の(2)および(3)の状況以外では、**連続する12ヶ月間**。
2. バッテリーにおいては、**連続する6ヶ月間**。
3. タイヤにおいては、**連続する6ヶ月間**、または前輪が2.38mmまで磨り減った時点、または後輪が3.97mmまで磨り減った時点のいずれかが最初に発生した時点。

この保証による部品の修理もしくは交換、または整備の実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

オーストラリアで販売された製品のみ適用

これらの保証の利用規約は、オーストラリアの消費者法またはその他の法律を含む、Competition and Consumer Act 2010 (Cth) (2010年競争消費者法)によって授与または黙示されるいかなる条件、保証、請け合い、権利または善後策の適用を除外、制限または変更しないものとし、法律を違反しないものとします。違反する利用規約がある場合、それは無効となります。この限定的保証で得られるメリットは、オーストラリアの法律で守られている権利および善後策に加えて与えられます。

当社の製品の保証は、オーストラリアの消費者法によって守られています。重大故障に対する交換または払い戻し、またはその他のいかなる合理的に予見可能な損失または損害に対する補償が約束されます。お客様には、製品が許容される品質を満たせず、その故障が重大故障とならない場合、その製品を修理または交換する権利があります。

5. 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときにのみ適用されます。

- 製品は、その販売が行われた国または連邦国において製品の販売を許可されているディストリビューターまたはディーラーから、新品で未使用の製品として最初の所有者により購入される必要があります。
- BRPが指定する納入前点検が購入者および認定ディストリビューターまたはディーラーによって完了および文書化され、購入者によって署名されている。
- 製品は、認定ディストリビューター/ディーラーによって正しく保証登録されなければなりません。
- 製品は、購入者が居住する国または連邦国で購入される必要があります。
- オペレーターズガイドに記載されている定期的メンテナンスは時宜に即して行う必要があります。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後に製品の使用を中断しなければなりません。お客様は欠陥の発現から2日以内に、整備を行うディストリビューターまたはディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをディストリビューターまたはディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。通知期間はおお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7. BRPが行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は以下に記載する条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の認定ディストリビューターまたはディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しい純正部品と交換することに限定されます。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、製品の払い戻しや販売の撤回の理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるすべての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、国、州、地域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、所有者は地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造されたすべての製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8. 所有権の譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは認定ディストリビューター/ディーラーが、もとの所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9. お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディストリビューター／ディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題についてBRP認定ディストリビューター／ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

*この限定保証が適用される地域では、製品の流通とサービスはボンバルディ エレクリエーションナルプロダクツまたは子会社が行います。

© 2020 ボンバルディ エレクリエーションナルプロダクツ 無断複写転載を禁じます。

®™ ボンバルディ エレクリエーションナルプロダクツまたはその関連会社の商標です。

欧州経済地域、独立国家共同体の加盟国およびトルコ向けBRP限定保証：2021 CAN-AM® RYKER® シリーズ

1. 限定保証の範囲

ボンバルディ エレクトリエーションプロダクツ（以下「BRP」とします）*は、米欧州経済地域（「EEA」）の加盟国（欧州連合にノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタインを加えて構成される）、独立国家共同体（ウクライナ、トルクメニスタンを含む）の加盟国（「CIS」）、およびトルコの地域に、Can-Am On-Road製品を供給するためにBRPが認定したディストリビューターまたはディーラー（以下「Can-Am On-Roadディストリビューター/ディーラー」）によって販売された2021年型のCan-Am Ryker（以下「製品」）について、指定された期間、下記の条件の下で素材または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合は、この限定保証は無効になります：(1)製品を、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合、または(2)オドメーターを取り外したり、改ざんした場合。(3)製品をオフロードで使用した場合。(4)製品の動作、性能または耐久性に悪影響を与えるような方法で改造、修正した場合、または、意図された仕様を変えるような改造、修正した場合。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

2. 責任の範囲

法律の許す範囲内における管轄で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない、明示的または黙示的な保証その他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、黙示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。この保証は、偶然による、必然的、直接的、間接的またはその他のいかなるすべての損害を保証しません。特定の管轄では、上記の偶発による、または必然的な損傷やその他の除外規定における制限や免責事項は適用されない場合があります。そのため、上記の規定はお客様に適用されない場合があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国または法域ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。（オーストラリアで購入された製品については、以下の第4項を参照してください）。

認定ディストリビューターまたはディーラーや、その他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRPに対する強制力はありません。BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間に変更されないことに同意します。

3. 除外規定（以下は保証修理の対象とはなりません）

どの状況においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- オイルおよび潤滑剤、フィルターおよびスパークプラグを含む、定期的なメンテナンスが必要な部品の交換。
- タイヤ、バッテリー、発電機のブラシ、シールドビームおよび電球、クラッチプレートおよびフェーシング、駆動ベルト、ブレーキパッド、ブレーキライニング、ローターおよびスプロケットを含む部品の通常の摩耗および消耗。
- ベルト、アライメントおよび車輪バランスの調整を含む部品のチューンアップおよび調整。
- シートカバーの素材の傷、へこみ、退色、剥離や損傷を含む製品の外観への損傷。
- オペレーターズガイドに示されている過失または適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害。

- 製品の正式仕様範囲を超える部品を取り外し、不適切な修理、扱いはメンテナンス、および改造や改変による損傷によって生じた損傷、またはBRPによって製造または承認されず、BRPによって製品に適切ではない、または製品の操作に不利に影響すると合理的に判断された部品やアクセサリの使用によって生じた損傷、または認定ディストリビューターまたはディーラーによって行われなかった修理から生じた損傷。
- 異なるタイヤ、排気システム、車輪またはブレーキを含む純正部品とは異なる仕様の部品の取り付けにより生じた損傷。
- 誤用、乱用、過失、レースでの使用、またはオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害。
- 水の吸い込み、事故、道路上の危険性、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷。
- オペレーターズガイドの推奨事項と異なる仕様の燃料、オイルまたは潤滑剤を使って生じた損傷。
- オペレーターズガイドの説明とは異なる道路塩、バッテリー液または環境の影響から生じた損傷。
- ガソリンの費用、認定ディストリビューターまたはディーラーに製品を回送、回収するための費用、メカニックの出張費、トレーラーまたは牽引による移送、保管、携帯、ファックスまたは電報の料金、保証の施行期間における代替製品のレンタル、タクシー、旅費、宿泊費、私物の損失または欠損、不便性、保険の費用、ローンの支払い、時間の損失、所得、収入や利益の損失、または製品の使用または使用の楽しみの損失などを含むが、これらに限定されない偶発的または必然的な損害。

4. 保証対象期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です。

1. 個人使用、レクリエーション用途の場合、以下の(3)および(4)の状況以外では、**連続する24ヶ月間**。
2. 業務使用の場合、以下の(3)および(4)の状況以外では、**連続する12ヶ月間**。

保証期間中であっても、製品による収入の発生、または製品が何らかの業務または職業で用いられた場合、製品は商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中に製品が商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、製品は商業的用途で使用されたものと見なされません。

3. バッテリーにおいては、**連続する6ヶ月間**。
4. タイヤにおいては、**連続する6ヶ月間**、または前輪が2.38mmまで磨り減った時点、または後輪が3.97mmまで磨り減った時点のいずれかが最初に発生した時点。

この保証による部品の修理もしくは交換、または整備の実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

5. 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときにのみ適用されます。

- 製品は、その販売が行われた国または連邦国において製品の販売を許可されているディストリビューターまたはディーラーから、新品で未使用の製品として最初の所有者により購入される必要があります。
- BRPが指定する納入前点検が購入者および認定ディストリビューターまたはディーラーによって完了および文書化され、購入者によって署名されている。
- 製品は、認定ディストリビューター／ディーラーによって正しく保証登録されなければなりません。

- 製品は、購入者が居住する国または連邦国で購入される必要があります。
- オペレーターズガイドに記載されている定期的メンテナンスは時宜に即して行う必要があります。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後に製品の使用を中断しなければなりません。お客様は欠陥の発現から2ヶ月以内に、整備を行うディストリビューターまたはディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをディストリビューターまたはディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理／作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。通知期間はお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7. BRPが行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は以下に記載する条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の認定ディストリビューターまたはディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しい純正部品と交換することに限定されます。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、製品の払い戻しや販売の撤回の理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、またはEEA居住者がEEA外で、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるものとして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造されたすべての製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8. 所有権の譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは認定ディストリビューター/ディーラーが、もとの所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9. お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディストリビューター/ディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題についてBRP認定ディストリビューター/ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

フランスのみに適用する追加利用規約

次の諸条項はフランスで販売されている製品だけに適用されます。

販売者は契約に適合する製品を納品し、納品時に認められる瑕疵の責任を負います。販売者は、契約による自らの責任で、または自らの責任で行われたパッケージング、組み立て指示または取り付けに起因する欠陥の責任を負います。契約を成立させるには、製品は次の条件をクリアする必要があります。

1. 同等品の通常の用途に適合していること。さらに、該当する場合は、
 - 1.1 製品が販売者の説明と一致し、サンプルまたは模型を使用して購入者に説明された品質を有していること
 - 1.2 製品が、広告やラベルを含む、販売者、見本の製造業者の公的発表により購入者が合理的に期待する品質を有していること、または
2. 製品は、当事者間で相互に合意された特性を持っている、または購入者が事前に販売者に特定の使用目的を相談し、販売者が目的を満たせると承諾した特性を持っていること。

不適合に関する措置は、納品から2年間と定められています。販売者は、製品に購入者の使用目的を満足できなくなるほどの潜在的な欠陥がある場合、またはその欠陥を事前に知っていればより安価で購入していた可能性がある場合、その潜在的欠陥に対する保証の責任を負います。そのような潜在的欠陥に対する賠償要求は、欠陥の発見から2年以内に購入者によって行われる必要があります。

* EEAおよびその他の国では、製品の流通とサービスはBRP European Distribution S.A.およびBRPの子会社によって行われます。

© 2020 ボンバルディ エレクリエーションナルプロダクツ 無断複写転載を禁じます。

®™ ボンバルディ エレクリエーションナルプロダクツまたはその関連会社の商標です。

メンテナンス記録

必要に応じて、メンテナンス記録のコピーをBRPにお送りください。

納入前	
シリアル番号： _____	署名（活字体）：
走行距離 （km）： _____	
時間： _____	
日付： _____	
ディーラー番 号： _____	
メモ： _____ _____	
取り付け手順詳細については、車両のプリデリバリーブリンを参照してください。	

最初の点検	
走行距離 （km）： _____	署名（活字体）：
時間： _____	
日付： _____	
ディーラー番 号： _____	
メモ： _____ _____	
メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス

走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番 号 : _____ メモ : _____ _____	署名 (活字体) :
--	------------

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番 号 : _____ メモ : _____ _____	署名 (活字体) :
--	------------

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番 号 : _____ メモ : _____ _____	署名 (活字体) :
--	------------

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス	
走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番 号 : _____ メモ : _____ _____	署名 (活字体) :
メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス	
走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番 号 : _____ メモ : _____ _____	署名 (活字体) :
メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス	
走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番 号 : _____ メモ : _____ _____	署名 (活字体) :
メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

**このページは
意図的に空白になっています**

顧客情報

個人情報

お客様の連絡先情報は、安全性の確保と保証に関する目的で使わせていただきます。また、BRPおよびその子会社は、顧客リストを使用してBRPおよび関連製品のマーケティングおよびプロモーション情報を配布させていただくことがあります。

お客様のデータに関するご相談、訂正またはダイレクトマーケティング用のアドレスリストからの削除については、BRPまでご連絡ください。

Eメール： **privacyofficer@brp.com**

郵便：
BRP
Senior Legal Counsel-Privacy Officer
726 St-Joseph
Valcourt QC
Canada,
J0E 2L0

お客様窓口

www.brp.com

アジア

Room 4609, Tower 2,
Grand Gateway 3 Hong Qiao
Road Shanghai,
China 200020

〒108-0075東京都港区
港南2丁目16-1
品川イーストワンタワー21階

ヨーロッパ

Skaldenstraat 125
B-9042 Gent
Belgium

Itterpark 11
D-40724 Hilden
Germany

ARTEPARC Bâtiment B
Route de la côte d'Azur, Le Canet
13590 Meyreuil
France

Ingvald Ystgaardsvei 15
N-7484 Trondheim
Norway

Isoaavantie 7
PL 8040
96101 Rovaniemi

Spinnvägen 15
903 61 Umeå
Sweden

Avenue d'Ouchy 4-6
1006 Lausanne
Switzerland

北米

565 de la Montagne Street
Valcourt (Québec) J0E 2L0
Canada

Sa De Cv, Av. Ferrocarril 202
Parque Ind. Querétaro, Lote2-B
76220
Santa Rosa Jáuregui, Qro., Mexico

Sturtevant, Wisconsin, U.S.A.
10101 Science Drive
Sturtevant, Wisconsin
53177
U.S.A.

オセアニア

6 Lord Street
Lakes Business Park
Botany, NSW 2019
Australia

3B Echelon Place, East Tamaki,
Auckland 2013,
New Zealand

南米

Rua James Clerck Maxwell, 230
TechnoPark Campinas SP 13069-380
Brazil

住所と所有者の変更

お客様が住所を変更された場合または車両の新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法でBRPにご連絡ください。

- 認定Can-Am On-Roadディーラーへ問い合わせる。
- **北米のみ**：連絡先：1-888-272-9222
- このガイドのお客様窓口のセクションに記載されているBRPの住所のいずれかに、以降のページにある住所変更カードを郵送してください。

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRPが必要に応じて車両の所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後でも、BRPに連絡することが重要です。BRPに通知するのは、所有者の責任です。

盗難に遭った場合：車両が盗まれた場合は、BRPまたは認定Can-Am On-Roadディーラーにお問い合わせください。お客様の氏名、ご住所、電話番号、車両識別番号、そして盗難が起きた日付をお知らせください。

**このページは
意図的に空白になっています**

住所の変更 所有権の変更 

車両識別番号

モデル番号

ウォータークラフト識別番号 (V.I.N.)

以前の住所または以前のオーナー:

氏名

No.

町村

アパート

市/郡

州

郵便番号

国

電話番号

新しい住所または以前のオーナー:

氏名

No.

町村

アパート

市/郡

州

郵便番号

国

電話番号

V00A2F

Eメールアドレス

住所の変更 所有権の変更 

車両識別番号

モデル番号

ウォータークラフト識別番号 (V.I.N.)

以前の住所または以前のオーナー:

氏名

No.

町村

アパート

市/郡

州

郵便番号

国

電話番号

新しい住所または以前のオーナー:

氏名

No.

町村

アパート

市/郡

州

郵便番号

国

電話番号

V00A2F

Eメールアドレス

**このページは
意図的に空白になっています**

**このページは
意図的に空白になっています**

警告

このCan-Am On-Roadは特殊なタイプの車両です。特別なスキルと知識が必要になります。この製品の特殊性について理解してください。

- **本車両を運転する前に、このオペレーターズガイドおよび本車両のすべての警告ラベルを読み、安全講習ビデオをご覧ください。**



- トレーニングコース（用意されている場合）を受講し、運転の練習を行って習熟したうえで、該当の免許を取得してください。
- 乗車する前に安全カードを参照してください。

- **必ずヘルメットとライディングギアを着用してください。**このタイプの車両では、ライダーは自動車の運転者より高い道路上のリスクに曝されます。熟練した運転者であっても、他の車両に衝突されたり制御できない状態に陥る場合があります。この車両は、衝突事故において運転者を保護しません。

- **運転の限界と道路条件。**車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定システム（VSS）は制御不能、転倒、あるいは転落を防止することはできません。さまざまな路面状態での車両の限界について理解してください。氷上、雪上、オフロードで運転しないでください。水たまりや水が流れている場所での運転は避けてください。

このタイプの車両では、水上でハイドロプレーニング現象が生じたり、砂利、泥、砂で覆われた路面上でスリップすることがあります。このような路面を走行しなければならない場合、速度を落としてください。

